

令和4年度
(2022)

履修の手引き

佐賀大学教育学部

目 次

I. はじめに	1
II. 学部の教育目的及び各コース別の教育目的と教育目標	2
III. 学部の学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針	2
IV. 開講科目の設置趣旨	8
V. 教育課程	12
1 学校教育課程のカリキュラム構成	12
2 授業科目履修年次概略表	13
3 卒業に必要な単位数表	14
4 単位制度	15
5 授 業	15
6 シラバス	16
7 履修手続	16
8 出席管理システム	17
9 大学からの連絡と掲示板	17
10 定期試験	17
11 成績評価及び通知	17
12 不正行為	18
VI. 専門教育科目	18
1 学籍番号及びクラス（グループ）分けについて	18
2 追試験（教育学部専門教育科目）	19

3	再試験（教育学部専門教育科目）	19
VII.	諸手続について	20
1	履修等に関する手続	20
2	証明書の発行手続	20
VIII.	教員免許状と教育実習について	21
1	教員免許状	21
2	教育実習	22
3	教育実習の履修方法及び参加資格基準について	23
IX.	教員免許状と介護等体験について	26
X.	教員免許状の取り方	28
XI.	教員免許状以外の資格について	56
XII.	専門教育科目の開設授業科目表について	58
1	開設授業科目表を見る際の諸注意	58
2	専門教育科目の開設授業科目表	59
XIII.	そ の 他	
1	令和4年度学年暦及び年間行事予定表	115
2	教育学部諸規程	116
3	教育学部建物配置図	169
4	教養教育（全学教育機構）講義室等配置図	170
5	教育学部各棟の配置図	172

I. はじめに

教育学部新入生の皆さんへ

教育学部長 小野文慈

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

新入生の皆さんにとって、この「履修の手引き」は、「学生便覧」と共に、とても大事な冊子となります。この「履修の手引き」は新入生の皆さんがこれから卒業までの間、学期毎、学年毎に、どのような授業科目を何単位履修しなければいけないのか、詳細に説明されています。

皆さんが入学された教育学部は当然のことながら教員養成学部であり、幼小連携教育コース、小中連携教育コースのコース毎に小学校教員の免許取得あるいは、中学校教員の免許取得を中心に、併せて幼稚園や特別支援学校や高等学校などの教員免許の取得についても考えていく必要があります。

「卒業のために必要な授業と単位」と「教員免許取得のために必要な授業と単位」は少し異なった視点から見ていただく必要もあり、じっくりとこの「履修の手引き」を読んでいただく必要があります。

大学ご入学までの学校とは異なり、大学においては、学生の皆さんの授業科目の履修登録と単位の取得状況の確認などは「自己管理」となります。当然チューターや教務担当の先生、教務課の事務の方は、わからないことがあれば相談に乗って下さったり、アドバイスを下さったりされますが、管理はあくまでも皆さん一人一人の「自己管理」となります。

入学式が終わって間もなく「履修登録期間」が始まり、早速皆さんが自分で大学のシステムにログインするなどして、自分で履修する授業科目の登録作業を行わなければなりません。

「自己管理」と言われると慌ててしまわれる方も多いかもしれませんが、先輩のアドバイスを受けたり、同級生同士で話し合うなどしながら試行錯誤していくうちに、学年が2年生、3年生と上がるにしたがって、いつの間にかそれが当たり前となって慣れていかれることと思います。

どうか、この「履修の手引き」を大切にいつも傍らに携えて頂き、皆さんの輝かしい4年間の学生生活、そしてご卒業後の未来のためにしっかりと計画的に着実に学習に励んでいただきたいと思います。

Ⅱ. 学部の教育目的及び各コース別の教育目的と教育目標

1. 佐賀大学教育学部の教育目的

教育学部は、学校教育課程幼小連携教育コース及び小中連携教育コースにより構成し、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的かつ連続的な視点から見据えながら、現代社会の変化に伴う様々な教育課題に対応することができる学校教員の養成を目的とする。

そのために本学部では、教育者たりうるための確かな学力の形成を主眼として、とりわけ小学校段階での英語教育の充実、科学的思考力の育成、人権尊重の視座に基づく社会観察力、ICT（情報通信技術）を利活用した教育などに重点を置いて、地域における複雑で多様な教育課題に的確に対応できる高度な指導力を身につけた教員養成を行う。その際、本学部の特質は、幼児教育と小学校教育や特別支援教育、及び小学校教育と中学校教育のあいだの円滑で有機的な連携・接続のあり方を探究・開発するコース編成にあることから、幼児・児童・生徒において、各教育段階のあいだで断絶や隔差の無い「スムーズな学び」を実現しうる教育手法を考案し実践できる教員の養成についても、本学部の重要な教育目的である。

2. 各コースの教育目的

- (1) 幼小連携教育コース——現在の家庭・学校・地域が抱える教育的課題の解決を視野に入れつつ、子どもの生活・発達・学習について、教育学や心理学、幼児教育、特別支援教育などの観点から専門的な知識や技能を学び、幼児期から児童期にかけての子どもたちの心身の発達や学びを支えるための教育能力をもった教員養成を行うことを教育目的とする。
- (2) 小中連携教育コース——小学校から中学校までの義務教育9年間における児童・生徒の心身の発達過程の特性に応じた教育の系統性を理解し、各教科の本質や意義、教育内容、学習指導方法について造詣を深め、実践的な指導技術を身につけた教員養成を行うことを教育目的とする。

Ⅲ. 学部の学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針

【学位授与の方針】

佐賀大学の学士力を踏まえるとともに、上記の本学部の教育目的に照らして、学生が身につけるべき以下の具体的な学習成果の達成を学位授与の方針とする。また、学則の定める所定の単位を修得した者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学位記を授与する。

1. 基礎的な知識と技能

- (1) 市民社会の一員として共通に求められる基礎的な知識と技能に関する授業科目を履修・学修し、様々な学問分野（自然、文化、社会）における基本概念や思考方法を理解し、現代社会の諸問題、とりわけ教育や子どもに関わる諸問題について、自らの力で合理的かつ論理的に推論し判断することができる。
- (2) グローバル社会の一員として思考し活動するための技能に関する授業科目を履修・学修し、日本語及び英語による文書と会話を通じて、他者の意思を的確に理解するとともに、自らの意思を表現し、他者から理解を得られるようなコミュニケーション・スキルを身につけている。また、ICT（情報通信技術）を活用して多様な情報を収集し、その真正性を分析・判断するとともに、その情報をモラルに則つ

て適切かつ効果的に活用・管理することができる。

- (3) 教育分野に必要とされる基礎的な知識・技能に関する授業科目を履修・学修し、学校教育のしくみ、児童生徒のこころと発達、障害のある児童等への支援、教科内容や教育方法について、その基本的な概念や原理を理解して説明することができ、幅広く体系的に知識と技能を身につけている。

2. 課題発見・解決能力

- (1) 現代的課題を見出し、解決の方法を探る能力に関する授業科目を履修・学修し、実践演習型や問題解決型の学習を通して、いじめや不登校、児童虐待、発達障害等のある子ども達の様々な困難や子どもの貧困、子どもたちの情報モラル不足や理数離れなど、複雑化している現代の子どもをめぐる諸問題について関心をもち、それらの諸問題をその社会的・歴史的・心理的な背景や要因まで含めて多面的に考察して理解し、解決に必要な情報を収集し分析することができる。
- (2) 教育のプロフェッショナルとして課題を発見し解決する能力に関する授業科目を履修・学修し、教育実習等において授業・指導の実践経験を積み、学校教育及び各教科の教育課題を発見し、当該分野の基礎的な知識と技法を応用して、その課題解決に取り組むことができる。
- (3) 教育分野の課題発見につながる協調性と指導力に関する授業科目を履修・学修し、種々の教育実践の経験を積み、学校教育における諸課題の解決のために他の教員と協調して行動し、子どもたちに対する指導力などを身につけ実践できる。

3. 個人と社会の持続的発展を支える力

- (1) 多様な文化と価値観を理解し共生に向かう力に関する授業科目を履修・学修し、平和が達成され、自然環境や社会的弱者にも配慮された社会を実現するため、自分自身が、各地域・各民族などの歴史や文化、伝統の違いを踏まえ、自己と同時に他者の立場に立って物事を考えることができるとともに、教育者として、そのような多角的思考や寛容の精神の重要性を、次代を担う子どもたちに対しても伝えることができる。
- (2) 地域や社会への参画力と主体的に学び行動する力に関する授業科目を履修・学修し、地域や社会における学校教育や現代の子どもをめぐる様々な問題に関心を向け、自らの目標をもって主体的に学習する習慣を身につけている。また、そうした諸問題に的確に対応するため、継続的に自己研鑽に励む意欲と態度を備え、地域や社会における自らの役割を積極的に果たしうる。
- (3) 高い倫理観と社会的責任感に関する授業科目を履修・学修し、高い倫理観と豊かな人間性を育み、教育者（教員）としての責務を自覚して、自己の能力を地域や社会に還元する強い志をもち、社会人としての規範に従って行動できるとともに、教育者（教員）として社会の健全な維持発展に主体的に寄与しようとする姿勢を身につけている。

【教育課程編成・実施の方針】

上記の教育方針（学位授与の方針）を具現化するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成し、教育を実施する。

1. 教育課程の編成

- (1) 効果的に学習成果を上げるために、教養教育科目と専門教育科目を順次的・体系的に配置した4年一貫の教育課程を編成する。

(2) 教養教育については、各分野に対応した以下の科目を配置する。

●基礎的な知識と技能の分野

- ① 教養教育において、市民社会の一員として必要となる基礎的な知識・技能に関する授業科目として、基本教養科目の自然科学と技術の分野、文化の分野及び現代社会の分野（芸術・スポーツを含む。）を、必修及び選択必修として幅広く履修できるように配置する。
- ② 教養教育において、市民社会の一員として思考し活動するために必要な技能に関する授業科目として、外国語科目及び情報リテラシー科目を、初年次から必修及び選択必修として幅広く履修できるように配置し、基礎的な汎用技能を修得した上で、専門課程における応用へと発展的な学習につなげる。

●課題発見・解決能力の分野

- 教養教育において、様々な課題を探求し、少人数クラスでの検討を通じて解決の道を探るための授業科目として、初年次の必修として配置する（大学入門科目Ⅰ）。また、現代的な課題を発見・探求し、問題解決につながる協調性と指導力を身につけさせるための科目を、選択必修として配置する（インターフェース科目）。

●個人と社会の持続的発展を支える力の分野

- 教養教育において、多様な文化と価値観を理解し共生に向かう力、持続的な学習力と社会への参画力、及び高い倫理観と社会的責任感に関する授業科目を、選択必修として履修できるように配置する（インターフェース科目）。

●その他の分野

- 教養教育において、教育職員免許状の取得のために特に必要な授業科目（教育職員免許法施行規則第66条の6関係）のうち体育実技について、必修として履修できるように共通教職科目を配置する。

(3) 専門教育科目については、教員として必要とされる体系的な知識や技能の修得を目的として、各分野に対応した以下の科目を配置する。

●基礎的な知識と技能

- ① 教育分野に必要とされる基礎的な知識・技能に関する授業科目として、コース共通科目（各コースの趣旨・特色を活かすため、当該コースに所属する学生全員が専門の素養として共通に修めておくべき学力を育てるための科目）を配置する。また、大学が独自に設定する科目（教育実践フィールド演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ等）や教育実習、教職実践演習を配置する。

●課題発見・解決能力の分野

- ① 教育のプロフェッショナルとして課題を発見し解決する能力に関する授業科目として、教科及び教職に関する科目、幼小発達教育に関する科目、特別支援教育に関する科目など、教育学の基礎的な知識・理論、各科目の教科内容やその学習指導方法、障害のある幼児・児童・生徒に対する教育、並びに幼児教育・小学校教育・中学校教育の各教育段階のあいだの円滑な接続や連携に関わる科目を配置する（これらは、教育職員免許を取得するために必要な科目でもある）。また、本学部における4年間にわたる学修の集大成として、学生各自が指導教員と相談の上定めたテーマにつき、4年次の1年間を通じて研究に取り組むものとして、卒業研究を配置する。
- ② 教育分野の課題発見につながる協調性と指導力に関する授業科目として、大学が独自に設定する科目（教育実践フィールド演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）や教育実習を配置する。

●個人と社会の持続的発展を支える力の分野

- ① 多様な文化と価値観を理解し共生に向かう力に関する授業科目として、全学部の専門教育科目の中から各自の興味関心にしたがって選択できる科目として、自由選択科目を配置する。また、卒業研究を配置する。
- ② 地域や社会への参画力と主体的に学び行動する力に関する授業科目として、大学が独自に設定する科目や教育実習、介護等体験、教職実践演習を配置する。
- ③ 高い倫理観と社会的責任感に関する授業科目として、大学が独自に設定する科目や教職実践演習などを配置する。

2. 教育の実施体制

- (1) 授業科目の教育内容ごとに、その分野の授業を行うのに適した専門性を有する教員が講義を担当するように、各担当教員を配置する。
- (2) 順序立てて体系的な知識や理論、技法を学べるように、授業科目の学年配当などを工夫するとともに、教員同士で相互に連携して担当科目間の有機的連関（一貫性）を保つ。

3. 教育・指導の方法

- (1) 講義のほか、実験・実技・実習及びフィールドワークによる実証的・実践的学習や体験学習をバランスよく組み合わせて学習効果を高める。
- (2) 学生が主体的学習と問題解決法を修得していくことを目指して、ディスカッションやプレゼンテーションなどを取り入れた授業（アクティブ・ラーニング）を積極的に行う。
- (3) 少人数の学生グループごとに指導教員（チューター）を配置し、きめ細やかな履修指導や学習支援を行う。
- (4) 初年次より学校体験を取り入れ、体系的・段階的に指導する科目（教育実践フィールド演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）を導入し、教員としての資質向上を促進する。

4. 学修成果の評価

- (1) 授業科目の学修成果を評価するために、授業科目担当教員は、測定する到達目標の特性に応じて、筆記試験、レポート（論文）、作品、発表、活動内容等により多面的評価を行う。
- (2) 個別の授業科目の成績評価方法については、シラバスに明示する。
- (3) 成績評価は成績評価基準に基づき判定する。

評語 (評価)	評点	評価基準	合否判定	成績評定 (GP)
秀	90 点以上 100 点満点	学修到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を上げている。	合格	4
優	80 点以上 90 点未満	学修到達目標を十分に達成している。		3
良	70 点以上 80 点未満	学修到達目標をおおむね達成している。		2
可	60 点以上 70 点未満	学修到達目標を最低限達成している。		1
不可	60 点未満	学修到達目標を達成していない。	不合格	0

※ 上記により評価が難しい授業科目は、合又は不可の評語によって表し、合を合格とし、不可を不合格とする。

- (4) 教育課程を通した学修成果を、ラーニング・ポートフォリオ、学士力項目の達成状況（ルーブリック評価等）及び各授業科目の成績を用いて総合的に評価する。
- (5) 成績評価の結果は、評価分布等を使用して定期的に点検を行い、必要に応じて教育方法等の改善を行う。

【学士力と授業科目との対応：教育学部学校教育課程】

学 士 力		授 業 科 目
(大項目)	(小項目)	
1.基礎的な知識と技能	(1) 市民社会の一員として共通に求められる基礎的な知識と技能	基本教養科目(自然科学と技術の分野,文化の分野,現代社会の分野)
		共通教職科目(体育実技Ⅰ・Ⅱ)
	(2) 市民社会の一員として思考し活動するための技能	外国語科目(英語A～D)
		情報リテラシー科目(情報基礎概論,情報基礎演習Ⅰ)
	(3) 教育分野に必要とされる基礎的な知識・技能	基本教養科目(自然科学と技術の分野)
		コース共通科目
2.課題発見・解決能力	(1) 現代的課題を見出し, 解決の方法を探る能力	大学入門科目(Ⅰ), インターフェース科目
		専門教育科目(大学が独自に設定する科目, 教科及び教科の指導法に関する科目, 教育の基礎的理解に関する科目, 道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目, 特別支援教育に関する科目)
	(2) 教育のプロフェッショナルとして課題を発見し解決する能力	卒業研究
		インターフェース科目
	(3) 教育分野の課題発見につながる協調性と指導力	教育実践フィールド演習(Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ)
		教育実習
3.個人と社会の持続的発展を支える力	(1) 多様な文化と価値観を理解し共生に向かう力	自由選択科目
		卒業研究
	(2) 地域や社会への参画力と主体的に学び行動する力	インターフェース科目
		専門教育科目(大学が独自に設定する科目)
		教育実践フィールド演習(Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ), 教職実践演習
	(3) 高い倫理観と社会的責任感	教育実習, 介護等体験
インターフェース科目		
		専門教育科目(大学が独自に設定する科目), 教職実践演習

【教育学部学校教育課程における教育目標を達成するための授業科目の流れ（カリキュラムマップ）】

学位授与の方針 (学士力)		授 業 科 目 名							
		1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
1	(1)	基本教養科目(自然科学と技術の分野、文化の分野、現代社会の分野)							
		共通教職科目 (体育実技I・II)							
	(2)	外国語科目 (英語A)	外国語科目 (英語B)	外国語科目 (英語C)	外国語科目 (英語D)				
		情報リテラシー科目 (情報基礎概論) (情報基礎演習I)							
		基本教養科目(自然科学と技術の分野)							
	(3)		コース共通科目		コース共通科目	コース共通科目	コース共通科目	コース共通科目	
		教育実践 フィールド演習I			教育実践 フィールド演習II	教育実践 フィールド演習III			教職実践演習
					教育実習(通年科目)		教育実習(併免)(通年科目)		
2	(1)	大学入門科目 (I)		インターフェース科目	インターフェース科目	インターフェース科目	インターフェース科目		
	(2)	専門教育科目(教科及び教職に関する科目, 大学が独自に設定する科目, 特別支援教育に関する科目)							
		卒業研究							
	(3)			インターフェース科目	インターフェース科目	インターフェース科目	インターフェース科目		
		教育実践 フィールド演習I			教育実践 フィールド演習II	教育実践 フィールド演習III			
				教育実習(通年科目)		教育実習(併免)(通年科目)			
3	(1)	自由選択科目	自由選択科目	自由選択科目	自由選択科目	自由選択科目	自由選択科目	自由選択科目	
		卒業研究							
	(2)			インターフェース科目	インターフェース科目	インターフェース科目	インターフェース科目		
		専門教育科目(大学が独自に設定する科目)							
		教育実践 フィールド演習I (特別支援学校での 介護等体験含む。)			教育実践 フィールド演習II	教育実践 フィールド演習III			教職実践演習
			介護等体験(社会福祉施設)		教育実習(通年科目)		教育実習(併免)(通年科目)		
(3)			インターフェース科目	インターフェース科目	インターフェース科目	インターフェース科目			
	専門教育科目(大学が独自に設定する科目)								
標準修得 単位数	21	21	23	23	22	22	4	6	
上限	30	30	30	30	30	30			
	50		50		50			合計134単位 以上	

IV. 開講科目の設置趣旨

教育学部学校教育課程の専門教育科目は、各コースの専攻ごとに以下のとおり構成されている。

【幼小連携教育コース】

○ 幼小発達教育専攻及び特別支援教育専攻

課程・コース共通科目、初等教科及び教職に関する科目、幼小発達教育に関する科目、特別支援教育に関する科目（特別支援教育専攻のみ）、自由選択科目及び卒業研究から構成されている。

・ 課程・コース共通科目

本コースでは、子どもの生活・発達・学習について、心理、教育・保育、特別支援教育の視点から専門的知識や技能を学ぶことにより、近年の子どものニーズや課題を把握できる教員を養成することを目的としている。そのために本コースに所属する学生が共通に履修すべき授業科目を幼小連携教育に関する科目により構成されている。

・ 初等教科及び教職に関する科目

初等教科及び教職に関する科目は、さらに「教科及び教科の指導法に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」で構成される。

▶ 教科及び教科の指導法に関する科目

小学校で指導する教科内容及び教科教育に関する授業科目群であり、国語（書写を含む。）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語（英語）に関する科目により構成されている。これらは、それぞれ小学校の教科に関わる一般的包括的な内容及び教科の指導法を含んでいる。

▶ 大学が独自に設定する科目

「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」のいずれにも分類できない授業科目より構成され、本学部が独自に教員養成のために重要であると判断した授業科目群である。

「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」を所定の単位数以上に修得した場合は、この科目の単位として算入される。

▶ 教育の基礎的理解に関する科目

職業としての小学校教諭に不可欠な知識や技能を修得する授業科目群であり、教育の理念、教職の意義及び教員の役割・職務内容、教育に関する社会的・制度的・経営的事項、児童の心身の発達及び学習の過程、特別の支援を必要とする児童に対する理解に関する科目により構成される。

- ▶ 道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目
道徳，特別活動，総合的な学習の時間の指導，学級経営に必要な生徒指導・進路指導に関する科目により構成される。
- ▶ 教育実践に関する科目
授業等で身に付けた知識・技能をもとに実際に各種学校への教育実習等に関する科目により構成される。
- ・ 幼小発達教育に関する科目
幼児期から児童期への心身の発達に関する基礎知識を身につけ，幼児教育（保育所・認定こども園・幼稚園等）についての専門的な知識と技能を修得する授業科目群である。
- ・ 特別支援教育に関する科目（特別支援教育専攻のみ）
特別な教育ニーズを持つ子どもの教育的支援についてのより専門的な知識を修得する授業科目群である。
- ・ 自由選択科目
自由選択科目は，学部・コースの壁をなくした選択科目あり，学生の興味・関心に応じて学部内外の開講科目から履修することができる（佐賀大学教育学部履修細則の別表Ⅱを参照のこと）。学生の選択の幅を広げ，学生の多様な能力・適性に柔軟に対応することが可能となる。さらに，教員免許状や各種資格取得に利用できる科目もある。
- ・ 卒業研究
子どもの生活・発達・学習について，心理，教育・保育，特別支援教育の視点から専門的知識や技能を学び，子どものニーズや課題を把握するために積んできた研鑽の成果を踏まえ，幼児期教育と小学校教育との連携という観点も加味しつつ，それまでの学修を集大成し，新発見を追究する研究である。

【小中連携教育コース】

○ 初等教育主免専攻及び中等教育主免専攻（各教科）

課程・コース共通科目，初等教科及び教職に関する科目，中等教科及び教職に関する科目，自由選択科目及び卒業研究から構成されている。

・ 課程・コース共通科目

本コースではまず，小学校から中学校までの義務教育9年間における児童・生徒の心身の発達過程の特性に応じた教育の系統性を理解し，小学校（全教科）と中学校（学生各自が選択する教科）に関する教科内容や教科教育，指導技術について学修することを目的としている。そのため，本コースに所属する学生が共通に履修するべき授業科目群であり，小中連携教育に関する科目により構成されている。

- ・ 初等教科及び教職に関する科目

初等教科及び教職に関する科目は、さらに「教科及び教科の指導法に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」で構成される。

 - ▶ 教科及び教科の指導法に関する科目

小学校で指導する教科内容及び教科教育に関する授業科目群であり、国語（書写を含む。）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語（英語）に関する科目により構成されている。これらは、それぞれ小学校の教科に関わる一般的包括的な内容及び教科の指導法を含んでいる。
 - ▶ 大学が独自に設定する科目

「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」のいずれにも分類できない授業科目より構成され、本学部が独自に教員養成のために重要であると判断した授業科目群である。

「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」を所定の単位数以上に修得した場合は、この科目の単位として算入される。
 - ▶ 教育の基礎的理解に関する科目

職業としての小学校教諭に不可欠な知識や技能を修得する授業科目群であり、教育の理念、教職の意義及び教員の役割・職務内容、教育に関する社会的・制度的・経営的事項、児童の心身の発達及び学習の過程、特別の支援を必要とする児童に対する理解に関する科目により構成される。
 - ▶ 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

道徳、特別活動、総合的な学習の時間の指導、学級経営に必要な生徒指導・進路指導に関する科目により構成される。
 - ▶ 教育実践に関する科目

授業等で身に付けた知識・技能をもとに実際に小学校での実習を行う教育実習等に関する科目により構成される。
- ・ 中等教科及び教職に関する科目

中等教科及び教職に関する科目は、さらに「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、及び「教育実践に関する科目」で構成される。

 - ▶ 教科及び教科の指導法に関する科目

中学校で指導する教科内容及び教科教育に関する授業科目群であり、国語科、社会科、数学科、

理科，音楽科，保健体育科，技術科，家庭科，英語科に関する科目により構成される。これらは，中学校の教科に関わる専門的な内容又は教科の指導法に関する内容を含んでいる。

▶ 教育の基礎的理解に関する科目

教育に関する歴史及び思想に関する科目により構成される。

▶ 教育実践に関する科目

授業等で身に付けた知識・技能をもとに実際に中学校又は高等学校での実習を行う教育実習等に関する科目により構成される。

・ 自由選択科目

自由選択科目は，学部・コースの壁をなくした選択科目あり，学生の興味・関心に応じて学部内外の開講科目から履修することができる（佐賀大学教育学部履修細則の別表Ⅱを参照のこと。）。学生の選択の幅を広げ，学生の多様な能力・適性に柔軟に対応することが可能となる。さらに，教員免許状や各種資格取得に利用できる科目もある。

・ 卒業研究

「初等教育主免専攻」では，中学校の学びへの接続を意識しながら小学校の教科等の授業及びその教材や指導法について学修し，「中等教育主免専攻」では，小学校での学びとの関係を考慮しながら中学校の教科等の授業及びその教材や指導法について学修してきた各専攻における研鑽の成果を踏まえ，小学校と中学校の教育の連携という観点も加味しつつ，それまでの学修を集大成し，新知見を追究する研究である。

V. 教 育 課 程

I 学校教育課程のカリキュラム構成

		科 目 区 分		授 業 科 目 名		
教養教育科目	大学入門科目		大学入門科目 I			
	共通基礎科目	外国語科目	英語	英語 A・B・C・D		
		情報リテラシー科目	講義	情報基礎概論		
			演習	情報基礎演習 I		
	基本教養科目	自然科学と技術の分野		佐賀大学教養教育科目履修細則に規定する科目		
		文化の分野		//		
		現代社会の分野		//		
	インターフェース科目		//			
共通教職科目		体育実技 I・II				
専門教育科目	課程・コース共通科目		専門教育科目の開設授業科目表に記載する科目			
	初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目		//		
		大学が独自に設定する科目		//		
		教育の基礎的理解に関する科目		//		
		道徳,総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導,教育相談等に関する科目		//		
		教育実践に関する科目		//		
	幼小発達教育に関する科目		//			
	特別支援教育に関する科目		//			
	中等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目		//		
		教育の基礎的理解に関する科目		//		
		教育実践に関する科目		//		
自由選択科目		教育学部及び他学部の専門教育科目等				
卒業研究		卒業研究				

(注) 授業科目の必修・選択の別, 単位数及び履修年次については, 全学教育機構履修の手引き(教養教育科目関係)及び教育学部履修の手引き(専門教育科目)の開設授業科目表等を参照のこと。

2 授業科目履修年次概略表

1年次		2年次		3年次		4年次	
前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
大学入門科目 (大学入門科目I)							
外国語科目 (英語A)	外国語科目 (英語B)	外国語科目 (英語C)	外国語科目 (英語D)				
情報リテラシー科目 (情報基礎概論 情報基礎演習I)							
共通教職科目 (体育実技I・II)							
基本教養科目	基本教養科目	基本教養科目	基本教養科目				
		インター フェース科目	インター フェース科目	インター フェース科目	インター フェース科目		
専門教育科目	専門教育科目	専門教育科目	専門教育科目	専門教育科目	専門教育科目	専門教育科目	専門教育科目
						専門教育科目 (卒業研究)	専門教育科目 (卒業研究)

※基本教養科目8単位の履修方法については、P120（佐賀大学教育学部履修細則第4条）を参照。

3 卒業に必要な単位数表

【学校教育課程】

コース	科目	教養教育科目										専門教育科目										合計								
		大学入門科目				共通基礎科目		基本教養科目		インターフェース科目	共通教職科目	小計	課程・コース共通科目	初等教科及び教職に関する科目				中等教科及び教職に関する科目					特別支援教育に関する	教及に	教育の	道時徒	教育実	自由選	卒業研	小計
		外国語科目	英語	情報リテラシー科目	演習	自然科学と技術の分野	文化の分野	現代社会の分野	講義	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語		英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
幼小連携教育	幼小発達教育専攻	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	40	6	6	31	19	1	134												
	特別支援教育専攻	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	30	6	27	2	1	134													
小中連携教育	国語科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	30	6	27		14	134													
	社会科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	30	6	27		20	134													
	数学科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	30	6	27		12	134													
	理科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	30	6	27		22	134													
	音楽科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	30	6	27		17	134													
	保健体育科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	30	6	27		22	134													
	技術科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	30	6	27		14	134													
	家庭科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	30	6	27		14	134													
	英語科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	30	6	27		12	134													
	国語科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	16	4	25		30	134													
社会科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	16	4	25		30	134														
数学科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	16	4	25		30	134														
理科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	16	4	25		30	134														
音楽科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	16	4	25		30	134														
保健体育科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	16	4	25		30	134														
技術科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	16	4	25		26	134														
家庭科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	16	4	25		34	134														
英語科	2	4	2	1	8	8	8	2	27	6	16	4	25		30	134														

※基本教養科目は、日本国憲法を含み、各分野から2単位以上、計8単位以上修得すること。

4 単位制度

大学における授業科目の単位は、学生が授業科目を履修し、授業担当教員が履修の目的が達成されたと認定した場合に与えられるものであり、その学生を信頼する (credit) という意味のものです。

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容で構成することを標準とし、授業の方法に応じて、教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮し、次の基準により単位数が定められています。(佐賀大学学則第19条)

なお、本学における1校時分の授業は原則として90分(1コマ)で、これを2時間分の授業とみなします。

- (1) 講義は、毎週1時間から2時間15週の授業をもって1単位とします。
- (2) 演習は、毎週1時間から2時間15週の授業をもって1単位とします。
- (3) 実験、実習及び実技は、毎週2時間又は3時間15週の授業をもって1単位とします。

45時間の学修をもって1単位とする単位制度の標準によれば、毎週1コマの講義で2単位を修得するためには、その授業に関連して毎週2コマ分の自学自習が必要になることになります。

授業の方法	授業時間数 (a)	授業時間外の学修 (b)	=	1単位 (45時間)
講義, 演習	15～30時間	30～15時間	+	
実験, 実習, 実技	30～45時間	15～時間		
講義, 演習, 実験, 実習, 実技のうち、二つ以上の 組み合わせ	大学が定める授業時間	授業時間外の学修	=	

※ 授業時間数 (a) + 授業時間外の学修 (b) = 1単位 (45時間)

1単位を修得するためには、(a)と(b)の学修時間数の合計45時間の学修が必要になります。

※ 卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めています。(教育学部の卒業研究は4単位)

5 授 業

1日の授業は、5校時(必要な場合は6校時)で実施されます。

校時	区分	授業及び試験時間
I校時		8:50～10:20
II校時		10:30～12:00
昼 休 み		
III校時		13:00～14:30
IV校時		14:40～16:10
V校時		16:20～17:50
VI校時		18:00～19:30

1つの授業科目の授業は、通常週に1回行われ、前学期及び後学期の各学期（15週）で完結するように編成されています。ただし、教育効果等を考慮して、1年間（30週）で完結するように編成されているもの（通年の授業）もあります。

また、休業期間（夏季、冬季、春季）等に短期間（授業時間数は通常開講と同じ）で集中して行う授業（集中講義）などもあります。

授業時間割は、前学期及び後学期の各学期と集中講義が実施される場合に、教務システム（LiveCampus。以下、LiveCampusと表記）でお知らせします。（前学期及び後学期の各学期の授業時間割は、佐賀大学学生センターのホームページ上にも掲載されます。）

6 シラバス

授業の概要を記したものをシラバス(Syllabus)と言います。シラバスには、授業科目名、授業の開講年度・学期・曜日校時、授業担当教員、単位数のほか、講義概要、到達目標、授業計画、授業以外の学習、成績評価の方法と基準、テキスト、参考図書等、授業科目についての様々な情報が記載されています。

シラバスは、LiveCampusを通じてパソコンで見ることができます。

（注） LiveCampusの利用方法は、入学後第1回目の情報リテラシー科目等の授業で説明されます。また、LiveCampusでは、シラバスを検索して参照したり、履修登録を行うほか、各自の履修登録状況を表示した授業時間割、成績状況（単位の修得状況）、授業に関する連絡等が参照できます。

7 履修手続

授業科目の履修に当たっては、各学期の始めに掲示板及び佐賀大学学生センターのホームページ上に授業時間割表が掲載されますので、全学教育機構と教育学部の履修の手引き等を参照しながら履修計画を具体的に立てることになります。また、専門教育科目については、教育学部履修の手引きの「専門教育科目の開設授業科目表」（P58）に、必修・選択の別や履修年次をはじめとして、履修の順序、条件、クラス分け、隔年開講等、履修するに当たっての重要な情報が掲載されていますので、よく確認の上検討し、履修指導にも十分留意するようにしてください。

なお、卒業や教員免許状及び各種の資格取得のためには、単位数だけではなく、それぞれ定められた枠組みのあることにも注意が必要です。

履修登録は、上記のことを踏まえ、各学期の始めに設定される期間内に、各自で行ってください。また、集中講義の履修手続きは別に行う必要があります。

履修登録を終えた後には、履修データの登録確認期間が設けられており、登録内容に間違いがないかよく確認し、科目の追加、削除等の修正が必要な場合は、必ず履修登録期間内に修正を行ってください。履修方法等に誤りがあると、たとえ履修しても単位は無効となるので、不明な点は学生センター内の教育学部教務に照会してください。

※履修登録手続きの流れについては、佐賀大学学生便覧を参照してください。

<登録単位数の上限>

学校教育課程の登録単位数の上限は、以下のとおりです。

課 程	卒業要件 単位数	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
		前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
学校教育	134	30	30	30	30	30	30	—	—
		50		50		50		—	

(注) 1 登録単位数の上限は、各年次50単位まで、各学期30単位までとします。

2 4年次の上限設定はありません。

3 集中講義は、上記の登録単位数に算入されません。

<登録単位数の特例>

当該学期において10単位以上修得し、かつ、GPA計算期日のGPA値が2.5以上の者は、成績優秀者として認定され、翌学期において10単位まで登録単位数の上限を超えて履修登録を行うことができます。

8 出席管理システム

教養教育1号館と2号館の教室を中心に、40以上の教室でICカード学生証読取端末を設置しています（教育学部は1号館104講義室のみ設置）。読取端末設置教室で授業が行われる場合は、学生証を必ずかざしてください。各授業の出席情報取得期間は、授業開始10分前から終了時刻までとなっていて、学生証をかざした記録は学内外から確認できます。

なお、学生証をかざした記録が少ない場合、チューターや学生生活課から本人に問合せを行うことがあります。

*出席管理システムは、LiveCampusからアクセスすることができます。

9 大学からの連絡と掲示板

履修登録やシラバスを参照するときには、LiveCampusを利用しますが、すべての情報がこのLiveCampusから得られる訳ではありません。履修関係のほか、試験、成績などに関する重要な連絡や教員からの呼び出し、連絡事項は、LiveCampusと掲示板を併用して行います。

本庄キャンパスの教養教育大講義室前の広場には、教務関係の掲示板が設置されています。

「大学に行ったら、まず掲示板を見る。」という習慣を身につけてください。

10 定期試験

定期試験は、年間2回（前学期・後学期）の学期末に実施され、その時間割表は、定期試験の1週間前に掲示されます。

なお、授業科目によっては定期試験を行わず、レポート等が課される場合があります。

11 成績評価及び通知

① 成績の判定は、平素の学修状況、学修報告、論文及び試験等によって行われます。

また、成績の評価は、秀、優、良、可及び不可で表示され、不可は不合格となります。

② 成績は、各自で掲示された所定の期間にLiveCampusで確認することになっています。

12 不正行為

<定期試験における不正行為>

定期試験において不正行為を行ったときは、その定期試験期間中に受験したすべての試験科目の成績は、所定の手続きを経て無効（失格）になります。

<実験等における不正行為>

実験、実習、学修報告、論文又は平素の試験等において不正行為を行ったときは、当該実験、実習、学修報告、論文又は平素の試験等に係る科目の成績は、所定の手続きを経て無効（失格）になります。

VI. 専門教育科目

専門教育科目は、教育職員（先生）としての専門的な知識や技能を学修するために、本学部が設ける科目群で、必修・選択必修・選択の各種別から成ります。具体的には、教育に関する理念や制度、幼児・児童・生徒の成長発達段階、生徒指導などについて学ぶ基礎分野に始まり、各学生の所属するコース・専攻・教科に対応するかたちで、幼児教育・初等教育・中等教育・特別支援教育における各教科の教育法や教育内容などを講ずる授業、さらに、そこで学んだことを実際の教育現場で活用するための実践力を身につける教育実習などから構成されます。また、幼小連携・小中連携を重視する本学部の特徴として、幼児から初等、初等から中等という学校教育の各段階間における子どもの学びをスムーズなものとするために有効な連携や接続のあり方を考える科目も用意されています。

以上のような諸科目を計画的かつ段階的に履修した上で、最終年次において教職実践演習や卒業研究に取り組むことを通じて、各自が蓄積してきた4年間の学修成果の総仕上げをすることになります。

以下に、専門教育科目の単位を修得するに当たっての諸注意を記します。特に、各自が所属するコース・専攻・教科に応じて区分された<クラス（グループ）分け>は、各学期の授業時間割から履修科目を選択する上で非常に重要ですから、しっかりと確認してください。

1 学籍番号及びクラス（グループ）分けについて

学校教育課程各コース及び各専攻の学籍番号及びクラス（グループ）分けは以下のとおりです。この履修の手引や掲示される授業時間割などでは、クラス（グループ）を表すため、アルファベット等の表記を用います。指定クラス（学籍番号の偶数・奇数、グループ）がある場合は、原則として指定されたクラス（グループ）以外では履修できません。

<学籍番号>

課程・コース・専攻	入学年度	教育学部	連番
	西暦下2桁	学校教育課程	
【学校教育課程】			
・幼小連携教育コース			
幼小発達教育専攻	22	101	001～099
特別支援教育専攻	22	101	101～199
・小中連携教育コース			
初等教育主免専攻	22	101	201～299
中等教育主免専攻	22	101	301～399

<クラス（グループ）分け>

【学校教育課程】

コース	専攻	クラス（グループ）
幼小連携教育コース	幼小発達教育専攻	A：幼小連携教育グループ
	特別支援教育専攻	
小中連携教育コース	初等教育主免専攻 中等教育主免専攻	B：言語・社会系グループ (国語科, 社会科, 英語科)
		C：理数系グループ (数学科, 理科, 技術科)
		D：実技系グループ (音楽科, 保健体育科, 家庭科)

2 追試験（教育学部専門教育科目）

- (1) やむを得ない理由によって定期試験を受験できなかった授業科目で、担当教員の承認を得た後、所定の追試験願を提出した者については、教育学部教務委員会の議を経て追試験を行うことがあります。
- (2) 就職試験等により、事前に定期試験を受験できないことが明らかな場合は、当該授業科目の試験日の前日までに、追試験願を教育学部教務の窓口へ提出しなければなりません。
- (3) 病気等により、事前に願い出ることができなかった場合は、当該授業科目の試験日から7日以内に追試験願を教育学部教務の窓口へ提出しなければなりません。
ただし、この期間中に本人が手続きできない場合は、この限りではありません。
- (4) 追試験願には、欠席の事由を証明する文書等を添えなければなりません。
- (5) 欠席の事由として認められるのは、天災、交通機関の事故、交通事故、病気、忌引き（2親等以内（父母、祖父母、兄弟姉妹等））、就職試験、大学院入学試験、その他です。
「その他」に該当する理由の適否については、教授会で判断します。

3 再試験（教育学部専門教育科目）

- (1) 再試験は原則として行いません。
ただし、担当教員が再試験実施を承認した場合には行われることがあります。
 - (2) 再試験が実施される授業科目は、成績交付後に掲示で発表されます。再試験を希望する場合は、その発表日を含めて5日以内に再試験願を教育学部教務の窓口へ提出しなければなりません。
再試験に合格した場合の成績は、69～60点（＝可）が上限になります。
- * 教養教育科目の追試験及び再試験については、全学教育機構履修の手引きを参照してください。

VII. 諸手続について

1 履修等に関する手続

授業科目の履修等に関する手続として以下のものがありますので、見落としがないように留意してください。

なお、期限内に提出されない場合は原則として認められません。諸手続の申し込み用紙は教育学部教務の窓口準備してあります。

年次	事 項	提出期限	提出先等
随時	履修手続	指定する期日	LiveCampus で登録
	追試験願	当該授業科目の試験日から7日以内	教務課教育学部教務窓口
	再試験願	指定する期日	〃
	休学願	休学予定日の1か月前まで	〃
	退学願	退学予定日の 〃	〃
	復学願	復学予定日の 〃	〃
	本籍地変更届	随 時	教務課教務情報管理窓口
	改姓（名）届	〃	〃
	保証人変更届	〃	〃
3年	卒業研究履修届	1月20日	グループの教員代表
	教育実習届	指定する期日	教務課教育学部教育実習窓口
4年	就職志望調査票	指定する期日	キャリアセンター
	教育実習届	〃	教務課教育学部教育実習窓口
	教員免許状申請書	〃	〃
	卒業論文	1月31日	指導教員

2 証明書の発行手続

証明書は、所定の申込書により申し込んでください。

なお、発行に1週間程度要する場合がありますので、余裕をもって申し込むようにしてください。

証明書の種類	申込み窓口
学生証	教務課教務情報管理
通学証明書等 自動車登録票	学生生活課
教育職員免許状関係証明書	教務課教育学部教務
英文証明書	
学力に関する証明書	
人物証明書（推薦書）	
調査書	
資格関係の単位修得証明書	

※ 「在学証明書」、「JRの旅客運賃割引証（学割）」、「成績証明書」及び「卒業見込証明書」は、学生センター教務課、図書館、かささぎホール2階（食堂）に設置された証明書自動発行機で発行します。

VIII. 教員免許状と教育実習について

1 教員免許状

(1) 教員免許状取得のための必要条件を充足すれば、下の表に示すような各種の免許状を取得することが可能です。〔佐賀大学学則 別表（第37条第2項関係）より〕

課 程	文部科学省より認定を受けている教員免許状・免許教科の種類
学校教育課程	小学校教諭1種免許状 中学校教諭1種免許状 (国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 保健体育, 家庭, 技術, 英語) 高等学校教諭1種免許状 (国語, 書道, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 保健体育, 家庭, 英語) 特別支援学校教諭1種免許状 (知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者) 幼稚園教諭1種免許状

(2) 免許状を取得するためには、卒業要件以外の授業科目の単位を修得する必要があるため、相当の努力が必要であるとともに、授業科目の学年・学期配当や時間割も考慮しなければなりません。

教員免許状取得のための必要条件を充足するためには、この手引きの「教員免許状の取り方」(P28) 及び「専門教育科目の開設授業科目表について」(P58～)をよく読んで、必要な授業科目を計画的に履修することが望まれます。

(3) 小学校教諭・中学校教諭の教員免許状取得のためには、介護等体験が必要となります。(詳細は、「教員免許状と介護等体験について」(P26, 27)に記載)

なお、教育実習の履修方法については、次節に記載されています。

2 教育実習

(1) 教育実習の種類とその実施計画

教育学部には、免許状の種類や必要単位数の違いによって、次に示す教育実習があります。

さらに、実習期間、コース・専攻、実施時期等の違いによって、下表に示す教育実習に分けられます。

教育学部 学校教育課程						
コース	幼小連携教育コース		小中連携教育コース			
専攻	幼小発達教育専攻 (略記：幼)	特別支援教育専攻 (略記：特)	初等教育主免専攻 (略記：初)	中等教育主免専攻 (略記：中)		
時 期	対象となる専攻	必修・ 選択	科 目 名	単 位 数	実 習 期 間	実 習 校
3年次 9月	幼，特，初	必修	小学校教育実習Ⅰ・Ⅱ	5	4週間	附属小学校， 代用附属小学校
	中	必修	中学校教育実習Ⅰ・Ⅱ	5	4週間	附属中学校
4年次 9月	初	必修	中学校教育実習Ⅰ	3	2週間	代用附属中学校， 附属中学校， 佐賀市内中学校， 出身中学校
	幼，特	選択				
	中	必修	小学校教育実習Ⅰ	3	2週間	附属小学校， 代用附属小学校
3年次 2月 又は 4年次 11月	特	必修	障害児教育実習	3	2週間	附属特別支援学校， 県立特別支援学校
	幼，初，中	選択				
4年次 5月～9月	幼，特，初，中	選択	高等学校教育実習	3	2～3 週間	出身高等学校
4年次 9月	幼，特，初，中	選択	幼稚園教育実習Ⅰ	3	2週間	附属幼稚園， 佐賀市内幼稚園

※各実習には実習期間以外に事前・事後指導が含まれる。

3 教育実習の履修方法及び参加資格基準について

1-1 小学校教育実習Ⅰ・Ⅱ (小中連携教育コース中等教育主免専攻以外の場合)

- (1) 教育実践フィールド演習Ⅰ及び教育実践フィールド演習Ⅱを修得していること。また、教育実践フィールド演習Ⅲを修得済み又は履修中であること。
- (2) 2年次後学期終了までに、64単位以上を修得していること。
- (3) 2年次後学期終了までに、各教科の指導法(小学校)について8単位以上を修得していること。
- (4) 3年次前学期終了までに、生徒・進路指導論又は教育相談を修得していること。

1-2 小学校教育実習Ⅰ (小中連携教育コース中等教育主免専攻の場合)

- (1) 卒業研究を履修中であること。(4月1日時点で3年以上在学(休学期間を除く。)していること。)
- (2) 中学校教育実習Ⅰ・Ⅱを修得していること。
- (3) 3年次後学期終了までに、次の①～③を満たしていること。
 - ① 90単位以上を修得していること。
 - ② 教科及び教科の指導法に関する科目については、次のとおりとする。
 - ア 教科に関する専門的事項については、2教科各1単位以上の計2単位以上を修得していること。
 - イ 各教科の指導法(小学校)については、6単位以上を修得していること。
 - ③ 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目並びに教育実践に関する科目については、教職概論、教育原論を含め計8単位以上を修得していること。

2-1 中学校教育実習Ⅰ (小中連携教育コース中等教育主免専攻以外の場合)

- (1) 卒業研究を履修中であること。(4月1日時点で3年以上在学(休学期間を除く。)していること。)
- (2) 小学校教育実習Ⅰ・Ⅱを修得していること。
- (3) 3年次後学期終了までに、次の①～③を満たしていること。
 - ① 90単位以上を修得していること。
 - ② 教科及び教科の指導法に関する科目については、次のとおりとする。
 - ア 実習教科の教科に関する専門的事項の科目区分の2分の1以上にわたり修得していること。
また、単位についても計6単位以上を修得していること。
 - イ 実習教科の指導法(中学校)については、2単位以上を修得していること。
 - ③ 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目並びに教育実践に関する科目については、教職概論、教育心理学を含め計6単位以上を修得していること。

2-2 中学校教育実習 I・II (小中連携教育コース中等教育主免専攻の場合)

- (1) 教育実践フィールド演習 I 及び教育実践フィールド演習 II を修得していること。また、教育実践フィールド演習 III を修得済み又は履修中であること。
- (2) 2 年次後学期終了までに、60 単位以上を修得していること。
- (3) 2 年次後学期終了までに、実習教科の指導法 (中学校) について 2 単位以上を修得していること。
- (4) 3 年次前学期終了までに、生徒・進路指導論又は教育相談を修得していること。

3 高等学校教育実習

- (1) 卒業研究を履修中であること。(4月1日時点で3年以上在学(休学期間を除く。)していること。)
- (2) 3 年次後学期終了までに、次の①～③を満たしていること。
 - ① 90 単位以上を修得していること。
 - ② 教科及び教科の指導法に関する科目については、次のとおりとする。
 - ア 実習教科の教科に関する専門的事項の科目区分の 2 分の 1 以上にわたり修得していること。
また、単位についても計 10 単位以上を修得していること。
 - イ 実習教科の指導法 (高校) については、2 単位以上を修得していること。
 - ③ 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目並びに教育実践に関する科目については、教職概論、教育心理学を含め計 6 単位以上を修得していること。

4 障害児教育実習

- (1) 教育実習 (幼小発達教育, 特別支援教育, 初等教育主免専攻の学生は小学校教育実習 I・II, 中等教育主免専攻の学生は中学校教育実習 I・II) を修得済み又は履修中であること。
- (2) 3 年次前学期終了までに、次の①, ②を満たしていること。
 - ① 74 単位以上を修得していること。
 - ② 特別支援教育に関する下記科目について、ア～ウからそれぞれ 2 単位以上を修得していること。
 - ア 特別支援教育総論
 - イ 知的障害児心理学, 障害児心理学, 肢体不自由者の心理・生理・病理, 病弱者・情緒障害者の心理・生理・病理
 - ウ 障害児学習指導法 I, 障害児学習指導法 III, 発達障害児心理療法

5 幼稚園教育実習 I

- (1) 卒業研究を履修中であること。(4月1日時点で3年以上在学(休学期間を除く。)していること。)
- (2) 小学校教育実習 I・II 又は中学校教育実習 I・II を修得していること。

(3) 3年次後学期終了までに、次の①～③を満たしていること。

① 90単位以上を修得していること。

② 領域及び保育内容の指導法に関する科目については、次のとおりとする。

ア 領域に関する専門的事項については、2教科各1単位以上の計2単位以上を修得していること。

イ 保育内容に関する科目については、4単位以上を修得していること。このうち、2単位までは、教科の指導法（小学校）又は特別活動及び総合的な学習の時間の指導法の単位をもってこれに替えることができる。

③ 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目並びに教育実践に関する科目については、次のとおりとする。

ア 教育相談又は幼児理解の理論と方法を修得していること。

イ その他の科目については、教職概論を含めて8単位以上を修得していること。

IX. 教員免許状と介護等体験について

小学校と中学校の教員免許状取得に際して、社会福祉施設や特別支援学校で7日間の介護等体験が義務付けられています。この制度についての概要及び佐賀大学における実施計画は次のとおりです。

1 義務教育教員志願者に対する介護等体験の義務付けに関する制度の概要

(1) 法律の名称とその趣旨

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与にかかる教育職員免許法の特例等に関する法律（介護等体験特例法）」により、教員（教諭）が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員（教諭）の資質向上及び学校教育の一層の充実を図る観点から、小学校及び中学校の普通免許状授与に当たっては、社会福祉施設等において、7日間の介護等の体験を行うことが義務付けられています。

(2) 制度の対象者

小学校及び中学校の教諭の普通免許状を取得しようとする者
〔義務付けを免除する者〕

① 介護等に関する専門的知識及び技術を有する者

（省令で、介護福祉士、特別支援学校教員等の資格を併せ取得する者等を規定）

② 身体上の障害により介護等体験が困難な者

（省令で、身体障害者福祉法による1級から6級までの身体障害者を規定）

(3) 介護等体験の内容等

① 介護等体験の内容

（ア）障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験（障害者等の話相手、散歩の付添い等）、受入施設職員の業務補助（掃除や洗濯など、障害者等と直接接しないものを含む。）

（イ）特別支援教育諸学校での教育実習、受入施設でのほかの資格取得に際しての介護実習等は、介護等体験期間に参入可能

② 介護等体験の実施施設

（ア）特別支援学校（盲・聾・養護学校）又は社会福祉施設

③ 介護等体験の時期及び期間

（イ）18才に達した後の7日間

〔目途：少なくとも特別支援学校（盲・聾・養護学校）2日＋社会福祉施設5日＝7日〕

④ 免許状申請に係る手続（省令で規定）

（ア）施設は、教員になろうとする者が介護等体験をしたことを証明する書類を発行

（イ）都道府県教育委員会への免許状の申請に当たっては、上記の証明書を提出

2 佐賀大学における介護等体験について

佐賀大学においては，教育学部教育実習委員会が企画・立案し，他学部との協力を得て実施します。

(1) 特別支援学校における介護等体験について

- ① 実習施設 佐賀大学教育学部附属特別支援学校
〒840-0026 佐賀市本庄町正里46-2
- ② 期 間 2日間
- ③ 実施学年 1年次生より実施（特別支援教育専攻の学生は除く）
- ④ 経 費 必要な場合は，実費程度

(2) 社会福祉施設における介護等体験について

- ① 実習施設 佐賀県内における社会福祉施設
- ② 期 間 5日間
- ③ 実施学年 2年次生より実施（特別支援教育専攻の学生は除く）
- ④ 経 費 1日につき2,000円を佐賀県社会福祉協議会に支払う。

(3) 介護等体験にかかる保険加入について

介護等体験を受ける時は，他人にケガをさせたり，財物を損壊した時の損害賠償を補償する保険に必ず加入しなければなりません。（科目等履修生を含みます。）

（例）学研災付帯賠償責任保険（学生生活課），学生賠償責任保険（大学生協）など

X. 教員免許状の取り方

I 教員免許状の種類

本学部において取得できる教員免許状の種類は、以下のとおりである。

- 1 小学校教諭（1種又は2種）免許状
- 2 幼稚園教諭（1種又は2種）免許状
- 3 中学校教諭（1種又は2種）免許状
（国語，社会，数学，理科，音楽，保健体育，家庭，技術，英語）
- 4 高等学校教諭（1種）免許状
（国語，書道，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，保健体育，家庭，英語）
- 5 特別支援学校教諭（1種又は2種）（知的障害者，肢体不自由者，病弱者）免許状

II 教員免許状取得のための履修方法

教員免許状を取得するためには、教育職員免許法第5条，第5条の2別表第1（下表）に示す教員免許状の種類に応じて、所定の単位を修得するとともに、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を修得しなければならない。また、小学校及び中学校教諭普通免許状を取得する際は、小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律で定められた介護等の体験を行う。

III 教員免許状を申請する方法

教員免許状を申請する方法として、大学が事務を代行して行う「一括申請」（卒業時）と各人が直接申請する「個人申請」（卒業後）がある。

本学で定められた単位を修得した学生については、佐賀県教育委員会に教員免許状の「一括申請」を行うが、一括申請できなかった場合でも教育職員免許法により定められている単位数を修得することにより、教員免許状を取得できることがあるので、申請を希望する都道府県教育委員会へ問い合わせること。

教育職員免許法 別表第1（第5条，第5条の2関係）

第1欄 所要資格 免許状の種類		第2欄 基礎資格	第3欄 大学において修得することを必要とする最低単位数	
			教科及び教職に関する科目	特別支援教育に関する科目
幼稚園 教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	75	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	51	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	31	
小学校 教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	83	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	59	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	37	
中学校 教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	83	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	59	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	35	
高等学校 教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	83	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	59	
特別支援 学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること及び小学校，中学校，高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。		50
	一種免許状	学士の学位を有すること及び小学校，中学校，高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。		26
	二種免許状	小学校，中学校，高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。		16

IV 教員免許状取得のために、本学部で修得すべき授業科目の履修方法について

教育実習の履修に当たっては、「履修の手引」に示す所定の基準を満たしていなければならない。

1-1. 小学校教諭免許状を取得する場合の「教科及び教科の指導法に関する科目(教科に関する専門的事項)」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		1種	2種	
国 語 (書写を含む。)	小学国語(書写を含む。)	2	2	○は必修科目 小学校1種については10単位以上、2種については4単位以上を修得する。 なお、小学校1種については10単位、2種については4単位を超えて修得したものについては、「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。
社 会	小学社会	2	2	
算 数	初等数学	2	2	
理 科	初等理科講義及び実験	2	2	
生 活	生活科概説	2	2	
音 楽	小学声楽	1	1	
	小学ピアノ	1	1	
図画工作	小学図画	1	1	
	小学工作	1	1	
家 庭	小学家庭	2	2	
体 育	小学体育Ⅰ	1	1	
	小学体育Ⅱ	1	1	
外国語	小学英語	2	2	
合 計		10	4	

1-2. 小学校教諭免許状を取得する場合の「教科及び教科の指導法に関する科目(各教科の指導法)」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等 科 目	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		1種	2種	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	初等国語科教育法	②	2	○は必修科目 必修科目をすべて含めて小学校1種については20単位以上、2種については12単位以上を修得する。なお、小学校2種については12単位を超えて修得したものについては、「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。 小学校2種における教育法の取得は音楽、図画工作、体育から2教科4単位以上を含めること。
	初等社会科教育法	②	2	
	算数科教育法	②	2	
	初等理科教育法	②	2	
	生活科教育法	②	2	
	初等音楽科教育法	②	2	
	図工科教育法	②	2	
	体育科教育法	②	2	
	初等家庭科教育法	②	2	
	初等外国語教育法	②	2	
合 計		20	12	

2. 小学校教諭免許状を取得する場合の「教育の基礎的理解に関する科目」, 「道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位 数		備 考
			1種	2種	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	②	②	○は必修科目 必修科目をすべて含めて27単位以上を修得する。 なお、1種については27単位、2種については19単位を超えて修得したものについては、「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論	②	②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	現代の教育と社会	②	②	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学 幼児・児童発達論 児童・生徒発達論	② 2 2	② 2 2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の基礎	②	②	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	②	②	
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	②	②	
	特別活動の指導法				
	教育の方法及び技術	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	②	②	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	②	②	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	②	②		
教育実践に関する科目	教育実習（幼稚園教育実習Ⅰ及び小学校教育実習Ⅰは事前・事後指導を含む。）	幼稚園教育実習Ⅰ 幼稚園教育実習Ⅱ 小学校教育実習Ⅰ 小学校教育実習Ⅱ（※）	3 } 2 } 5 } 3 } 2 } 5 } ⑤	3 } 2 } 5 } 3 } 2 } 5 } ⑤	（※）中等教育主専攻の学生は、中学校実習の単位を流用するため、小学校教育実習Ⅱの履修は不要。
	教職実践演習	教職実践演習（幼・小・中・高）	②	②	
合 計			27	27	

3. 小学校教諭免許状を取得する場合の「大学が独自に設定する科目」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数		備考
		1種	2種	
大学が独自に設定する科目	道徳教育と学級経営	2	2	「教科及び教科の指導法に関する科目（教科に関する専門的事項）」で1種については10単位、2種については4単位を超えて修得した単位数及び「教科及び教科の指導法に関する科目（各教科の指導法）」で2種については12単位を超えて修得した単位数並びに「教育の基礎的理解に関する科目」等で1種については27単位、2種については19単位を超えて修得した単位数を「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。
	教育実践フィールド演習Ⅰ	2	2	
	教育実践フィールド演習Ⅱ	1	1	
	教育実践フィールド演習Ⅲ	1	1	
	教育評価	2	2	
	教育統計Ⅰ	2	2	
	人権教育論	2	2	
合計		2	2	

4. 「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅳのとおり		
	1種	2種
合計	9	9

5-1. 幼稚園教諭免許状を取得する場合の「領域及び保育内容の指導法（領域に関する専門的事項）」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数		備考
		1種	2種	
国語	小学国語（書写を含む。）	2	2	○は必修科目 2単位以上を修得する。なお、2単位を超えて修得したものについては、「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。
算数	初等数学	2	2	
生活	生活科概説	2	2	
音楽	小学音楽	1	1	
	小学ピアノ	1 } 2	1 } 2	
図画工作	小学図画	1	1	
	小学工作	1 } 2	1 } 2	
体育	小学体育Ⅰ	1	1	
	小学体育Ⅱ	1 } 2	1 } 2	
合計		2	2	

5-2. 幼稚園教諭免許状を取得する場合の「領域及び保育内容の指導法（保育内容の指導法）」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数		備考
		1種	2種	
保育内容の指導法	保育内容総論	②	2	○は必修科目 保育内容の指導法の単位のうち、半数までは、小学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合の各教科の指導法又は特別活動の指導法の単位をもってあてることができる。
	保育内容（人間関係）	②	②	
	保育内容（健康）	②	②	
	保育内容（環境）	②	②	
	保育内容（言葉）	②	②	
	保育内容（表現Ⅰ）	②	2	
	保育内容（表現Ⅱ）	②	2 } ②	
合計		14	10	

6. 幼稚園教諭免許状を取得する場合の「教育の基礎的理解に関する科目」, 「道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目	単位数		備考
科目			1種	2種	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	②	②	○は必修科目 必修科目をすべて含めて25単位以上を修得する。なお, 1種については21単位, 2種については17単位を超えて修得したのものについては, 「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	②	②	
	教育に関する社会的, 制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	現代の教育と社会	②	②	
	幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学 幼児・児童発達論 児童・生徒発達論	② 2 2	② 2 2	
	特別の支援を必要とする幼児・児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の基礎	②	②	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラムマネジメントを含む。)	幼児教育課程論	②	②	
道徳, 総合的な学習の時間等の指導, 教育相談に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び機材の活用を含む。)	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	②	②	(※1) 小学校教育実習Ⅰ・Ⅱを履修した後に幼稚園教育実習Ⅰを履修することが望ましい。
	幼児理解の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	幼児理解の理論と方法 教育相談	② ②	② ②	
教育実践に関する科目	教育実習(幼稚園教育実習Ⅰ及び小学校教育実習Ⅰは事前・事後指導を含む。)	幼稚園教育実習Ⅰ(※1) 幼稚園教育実習Ⅱ 小学校教育実習Ⅰ 小学校教育実習Ⅱ(※2)	3 2 3 2	3 2 3 2	(※2) 中等教育主専攻の学生は, 中学校教育実習の単位を流用するため, 小学校教育実習Ⅱの履修は不要。
	教職実践演習	教職実践演習(幼・小・中・高)	②	②	
合計			25	25	

7. 幼稚園教諭免許状を取得する場合の「大学が独自に設定する科目」の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目	単位数		備考
科目			1種	2種	
大学が独自に設定する科目		道徳教育と学級経営 教育評価 教育統計Ⅰ 人権教育論	2 2 2 2	2 2 2 2	「領域及び保育内容の指導法(領域に関する専門的事項)」で2単位を超えて修得した単位数及び「教育の基礎的理解に関する科目」等で1種については21単位, 2種については17単位を超えて修得した単位数を「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。
合計			14	2	

8. 「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅳのとおり		
	1種	2種
合計	9	9

9. 中学校及び高等学校教諭免許状を取得する場合の履修方法

(1) 中学校, 高等学校 (国語科)

「教科及び教科の指導法に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数			備考	
		中学校		高等学校		
		1種	2種	1種		
科目						
教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学概論	②	②	②	○は必修科目 必修科目をすべて含めて中学校1種については28単位以上, 2種については14単位以上, 高等学校については24単位以上を修得する。 なお, 中学校1種については28単位, 2種については12単位, 高等学校については24単位を超えて修得したものについては, 「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。
		国語表現論	②	②	②	
		国語学演習 I	2	2	2	
		国語学演習 II	2	2	2	
		国語学演習 III	2	2	2	
		国語学演習 IV	2	2	2	
	国文学 (国文学史を含む。)	国文学論 (国文学史を含む。)	②	②	②	
		国文学演習 I	2	2	2	
		国文学演習 II	2	2	2	
		国文学演習 III	2	2	2	
		国文学演習 IV	2	2	2	
	漢文学	中国文学概説	②	②	②	
		中国古典学演習 I	2	2	2	
		中国古典学演習 II	2	2	2	
		中国古典学演習 III	2	2	2	
		中国古典学演習 IV	2	2	2	
	書道 (書写を中心とする。)	書写	②	②	/	
		書道 I	2	2		
		書道 II	2	2		
		書道 III	2	2		
書道 IV		2	2			
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	高校国語表現とその研究	/	/	2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	中等国語科教育法 I	②	②	2	④	
	中等国語科教育法 II	②	②	2		
	中等国語科教育法 III	②	2	2		
	中等国語科教育法 IV	②	2	2		
合計		28	14	24		

「教育の基礎的理解に関する科目」, 「道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」

別表 I のとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合計	27	27	23

「大学が独自に設定する科目」

別表 II・III のとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合計	4	4	12

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表 IV のとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合計	9	9	9

(2) 高等学校 (書道科)

「教科及び教科の指導法に関する科目」

免許法施行規則に定める 科目区分等	授 業 科 目	単 位 数	備 考		
		高等学校			
科 目		1種			
教科に関する 専門的 事項	書道 (書写を含む。)	書写	②	○は必修科目 必修科目をすべて含めて24単位以上を修得する。 なお、24単位を超えて修得した ものについては、「大学が 独自に設定する科目」の単位 数にあてることができる。	
		書道Ⅰ	②		
		書道Ⅱ	②		
		書道Ⅲ	2		
		書道Ⅳ	2		
	書道史	書道史	②		
	「書論、鑑賞」	書論・鑑賞	②		
	「国文学、漢文学」	国文学論 (国文学史を含む。)	2		} ②
		中国文学概説	2		
		国文学演習Ⅰ	2		
		国文学演習Ⅱ	2		
		国文学演習Ⅲ	2		
		国文学演習Ⅳ	2		
中国古典学演習Ⅰ		2			
中国古典学演習Ⅱ	2				
中国古典学演習Ⅲ	2				
中国古典学演習Ⅳ	2				
教科及び教科の指導法に関する 科目における複数の事項を 合わせた内容に係る科目	高校書道・国語概論とその研究	2			
各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	書道科教育法Ⅰ	②			
	書道科教育法Ⅱ	②			
合 計		24			

「教育の基礎的理解に関する科目」, 「道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」

別表Ⅰのとおり	
	高等学校
合 計	23

「大学が独自に設定する科目」

別表Ⅲのとおり	
	高等学校
合 計	12

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅳのとおり	
	高等学校
合 計	9

(3) 中学校 (社会科)

「教科及び教科の指導法に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等	授 業 科 目	単 位 数		備 考	
		中 学 校			
		1種	2種		
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史要説	②	②	○は必修科目 必修科目をすべて含めて中学校1種については28単位以上、2種については20単位以上を修得する。なお、中学校1種については28単位、2種については12単位を超えて修得したものについては、「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。 *を付した「比較オリエンタリズム」は芸術地域デザイン学部、「金融論」は経済学部開講科目
		日本史特別講義Ⅰ	2	2	
		日本史特別講義Ⅱ	2	2	
		日本史特別講義Ⅲ	2	2	
		日本史特別講義Ⅳ	2	2	
		日本史特別講義Ⅴ	2	2	
		日本史演習Ⅰ	2	2	
		日本史演習Ⅱ	2	2	
		日本史演習Ⅲ	2	2	
		日本史演習Ⅳ	2	2	
		西洋史要説	②	②	
		東洋史要説	②	②	
		西洋史特別講義	2	2	
		西洋史演習Ⅰ	2	2	
		西洋史演習Ⅱ	2	2	
		西洋史演習Ⅲ	2	2	
		西洋史演習Ⅳ	2	2	
	比較オリエンタリズム研究*	2	2		
	地理学 (地誌を含む。)	人文地理学要説	②	②	
		自然地理学要説	②	②	
		地誌学要説	②	②	
		地理学演習Ⅰ	2	2	
		地理学演習Ⅱ	2	2	
	「法学、政治学」	法学要説	2	②	
		政治学要説	2		
		国際関係学要説	2	2	
		法学特別講義	2	2	
		政治学特別講義	2	2	
法学演習Ⅰ		2	2		
法学演習Ⅱ		2	2		
法学演習Ⅲ		2	2		
法学演習Ⅳ	2	2			
「社会学、経済学」	社会学要説	2	②		
	経済学要説	2			
	社会学特別講義	2	2		
	経済学特別講義	2	2		
	金融論*	2	2		
「哲学、倫理学、宗教学」	倫理学要説	2	②		
	哲学要説	2			
	倫理学特別講義	2	2		
	倫理学演習Ⅰ	2	2		
	倫理学演習Ⅱ	2	2		
	倫理学演習Ⅲ	2	2		
	倫理学演習Ⅳ	2	2		
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	中等社会科教育法Ⅰ (社会・地歴)	②	②		
	中等社会科教育法Ⅱ (社会・公民)	②			
	中等社会科教育法Ⅲ (社会・地歴)	②	2		
	中等社会科教育法Ⅳ (社会・公民)	②	2		
合 計		28	20		

「教育の基礎的理解に関する科目」，「道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」

別表Ⅰのとおり		
	中学校1種	中学校2種
合 計	27	27

「大学が独自に設定する科目」

別表Ⅱのとおり		
	中学校1種	中学校2種
合 計	4	4

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅳのとおり		
	中学校1種	中学校2種
合 計	9	9

(4) 高等学校 (地理歴史科)

「教科及び教科の指導法に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位 数	備 考
			高等学校	
科 目		1種		
教科に関する専門的事項	日本史	日本史要説	②	○は必修科目 必修科目をすべて含めて24単位以上を修得する。 なお、24単位を超えて修得したものについては、「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。 *を付した科目は芸術地域デザイン学部開講科目
		日本史特別講義Ⅰ	2	
		日本史特別講義Ⅱ	2	
		日本史特別講義Ⅲ	2	
		日本史特別講義Ⅳ	2	
		日本史特別講義Ⅴ	2	
		日本史演習Ⅰ	2	
		日本史演習Ⅱ	2	
		日本史演習Ⅲ	2	
	日本史演習Ⅳ	2		
	外国史	西洋史要説	②	
		東洋史要説	②	
		西洋史特別講義	2	
西洋史演習Ⅰ		2		
西洋史演習Ⅱ		2		
人文地理学・自然地理学	人文地理学要説	②		
	自然地理学要説	②		
	地理学演習Ⅱ	2		
地誌	地誌学要説	②		
	地理学演習Ⅰ	2		
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		/		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		中等社会科教育法Ⅰ (社会・地歴)	②	
		中等社会科教育法Ⅲ (社会・地歴)	②	
合 計		24		

「教育の基礎的理解に関する科目」, 「道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」

別表Ⅰのとおり	
	高等学校
合 計	23

「大学が独自に設定する科目」

別表Ⅲのとおり	
	高等学校
合 計	12

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅳのとおり	
	高等学校
合 計	9

(5) 高等学校 (公民科)

「教科及び教科の指導法に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等	授 業 科 目	単 位 数	備 考	
		高等学校		
科 目		1種		
教科に関する専門的事項	「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法学要説	2 } ②	○は必修科目 必修科目をすべて含めて24単位以上を修得する。 なお、24単位を超えて修得したものについては、「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。 *を付した科目は経済学部開講科目
		政治学要説		
		国際関係学要説	2	
		法学特別講義	2	
		政治学特別講義	2	
		法学演習Ⅰ	2	
		法学演習Ⅱ	2	
		法学演習Ⅲ	2	
	法学演習Ⅳ	2		
	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	社会学要説	2 } ②	
		経済学要説		
		社会学特別講義	2	
経済学特別講義		2		
金融論*	2			
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	倫理学要説	2 } ②		
	哲学要説			
	倫理学特別講義	2		
	倫理学演習Ⅰ	2		
	倫理学演習Ⅱ	2		
	倫理学演習Ⅲ	2		
倫理学演習Ⅳ	2			
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	中等社会科教育法Ⅱ (社会・公民)	②		
	中等社会科教育法Ⅳ (社会・公民)	②		
合 計		24		

「教育の基礎的理解に関する科目」, 「道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」

別表Ⅰのとおり	
	高等学校
合 計	23

「大学が独自に設定する科目」

別表Ⅲのとおり	
	高等学校
合 計	12

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅳのとおり	
	高等学校
合 計	9

(6) 中学校,高等学校 (数学科)

「教科及び教科の指導法に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数			備考	
		中学校		高等学校		
		1種	2種	1種		
教科に関する専門的事項	代数学	代数学基礎Ⅰ	②	②	②	○は必修科目 必修科目をすべて含めて中学校1種については28単位以上、2種については12単位以上、高等学校については24単位以上を修得する。なお、中学校1種については28単位、2種については12単位、高等学校については24単位を超えて修得したものである。 「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる *を付した科目は理工学部開講科目
		代数学基礎Ⅱ	2	2	2	
		代数学Ⅰ	2	2	2	
		代数学Ⅱ	2	2	2	
		代数学研究Ⅰ	2	2	2	
		代数学研究Ⅱ	2	2	2	
		代数学研究Ⅲ	2	2	2	
		応用線形代数学*	2	2	2	
	幾何学	幾何学基礎Ⅰ	②	②	②	
		幾何学基礎Ⅱ	2	2	2	
		幾何学Ⅰ	2	2	2	
		幾何学Ⅱ	2	2	2	
		幾何学研究Ⅰ	2	2	2	
		幾何学研究Ⅱ	2	2	2	
	解析学	解析学基礎Ⅰ	②	②	②	
		解析学基礎Ⅱ	2	2	2	
		解析学Ⅰ	2	2	2	
		解析学Ⅱ	2	2	2	
		解析学研究Ⅰ	2	2	2	
		解析学研究Ⅱ	2	2	2	
「確率論、統計学」	確率論基礎	2	2	2		
	統計学基礎	2	2	2		
コンピュータ	コンピュータ	②	②	②		
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	数学科教育法Ⅰ	②	②	②		
	数学科教育法Ⅱ	②	2	②		
	数学科教育法Ⅲ	②	2			
	数学科教育法Ⅳ	②	2			
合計		28	12	24		

「教育の基礎的理解に関する科目」, 「道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」

別表Ⅰのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合計	27	27	23

「大学が独自に設定する科目」

別表Ⅱ・Ⅲのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合計	4	4	12

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅳのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合計	9	9	9

(7) 中学校,高等学校 (理科)

「教科及び教科の指導法に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等	授 業 科 目	単 位 数			備 考		
		中学校		高等学校			
		1種	2種	1種			
教科に関する専門的事項	物理学	物理学概論A	②	②	②	○は必修科目 必修科目をすべて含めて中学校1種については28単位以上, 2種については22単位以上, 高等学校については24単位以上を修得する。 なお, 中学校1種については28単位, 2種については12単位, 高等学校については24単位を超えて修得したものについては, 「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる	
		物理学概論B	②	②	②		
		エネルギー科学	2	2	2		
		放射線科学	2	2	2		
		量子物理	2	2	2		
	化学	化学概論A	②	②	②		
		化学概論B	②	②	②		
		物理化学	2	2	2		
		無機化学	2	2	2		
		有機化学	2	2	2		
	生物学	生物学概論A	②	②	②		
		生物学概論B	②	②	②		
		植物分類系統学	2	2	2		
		動物生理科学	2	2	2		
		フィールド生物演習A	1	1	1		
		フィールド生物演習B	1	1	1		
	地学	地学概論A	②	②	②		
		地学概論B	②	②	②		
		岩石鉱物科学	2	2	2		
		地球生命科学	2	2	2		
		地学フィールド実習A	1	1	1		
		地学フィールド実習B	1	1	1		
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	物理学実験	①	①	1		①
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	化学実験	①	①	1		
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	生物学実験	①	①	1		
	地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	地学実験	①	①	1		
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	中等理科教育法Ⅰ	②	②	②		②
中等理科教育法Ⅱ		②	2	2			
中等理科教育法Ⅲ		②	2	2			
中等理科教育法Ⅳ		②	2	2			
合 計		28	22	24			

「教育の基礎的理解に関する科目」，「道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」

別表Ⅰのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	27	27	23

「大学が独自に設定する科目」

別表Ⅱ・Ⅲのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	4	4	12

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅳのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	9	9	9

(8) 中学校,高等学校 (音楽科)

「教科及び教科の指導法に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等 科目	授業科目	単位数			備考		
		中学校		高等学校			
		1種	2種	1種			
教科に関する専門的事項	ソルフェージュ	ソルフェージュⅠ ソルフェージュⅡ ソルフェージュⅢ ソルフェージュⅣ	① 1 1 1	① 1 1 1	① 1 1 1	○は必修科目 必修科目をすべて含めて中学校1種については28単位以上、2種については17単位以上、高等学校については24単位以上を修得する。 なお、中学校1種については28単位、2種については12単位、高等学校については24単位を超えて修得したものについては、「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。	
	声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）	声楽Ⅰ 声楽Ⅱ 声楽Ⅲ 声楽Ⅳ 声楽Ⅴ 声楽Ⅵ 声楽Ⅶ 合唱 日本伝統音楽実習Ⅱ	① 1 1 1 1 1 1 ① ①	① 1 1 1 1 1 1 ① ①	① 1 1 1 1 1 1 ① ①		
	器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）	ピアノⅠ ピアノⅡ ピアノⅢ ピアノⅣ ピアノⅤ ピアノⅥ ピアノⅦ 合奏 伴奏法Ⅰ 伴奏法Ⅱ 器楽Ⅰ 器楽Ⅱ 日本伝統音楽実習Ⅰ	① 1 1 1 1 1 1 ① ① 1 1 1 ①	① 1 1 1 1 1 1 ① ① 1 1 1 ①	① 1 1 1 1 1 1 ① ① 1 1 1 ①		
	指揮法	指揮法Ⅰ 指揮法Ⅱ	① 1	① 1	① 1		
	音楽理論・作曲法（編曲法を含む。）・音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）	音楽基礎理論 音楽理論演習 作曲法・編曲法 和声法Ⅰ 和声法Ⅱ 和声法Ⅲ 和声法Ⅳ 作曲演習 音楽史Ⅰ 音楽史Ⅱ 日本・民族音楽概説	① 1 ① 1 1 1 1 1 ② 2 ②	① 1 ① 1 1 1 1 1 ② 2 ②	① 1 ① 1 1 1 1 1 ② 2 ②		
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中等音楽科教育法Ⅰ 中等音楽科教育法Ⅱ 中等音楽科教育法Ⅲ 中等音楽科教育法Ⅳ	② ② ② ②	② 2 2 2	② ② 2 2		
	合計		28	17	24		

「教育の基礎的理解に関する科目」，「道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」

別表Ⅰのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	27	27	23

「大学が独自に設定する科目」

別表Ⅱ・Ⅲのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	4	4	12

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅳのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	9	9	9

(9) 中学校,高等学校 (保健体育科)

「教科及び教科の指導法に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数			備考	
		中学校		高等学校		
		1種	2種	1種		
科目						
教科に関する専門的事項	体育実技	体づくり運動	①	①	①	○は必修科目 必修科目をすべて含めて中学校1種については28単位以上, 2種については20単位以上, 高等学校については24単位以上を修得する。 なお, 中学校1種については28単位, 2種については12単位, 高等学校については24単位を超えて修得したものである。については, 「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。
	器械運動	①	①	①		
	水泳	①	①	①		
	陸上競技	①	①	①		
	ゴール型球技	①	①	①		
	ネット型・ベースボール型球技	①	①	①		
	ダンス	①	①	①		
	柔道	1	1 } ①	1 } ①		
	剣道	1				
	ヘルスプロモーション実習	1	1	1		
	野外・レクリエーション実習	1	1	1		
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	運動学	②	②	②	
	体育概論	2	2 } ②	2 } ②		
	体育心理学	2				
	体育経営管理学	2	2 } ②	2 } ②		
	運動方法学演習	2				
	スポーツ測定評価	2	2	2		
	トレーニング科学	2	2	2		
	バイオメカニクス	2	2	2		
	ヘルスプロモーション演習	2	2	2		
スポーツ文化・社会学			2			
生理学 (運動生理学を含む。)	解剖・生理学	②	②	②		
	運動生理学	2	2	2		
	運動処方	2	2	2		
衛生学・公衆衛生学	衛生・公衆衛生学	②	②	②		
	スポーツ医学	2	2	2		
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	学校保健	②	②	②		
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	保健体育科教育法Ⅰ	②	②	②		
	保健体育科教育法Ⅱ	②	2	2 } ②		
	保健体育科教育法Ⅲ	②	2			
	保健体育科教育法Ⅳ	②	2			
合計		28	20	24		

「教育の基礎的理解に関する科目」，「道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」

別表Ⅰのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	27	27	23

「大学が独自に設定する科目」

別表Ⅱ・Ⅲのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	4	4	12

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅳのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	9	9	9

(10) 中学校 (技術科)

「教科及び教科の指導法に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等	授 業 科 目	単 位 数		備 考	
		中 学 校			
		1種	2種		
科 目					
教科に関する専門的事項	木材加工 (製図及び実習を含む。)	生活機器製図 応用木工芸*	② ②	② ②	○は必修科目 必修科目をすべて含めて中学校1種については28単位以上、2種については18単位以上を修得する。 なお、中学校1種については28単位、2種については12単位を超えて修得したものについては、「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。 *を付した科目は芸術地域デザイン学部開講科目
	金属加工 (製図及び実習を含む。)	金属加工学	②	②	
	機械 (実習を含む。)	機械工学実習	②	②	
		機械工学 I 機械工学 II	2 2	2 2	
	電気 (実習を含む。)	電気工学実習	②	②	
		電気工学 I 電気工学 II 電子回路	2 2 2	2 2 2	
		栽培 (実習を含む。)	栽培学	②	
情報とコンピュータ (実習を含む。)	映像デザイン II* 映像デザイン III* プログラミング実習 情報社会と倫理	②	②		
		2	2		
		②	②		
		2	2		
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	中等技術科教育法 I 中等技術科教育法 II 中等技術科教育法 III 中等技術科教育法 IV	②	2	②	
		②	2		
		②	2		
		②	2		
合 計		28	18		

「教育の基礎的理解に関する科目」, 「道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」

別表 I のとおり		
	中学校1種	中学校2種
合 計	27	27

「大学が独自に設定する科目」

別表 II のとおり		
	中学校1種	中学校2種
合 計	4	4

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表 IV のとおり		
	中学校1種	中学校2種
合 計	9	9

(11) 中学校・高等学校（家庭科）

「教科及び教科の指導法に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等	授 業 科 目	単 位 数			備 考	
		中 学 校		高 等 学 校		
		1種	2種	1種		
教科に関する専門的事項	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	生活経営学	②	②	○は必修科目 必修科目をすべて含めて中学校1種については28単位以上、2種については14単位以上、高等学校については24単位以上を修得する。なお、中学校1種については28単位、2種については12単位、高等学校については24単位を超えて修得したものについては、「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。	
		生活経営学演習	2	2		
	被服学(被服製作実習を含む。)	被服学Ⅰ	②	②		②
		被服学Ⅱ	2	2		2
		被服学演習Ⅰ	2	2		2
		被服学演習Ⅱ	2	2		2
		被服実習	2	2		2
	食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	食物学Ⅰ	②	②		②
		食物学Ⅱ	②	②		②
		食物学実験・実習Ⅰ	2	2		2
		食物学実験・実習Ⅱ	2	2		2
		食物学演習	2	2		2
	住居学(製図を含む。)	住居学Ⅰ	②	②		②
		住居学Ⅱ	2	2		2
住居計画・設計実習		2	2	2		
住居学演習		2	2	2		
保育学(実習及び家庭看護を含む。)	保育学	②	②	②		
	保育学演習	2	2	2		
家庭電気・家庭機械・情報処理	生活機器学			②		
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中等家庭科教育法Ⅰ	②	②	②		
	中等家庭科教育法Ⅱ	②	2	②		
	中等家庭科教育法Ⅲ	②	2	2		
	中等家庭科教育法Ⅳ	②	2	2		
合 計		28	14	24		

「教育の基礎的理解に関する科目」, 「道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」

別表Ⅰのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	27	27	23

「大学が独自に設定する科目」

別表Ⅱ・Ⅲのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	4	4	12

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅳのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	9	9	9

(12) 中学校,高等学校 (英語科)

「教科及び教科の指導法に関する科目」

免許法施行規則に定める科目区分等	授 業 科 目	単 位 数			備 考	
		中学校		高等学校		
		1種	2種	1種		
科 目						
教科に関する専門的事項	英語学	英語学概論Ⅰ	②	②	②	○は必修科目 必修科目をすべて含めて中学校1種については28単位以上, 2種については12単位以上, 高等学校については24単位以上を修得する。なお, 上記単位数を超えて修得したものについては, 「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。
		英語音声学	2	2	2	
		英語音声学演習Ⅰ	1	1	1	
		英語音声学演習Ⅱ	1	1	1	
		第二言語習得論Ⅰ	2	2	2	
		英語学概論Ⅱ	2	2	2	
		英語学演習	1	1	1	
		第二言語習得論Ⅱ	2	2	2	
		英文法演習	1	1	1	
	英語文学	英語文学論Ⅰ	②	②	②	
		英語文学講読Ⅰ	2	2	2	
		英語文学講読Ⅱ	2	2	2	
		英語文学演習Ⅰ	1	1	1	
		英語文学演習Ⅱ	1	1	1	
		英語文学論Ⅱ	2	2	2	
	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション論	②	②	②	
		英語オーラルコミュニケーションⅠ	1	1	1	
		英語オーラルコミュニケーションⅡ	1	1	1	
		英語アカデミックスピーキングⅠ	1	1	1	
		英語アカデミックライティングⅠ	1	1	1	
		英語アカデミックスピーキングⅡ	1	1	1	
		英語アカデミックライティングⅡ	1	1	1	
	異文化理解	異文化理解論	②	②	②	
		英米文化事情Ⅰ	2	2	2	
		異文化理解演習Ⅰ	1	1	1	
		異文化理解演習Ⅱ	1	1	1	
		異文化理解Ⅰ	2	2	2	
		英米文化事情Ⅱ	2	2	2	
異文化理解Ⅱ	2	2	2			
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法Ⅰ	②	②	②	} ②	
	英語科教育法Ⅱ	②	2	2		
	英語科教育法Ⅲ	②	2	2		
	英語科教育法Ⅳ	②	2	2		
合 計		28	12	24		

「教育の基礎的理解に関する科目」，「道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」

別表Ⅰのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	27	27	23

「大学が独自に設定する科目」

別表Ⅱ・Ⅲのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	4	4	12

「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」

別表Ⅳのとおり			
	中学校1種	中学校2種	高等学校
合 計	9	9	9

別表Ⅰ 中学校及び高等学校教諭免許状を取得する場合の「教育の基礎的理解に関する科目」等の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数			備考	
		中学校		高等学校		
		1種	2種	1種		
科目						
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	②	②	②	○は必修科目 必修科目をすべて含めて中学校1種については27単位以上、2種については27単位以上、高等学校については23単位以上を修得する。なお、中学校1種については27単位、2種については19単位、高等学校については23単位を超えて修得したもののについては、「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。
	教育史		2	2	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論	②	②	②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	現代の教育と社会 社会教育概論Ⅰ	② 2	② 2	② 2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学 児童・生徒発達論	② 2	② 2	② 2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の基礎	②	②	②	
道徳、総合的な学習の時間等の指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	②	②		
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	②	②	②	
	特別活動の指導法					
	教育の方法及び技術	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	②	②	②	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	②	②	②	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	②	②	②	「中学校教育実習Ⅱ」のみの履修はできない。 （※）幼小発達教育専攻、特別支援教育専攻、初等教育主免専攻の学生は、小学校教育実習の単位を流用するため、中学校教育実習Ⅱの履修は不要。	
教育実践に関する科目	教育実習（中学校教育実習Ⅰ及び高等学校教育実習は事前・事後指導を含む。）	中学校教育実習Ⅰ	③	③		3
		中学校教育実習Ⅱ（※）	②	②	2	
		高等学校教育実習	3	3	3	
	教職実践演習	教職実践演習（幼・小・中・高）	②	②	②	
合計		27	27	23		

別表Ⅱ 中学校教諭免許状を取得する場合の「大学が独自に設定する科目」の履修方法

免許法施行規則に 定める科目区分等 科目	授業科目	単位数		備考
		中学校		
		1種	2種	
大学が独自に設定する科目	道徳教育と学級経営 教育実践フィールド演習Ⅱ 教育実践フィールド演習Ⅲ 教育評価 教育統計Ⅰ 人権教育論	2 1 1 2 2 2	2 1 1 2 2 2	「教科及び教科の指導法に関する科目」で1種については28単位、2種については12単位を超えて修得した単位数及び「教育の基礎的理解に関する科目」等で1種については27単位、2種については19単位を超えて修得した単位数を「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。
合計		4	4	

別表Ⅲ 高等学校教諭免許状を取得する場合の「大学が独自に設定する科目」の履修方法

免許法施行規則に 定める科目区分等 科目	授業科目	単位数		備考
		高等学校		
		1種		
大学が独自に設定する科目	道徳教育と学級経営 教育評価 教育統計Ⅰ 人権教育論	2 2 2 2		「教科及び教科の指導法に関する科目」については24単位を超えて修得した単位数及び「教育の基礎的理解に関する科目」等については23単位を超えて修得した単位数を「大学が独自に設定する科目」の単位数にあてることができる。
合計		12		

別表Ⅳ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目	単位数	備 考
科 目	単位数			
日本国憲法	2	日本国憲法	②	○は必修科目
体育	2	体育実技Ⅰ	①	
		体育実技Ⅱ	①	
外国語コミュニケーション	2	英語A	1	
		英語B	1	
		英語C	1	
		英語D	1	
			②	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報基礎概論	②	
		情報基礎演習Ⅰ	①	

10. 特別支援学校教諭免許状(知的障害者に関する教育の領域,肢体不自由者に関する教育の領域及び病弱者に関する教育の領域)を取得する場合の特別支援教育に関する科目の履修方法

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法施行規則に定める最低修得単位数				左記に対応する開設 授 業 科 目	単位数		記号	
		1種		2種			1種	2種		
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2		2		特別支援教育総論	②	②	A	
知的障害者に関する教育の科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	1	4	1	2	知的障害児心理学	②	②	B	
							知的障害者の生理・病理	②		②
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	2		1			障害児学習指導法Ⅰ	②		②
							障害児の心理臨床と指導法	②		②
肢体不自由者に関する教育の科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	1	4	1	2	肢体不自由者の心理・生理・病理	②	②	C	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	2		1			障害児学習指導法Ⅱ	②		②
病弱者に関する教育の科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	1	4	1	2	病弱者・情緒障害者の心理・生理・病理	②	②	D	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	2		1			障害児学習指導法Ⅲ	②		②
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5	3			障害児心理学	②	②	E	
						視覚障害者の生理・病理	②	②		
						聴覚障害者の生理・病理	②	②		
						発達障害児心理療法	②	②		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目				重複障害教育論	②	②			
				障害児心理学測定法・指導法	1	1				
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習(事前・事後指導を含む。)		3		3		障害児教育実習	③	③	F	
合 計		26		16		合 計	31	23以上		

- ① ○は必修科目
- ② 領域(知的障害者,肢体不自由者,病弱者)や1種,2種に限らずA,E,Fは必修科目をすべて修得しなければならない。
- ③ 領域については,下記のとおり修得しなければならない。
- ア) 1種の場合(1種の欄を見ること。)
- ・1種は3領域以外は取得できない。
- イ) 2種の場合(2種の欄を見ること。)
- ・3領域は取得できない。
 - ・2領域の場合は,B(必修8単位)とC(必修4単位)またはB(必修8単位)とD(必修4単位)またはC(必修4単位)とD(必修4単位)を修得しなければならない。
 - ・1領域の場合は,Bの必修8単位を修得しなければならない。

11. 教員免許状を取得するための単位数の計算方法

例1 小学校教諭一種免許状の場合

	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	合計
大学で修得する単位数(例)	32	27	0	59
教育職員免許法で定められている最低修得単位数	30	27	2	59

$32-30=2$ を「大学が独自に設定する科目」にあてることができる

$2+0=2$ で「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすことができる。

例2 中学校教諭一種免許状の場合

	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	合計
大学で修得する単位数(例)	28	29	2	59
教育職員免許法で定められている最低修得単位数	28	27	4	59

$29-27=2$ を「大学独自に設定する科目」にあてることができる

$2+2=4$ で「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすことができる。

例3 高等学校教諭一種免許状の場合

	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	合計
大学で修得する単位数(例)	30	25	4	59
教育職員免許法で定められている最低修得単位数	24	23	12	59

$30-24=6$ を「大学が独自に設定する科目」にあてることができる

$25-23=2$ を「大学が独自に設定する科目」にあてることができる

$6+2+4=12$ で「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすことができる。

XI. 教員免許状以外の資格について

下記の指定された授業科目の単位を修得すれば、記載された資格を得るための条件を満たすことができます。

I 公認スポーツ指導者の資格の取り方

本学は、スポーツ指導者養成講習会免除適応コース承認校です。下表にあげるスポーツ指導者資格対応の履修カリキュラム（共通科目対応）を修得することにより、公益財団法人日本スポーツ協会で開催する養成講習会における共通科目（段階Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ）の講習及び試験に相当する部分が免除となります。

公認スポーツ指導者資格の履修手順は次のとおりです。

- (1) 下表にある①から⑯の科目をすべて修得する必要があります。
- (2) 所定の手続き申請を経て授与される共通科目修了証は、卒業後保管してください。
- (3) 受講者は、別途財団法人日本スポーツ協会及び各競技団体が主催する専門科目の講習及び試験を受け、合格した後に公認スポーツ指導者資格を得ることになります。

○スポーツ指導者資格のための履修カリキュラム（共通科目対応）

講習科目（指導員・コーチ）	教育学部開講科目	備 考
1. スポーツ文化・社会学	①スポーツ文化・社会学	
2. スポーツ指導論	②保健体育科教育法Ⅰ ③保健体育科教育法Ⅱ ④学校保健 ⑤運動学	
3. スポーツ心理学	⑥体育心理学	
4. スポーツ経営学	⑦体育経営管理学	
5. スポーツ生理学	⑧バイオメカニクス ⑨スポーツ測定評価 ⑩運動生理学	
6. スポーツと栄養	⑩運動生理学	
7. トレーニング科学	⑪運動処方 ⑫トレーニング科学	
8. スポーツ医学	④学校保健 ⑬スポーツ医学	
9. 地域におけるスポーツ行政	①スポーツ文化・社会学	
10. スポーツ理論・実習	⑭ヘルスプロモーション実習 ⑮ヘルスプロモーション演習 ⑯運動方法学演習	専門科目における体育実技種目の必修科目以外に左欄の科目を履修のこと。

XII. 専門教育科目の開設授業科目表について

教育学部専門教育科目の開設授業科目表は、幼小連携教育コースの各専攻並びに小中連携教育コースの初等及び中等教育主免専攻の各教科ごとに記載されています。

また、各専攻の次に記載されたA, B, C, Dのアルファベットは、授業がグループ単位で実施される場合に表示されます。

【幼小連携教育コース】

- 幼小発達教育専攻 < A >
- 特別支援教育専攻 < A >

【小中連携教育コース】

- (国語科) 初等教育主免専攻, 中等教育主免専攻 < B >
- (社会科) 初等教育主免専攻, 中等教育主免専攻 < B >
- (数学科) 初等教育主免専攻, 中等教育主免専攻 < C >
- (理 科) 初等教育主免専攻, 中等教育主免専攻 < C >
- (音楽科) 初等教育主免専攻, 中等教育主免専攻 < D >
- (保健体育科) 初等教育主免専攻, 中等教育主免専攻 < D >
- (技術科) 初等教育主免専攻, 中等教育主免専攻 < C >
- (家庭科) 初等教育主免専攻, 中等教育主免専攻 < D >
- (英語科) 初等教育主免専攻, 中等教育主免専攻 < B >

A : 幼小連携教育グループ
B : 言語・社会系グループ
C : 理数系グループ
D : 実技系グループ

※ クラス (グループ) 分けについては、P19を参照のこと。

1 開設授業科目表を見る際の諸注意

- ① 必修・選択の別欄の「選必」は選択必修 (指定された授業科目の中から必要とされる単位数を選択し、修得しなければならない科目) のことです。
- ② 表の中に示されている小計欄の数値は、小計の対象になっている授業科目群の中から卒業のために修得しなければならない単位数を示しています。
- ③ 担当教員欄の*は学校教育学研究科の専任教員を、() は学内外の非常勤講師であることを示しています。
- ④ 週当たり時間数欄の「集」は、集中講義であることを示しています。
- ⑤ 備考欄には、履修する際の注意事項や指定クラス (学籍番号の偶数・奇数, グループ (A, B, C, D)), 開講形態 (偶数又は奇数年度開講) 等が記載されています。

2 専門教育科目の開設授業科目表

【幼小連携教育コース 幼小発達教育専攻】

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
課程・コース共通科目														
幼小連携教育	幼小連携教育論	必	2	講義	コース教員全員				2					
	幼小連携教育研究法	必	2	講義	コース教員全員					2				
	幼小連携教育演習	必	2	演習	コース教員全員						2			
	小 計		6											
初等教科及び教職に関する科目														
教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）	選必	2	講義	国語科教員	2（A, C, Dグループ）							10科目区分から10単位 選択必修 音楽、図画工作又は体育を 選択した場合は、それぞ れの科目区分毎に2科目2単 位を修得する。 A, C, Dグループ（2クラス） A, C, Dグループ（2クラス） A, C, Dグループ A, C, Dグループ 2クラス 2クラス
	社会	小学社会	選必	2	講義	社会科教員			2					
	算数	初等数学	選必	2	講義	数学科教員	2							
	理科	初等理科講義及び実験	選必	2	講・実	中村, 角縁, 岡島, 嬉			4					
	生活	生活科概説	選必	2	講義	栗山, 中西, 和田, 黒田, 未定					2			
	音楽	小学音楽	選必	1	実習	板橋, 荒巻	2							
		小学ピアノ	選必	1	実習	橋本, 今井	2							
	図画工作	小学図画	選必	1	実技	栗山					2			
		小学工作	選必	1	実技	和田						2		
	家庭	小学家庭	選必	2	講・実	甲斐, 澤島 萱島			2					
	体育	小学体育Ⅰ	選必	1	実技	山津, *堤, (市川)	2							
		小学体育Ⅱ	選必	1	実技	坂元, (八嶋), (未定), (未定)	2							
	外国語	小学英語	選必	2	講義	林	2							
	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必	2	講義	達富, 竜田			2					
	社会	初等社会科教育法	必	2	演習	*野田 (瀧川)			2					
	算数	算数科教育法	必	2	講義	世波			2					
	理科	初等理科教育法	必	2	講義	世波, 黒田, (津川)					2			
	生活	生活科教育法	必	2	講義	荒巻			2					
	音楽	初等音楽科教育法	必	2	講義	栗山			2	2				
	図画工作	図工科教育法	必	2	講義	*堤, (福本)					2			
体育	体育科教育法	必	2	講義	中西			2						
家庭	初等家庭科教育法	必	2	講・演	林			2						
外国語	初等外国語教育法	必	2	講義				2						
指導法	保育内容総論	選	2	講義	(大元千)					集(30)		奇数年度開講 偶数年度開講		
	保育内容（健康）	必	2	講義	松山		2							
	保育内容（環境）	必	2	講義	(田尻)			2						
	保育内容（人間関係）	必	2	講義	(大元誠)	2								
	保育内容（言葉）	必	2	講義	竜田			2						
	保育内容（表現Ⅰ）	選必	2	講義	荒巻			2						
	保育内容（表現Ⅱ）	選必	2	講義	和田			2						
	小 計		40											
大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必	2	演習	芳野	2								
	教育実践フィールド演習Ⅱ	必	1	演習	世波			2						
	教育実践フィールド演習Ⅲ	必	1	演習	世波				2					
	教育統計Ⅰ	必	2	講義	(西郡)			2						
	教育評価	選	2	講義	(西郡)					2				
	小 計		6											

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	適当あたりの時間数								備 考	
						1年		2年		3年		4年			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必	2	講義	*荻野			2							
	教職概論	必	2	講義	成松		2								
	現代の教育と社会	必	2	講義	成松	2									
	教育心理学	必	2	講義	*井邑			2							
	特別支援教育の基礎	必	2	講義	松山, 芳野			2							
幼児教育課程論	必	2	講義	(大元千)		2									
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義	足立				2						
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2	講義	(松下)					2					
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	必	2	講義	成松, 小野, 和久屋				集(30)						
	生徒・進路指導論	必	2	講義	石井, (村山)					2					
	教育相談	必	2	講義	石井					2					
幼児理解の理論と方法	必	2	講義	(大元誠)				2							
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習						通年					事前・事後指導の1単位を含む。
	小学校教育実習Ⅱ	必	2	実習						通年					事前・事後指導の1単位を含む。
	幼稚園教育実習Ⅰ	選	3	実習								通年			
	幼稚園教育実習Ⅱ	選	2	実習								通年			
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2	演習	栗山, 世波								2		
小 計															
幼小発達教育に関する科目															
幼小発達教育に関する科目	幼児・児童発達論	必	2	講義	(大元誠)	2									
	児童・生徒発達論	必	2	講義	(水田)		2								
	特別支援教育総論	必	2	講義	芳野	2									
	道徳教育と学級経営	選	2	講義	足立					2					
	保育表現演習Ⅰ(言語表現)	選	1	演習	(大元千)				集(30)						
	保育表現演習Ⅱ(運動表現)	選	1	演習	*堤				集(30)						
	保育表現演習Ⅲ(造形表現)	選	1	演習	栗山				集(30)						
	保育表現演習Ⅳ(リズム表現)	選	1	演習	今井				集(30)						
	保育観察実習Ⅰ	選	2	実習	幼小教員	集(60)									
	保育観察実習Ⅱ	選	2	実習	幼小教員						集(60)				
	保育観察実習Ⅲ	選	2	実習	幼小教員						集(60)				
	心理学概論	選	2	講義	石井		2								
	心理学実験Ⅰ	選	1	実験	石井			3							
	心理学実験Ⅱ	選	1	実験	石井					3					
	臨床心理学概論	選	2	講義	石井			2							奇数年度開講
	家族心理学	選	2	講義	石井					2					偶数年度開講
	障害児心理学	選	2	講義	松山		2								
	障害児学習指導法Ⅱ	選	2	講義	芳野					2					
	知的障害児心理学	選	2	講義	日高				2						
	肢体不自由者の心理・生理・病理	選	2	講義	日高		2								
	病弱者・情緒障害者の心理・生理・病理	選	2	講義	(藤田), 日高			集(30)							
	人権教育論	選	2	講義	(松下)						2				※履修することが望ましい。
	教育史	選	2	講義	成松					2					
	社会教育概論Ⅰ	選	2	講義	*荻野					2					
	子どもの支援Ⅰ(基礎・実習)	選	2	演・実	石井	通年集(30)									
子どもの福祉と家族支援	選	2	講義	松山					2					奇数年度開講	
社会的養護の理解	選	2	講義	松山					2					偶数年度開講	
小 計															

科目区分	授業科目	必 の 修 別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
	自由選択科目	選	1											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
	卒業研究	必	4											
	合計		107											

【幼小連携教育コース 特別支援教育専攻】

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
課程・コース共通科目														
幼小連携教育	幼小連携教育論	必	2	講義	コース教員全員				2					
	幼小連携教育研究法	必	2	講義	コース教員全員					2				
	幼小連携教育演習	必	2	演習	コース教員全員						2			
	小 計		6											
初等教科及び教職に関する科目														
教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）	選必	2	講義	国語科教員	2(A, C, Dグループ)							10科目区分から10単位 選択必修 音楽、図画工作又は体育を 選択した場合は、それぞ れの科目区分毎に2科目2単 位を修得する。 A, C, Dグループ（2クラス） A, C, Dグループ（2クラス） A, C, Dグループ A, C, Dグループ 2クラス 2クラス A, C, Dグループ 前学期：奇数，後学期：偶数 A, C, Dグループ A, C, Dグループ 前学期：偶数，後学期：奇数 A, C, Dグループ（2クラス）
	社会	小学社会	選必	2	講義	社会科教員			2					
	算数	初等数学	選必	2	講義	数学科教員	2							
	理科	初等理科講義及び実験	選必	2	講・実	中村, 角縁, 岡島, 嬉 栗山, 中西, 和田, 黒田, 未定			4			2		
	生活	生活科概説	選必	2	講義							2		
	音楽	小学音楽	選必	1	実習	板橋, 荒巻	2							
		小学ピアノ	選必	1	実習	橋本, 今井	2							
	図画工作	小学図画	選必	1	実技	栗山					2			
		小学工作	選必	1	実技	和田						2		
	家庭	小学家庭	選必	2	講・実	甲斐, 澤島 萱島			2					
	体育	小学体育Ⅰ	選必	1	実技	山津, *堤, (市川)	2							
		小学体育Ⅱ	選必	1	実技	坂元, (八嶋), (未定), (未定)	2							
	外国語	小学英語	選必	2	講義	林	2							
		国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必	2	講義	達富, 竜田			2				
		社会	初等社会科教育法	必	2	演習	*野田 (瀧川)			2				
		算数	算数科教育法	必	2	講義	(瀧川)			2	2			
		理科	初等理科教育法	必	2	講義	世波			2				
		生活	生活科教育法	必	2	講義	世波, 黒田, (津川)					2		
		音楽	初等音楽科教育法	必	2	講義	荒巻			2				
		図画工作	図工科教育法	必	2	講義	栗山			2	2			
	体育	体育科教育法	必	2	講義	*堤, (福本)					2			
	家庭	初等家庭科教育法	必	2	講・演	中西			2					
	外国語	初等外国語教育法	必	2	講義	林			2					
	小 計			30										
大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必	2	演習	芳野	2								
	教育実践フィールド演習Ⅱ	必	1	演習	世波				2					
	教育実践フィールド演習Ⅲ	必	1	演習	世波					2				
	教育統計Ⅰ	必	2	講義	(西郡)				2					
	教育評価	選	2	講義	(西郡)						2			
	小 計			6										
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必	2	講義	*荻野			2						
	教職概論	必	2	講義	成松		2							
	現代の教育と社会	必	2	講義	成松	2								
	教育心理学	必	2	講義	*井邑			2						
	特別支援教育の基礎	必	2	講義	松山, 芳野			2						
	幼児・児童発達論	選	2	講義	(大元誠)	2								
	児童・生徒発達論	選	2	講義	(水田)	2								
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義	足立			2						
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2	講義	(松下)					2				
	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必	2	講義	成松, 小野, 和久屋			集(30)						
	生徒・進路指導論	必	2	講義	石井, (村山)						2			
	教育相談	必	2	講義	石井					2				

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山, 世波							通年		事前・事後指導の1単位を含む。
	小学校教育実習Ⅱ	必	2							通年				
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2											
	小 計		27											
幼小発達教育に関する科目														
幼小発達教育に関する科目	子どもの福祉と家族支援	選必	2	講義 講義 講義 講義 講義	松山 松山 足立 (松下) 成松			2						奇数年度開講 偶数年度開講 ※履修することが望ましい。
	社会的養護の理解	選必	2					2						
	道徳教育と学級経営	選	2							2				
	人権教育論	選	2							2				
	教育史	選	2					2						
	小 計		2											
特別支援教育に関する科目														
特別支援教育の基礎理論に関する科目(A)	特別支援教育総論	必	2	講義	芳野	2								
知的障害者に関する教育の領域(B)	知的障害児心理学	必	2	講義	日高			2						
	知的障害者の生理・病理	必	2	講義	日高					2				
	障害児学習指導法Ⅰ	必	2	講義	芳野					2				
	障害児の心理臨床と指導法	必	2	講義	松山						2			
肢体不自由者に関する教育の領域(C)	肢体不自由者の心理・生理・病理	必	2	講義	日高					2				
	障害児学習指導法Ⅱ	必	2	講義	芳野					2				
病弱者に関する教育の領域(D)	病弱者・情緒障害者の心理・生理・病理	必	2	講義	(藤田), 日高			集(30)						
	障害児学習指導法Ⅲ	必	2	講義	芳野					2				
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の免許に関する科目(E)	障害児心理学	必	2	講義	松山			2						
	視覚障害者の生理・病理	必	2	講義	(内川), (岡野)			集(30)						
	聴覚障害者の生理・病理	必	2	講義	(深浦)						集(30)			
	発達障害児心理療法	必	2	講義	松山					2				
	重複障害教育論	必	2	講義	芳野							2		
	障害児心理学測定法・指導法	選	1	実験	松山								3	
心身に障害のある幼児, 児童又は生徒についての教育実習(F)	障害児教育実習	必	3	実習								通年		
	小 計		31											
自由選択科目		選	1											本表に記された授業科目の他に, 本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また, 本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
	卒業研究	必	4											
	合 計		107											

【小中連携教育コース 初等教育主免専攻（国語科）】

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考			
						1年		2年		3年		4年					
						前	後	前	後	前	後	前	後				
課程・コース共通科目																	
小中連携教育	児童・生徒発達論	選必	2	2	講義	(水田)	2							教科ごとに開設する。			
	発達障害児心理療法	選必	2		講義	松山				2							
	小中連携教育内容研究	必	2		講義	中里, 谷口, 正實					2						
	小中連携教育学	必	2		講・実	達富, 竜田						2					
	小 計		6														
初等教科及び教職に関する科目																	
教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）	選必	2	10	講義	国語科教員	2(Bグループ)						10科目区分から10単位 選択必修 音楽、図画工作又は体育を 選択した場合は、それぞれ の科目区分毎に2科目2単 位を修得する。 Bグループ（2クラス） Bグループ（2クラス） Bグループ Bグループ 2クラス 2クラス			
	社会	小学社会	選必	2		講義	社会科教員			2							
	算数	初等数学	選必	2		講義	数学科教員	2									
	理科	初等理科講義及び実験	選必	2		講・実	中村, 角縁, 岡島, 嬉 栗山, 中西, 和田, 黒田, 未定				4				2		
	生活	生活科概説	選必	2		講義									2		
	音楽	小学音楽	選必	1		実習	板橋, 荒巻	2									
		小学ピアノ	選必	1		実習	今井, 橋本		2								
	図画工作	小学図画	選必	1		実技	栗山								2		
		小学工作	選必	1		実技	和田								2		
	家庭	小学家庭	選必	2		講・実	甲斐, 澤島 萱島				2						
	体育	小学体育Ⅰ	選必	1		実技	山津, *堤, (市川)	2									2クラス
		小学体育Ⅱ	選必	1		実技	坂元, (八嶋), (未定), (未定)		2								2クラス
	外国語	小学英語	選必	2		講義	林	2									
		国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必		2	講義	達富, 竜田			2						Bグループ
		社会	初等社会科教育法	必		2	演習	*野田			2						前学期：奇数，後学期：偶数 Bグループ
		算数	算数科教育法	必		2	講義	(瀧川)			2	2					
		理科	初等理科教育法	必		2	講義	世波			2						
		生活	生活科教育法	必		2	講義	世波, 黒田, (津川)							2		
		音楽	初等音楽科教育法	必		2	講義	荒巻			2						Bグループ
	図画工作	図工科教育法	必	2	講義	栗山			2	2				前学期：偶数，後学期：奇数			
	体育	体育科教育法	必	2	講義	*堤, (福本)						2					
	家庭	初等家庭科教育法	必	2	講・演	中西				2				Bグループ（3クラス）			
	外国語	初等外国語教育法	必	2	講義	林				2							
	小 計			30													
大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必	2	2	演習	芳野	2							※履修することが望ましい。			
	教育実践フィールド演習Ⅱ	必	1		演習	世波				2							
	教育実践フィールド演習Ⅲ	必	1		演習	世波					2						
	道徳教育と学級経営	選	2		講義	足立						2					
	教育評価	選	2		講義	(西郡)						2					
	教育統計Ⅰ	選	2		講義	(西郡)					2						
	人権教育論	選	2		講義	(松下)						2					
	小 計		4														
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必	2	2	講義	*荻野			2								
	教職概論	必	2		講義	成松		2									
	現代の教育と社会	必	2		講義	成松	2										
	教育心理学	必	2		講義	*井邑				2							
	特別支援教育の基礎	必	2		講義	松山, 芳野				2							
	幼児・児童発達論	選	2	講義	(大元誠)	2											

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考			
						1年		2年		3年		4年					
						前	後	前	後	前	後	前	後				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	足立 (松下) 成松,小野, 和久屋 石井,(村山) 石井				2								
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2								2						
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	必	2										集(30)				
	生徒・進路指導論	必	2									2					
	教育相談	必	2										2				
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山,世波							通年			事前・事後指導の1単位を含む。		
	小学校教育実習Ⅱ	必	2									通年					
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2											2			
小 計			27														
中等教科及び教職に関する科目(国語科)																	
教科及び教科の指導法に関する科目	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学概論	必	2	講義 講義 演習 演習 演習 演習	中里 中里 中里 中里 中里 中里	2									奇数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講	
		国語表現論	必	2									2				
		国語学演習Ⅰ	選	2								2					
		国語学演習Ⅱ	選	2								2					
		国語学演習Ⅲ	選	2									2				
		国語学演習Ⅳ	選	2									2				
	国文学(国文学史を含む。)	国文学論(国文学史を含む。)	必	2	講義 演習 演習 演習 演習	(野坂) (白石) (白石) (白石) (白石)	集(30)									奇数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講	
		国文学演習Ⅰ	選	2							2						
		国文学演習Ⅱ	選	2								2					
		国文学演習Ⅲ	選	2									2				
	漢文学	中国文学概説	必	2	講義 演習 演習 演習 演習	谷口 谷口 谷口 谷口 谷口	2									偶数年度開講 奇数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講	
		中国古典学演習Ⅰ	選	2							2						
		中国古典学演習Ⅱ	選	2								2					
		中国古典学演習Ⅲ	選	2									2				
		中国古典学演習Ⅳ	選	2									2				
	書道(書写を中心とする。)	書写	必	2	講・実 講・実 講・実 講・実 講・実 講義 講義	正寶 正寶 正寶 正寶 正寶 (小原) (小原)		2								奇数年度開講 偶数年度開講	
		書道Ⅰ	選	2													
		書道Ⅱ	選	2													
		書道Ⅲ	選	2									2				
		書道Ⅳ	選	2									2				
		書道史	選	2													
		書論・鑑賞	選	2										集(30) 集(30)			
	指導法	中等国語科教育法Ⅰ	必	2	講義 講義 講義 講義 講義 講義	達富 竜田 達富 竜田 正寶 正寶						2			奇数年度開講 偶数年度開講		
		中等国語科教育法Ⅱ	必	2									2				
		中等国語科教育法Ⅲ	選	2										2			
		中等国語科教育法Ⅳ	選	2										2			
		書道科教育法Ⅰ	選	2										2			
書道科教育法Ⅱ		選	2										2				
複数の事項を合わせた内容に係る科目	高校国語表現とその研究	選	2	講義 講義	中里,竜田 正寶,谷口, 達富								2				
	高校書道・国語概論とその研究	選	2											2			
小 計			14														
教育の基礎的理解に関する科目	教育史	選	2	講義	成松				2								
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 実習									通年	事前・事後指導の1単位を含む。			
	中学校教育実習Ⅱ	選	2										通年				
	高等学校教育実習	選	3										通年				
小 計			3														

科目区分	授業科目	必 の 修 別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
自由選択科目		選	19											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必	4											
合計			107											

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
自由選択科目		選	17											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必	4											
合 計			107											

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考							
						1年		2年		3年		4年									
						前	後	前	後	前	後	前	後								
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	足立 (松下) 成松,小野, 和久屋 石井,(村山) 石井				2												
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2								2										
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	必	2										集(30)								
	生徒・進路指導論	必	2									2									
	教育相談	必	2										2								
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山,世波						通年			事前・事後指導の1単位を含む。							
	小学校教育実習Ⅱ	必	2								通年										
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2										2								
小 計													27								
中等教科及び教職に関する科目(社会科)																					
教科及び教科の指導法に関する科目	日本史・外国史	日本史要説	必	2	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習 演習	(久保) 岡本 (山崎) (鬼嶋) (伊藤) (三ツ松) (宮武) (重藤) 岡本 (未定) (未定) (未定) 岡本 岡本 岡本 岡本		2								奇数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講					
		西洋史要説	必	2				2													
		東洋史要説	必	2					2												
		日本史特別講義Ⅰ	選	2				2													
		日本史特別講義Ⅱ	選	2				2													
		日本史特別講義Ⅲ	選	2				2													
		日本史特別講義Ⅳ	選	2				2													
		日本史特別講義Ⅴ	選	2				2													
		西洋史特別講義	選	2				2													
		日本史演習Ⅰ	選	2								2									
		日本史演習Ⅱ	選	2									2								
		日本史演習Ⅲ	選	2									2								
		日本史演習Ⅳ	選	2									2								
		西洋史演習Ⅰ	選	2									2								
	西洋史演習Ⅱ	選	2								2										
	西洋史演習Ⅲ	選	2							2											
	西洋史演習Ⅳ	選	2								2										
	地理学(地誌を含む。)	人文地理学要説	必	2	講義 講義 講義 演習 演習	黒田 黒田 (栗林) 黒田 黒田	2														
		自然地理学要説	必	2							2										
		地誌学要説	必	2								2									
		地理学演習Ⅰ	選	2									2								
		地理学演習Ⅱ	選	2										2							
	法学, 政治学	法学要説	選必	2	講義 講義 講義 講義 演習 演習 演習 演習	吉岡 (朝倉) (山崎) 吉岡 (朝倉) 吉岡 吉岡 吉岡	2								偶数年度開講 偶数年度開講 偶数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 奇数年度開講						
		政治学要説	選必	2				2													
		国際関係学要説	選	2				2													
		法学特別講義	選	2					2												
		政治学特別講義	選	2									2								
		法学演習Ⅰ	選	2									2								
法学演習Ⅱ		選	2										2								
法学演習Ⅲ		選	2									2									
法学演習Ⅳ	選	2								2											
社会学, 経済学	社会学要説	選必	2	講義 講義 講義 講義	(園田) (浅川) (園田) (張)		2							奇数年度開講							
	経済学要説	選必	2						2												
	社会学特別講義	選	2					2													
	経済学特別講義	選	2					2													
哲学, 倫理学, 宗教学	倫理学要説	選必	2	講義 講義 講義 演習 演習 演習 演習	後藤 (藤田) 後藤 後藤 後藤 後藤	2								偶数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 奇数年度開講							
	哲学要説	選必	2				2														
	倫理学特別講義	選	2					2													
	倫理学演習Ⅰ	選	2									2									
	倫理学演習Ⅱ	選	2										2								
	倫理学演習Ⅲ	選	2									2									
	倫理学演習Ⅳ	選	2										2								

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
指導法	中等社会科教育法Ⅰ (社会・地歴)	選必	2	講義	黒田				2					偶数年度開講 奇数年度開講
	中等社会科教育法Ⅱ (社会・公民)	選必	2		*野田			2						
	中等社会科教育法Ⅲ (社会・地歴)	選	2		岡本				2					
	中等社会科教育法Ⅳ (社会・公民)	選	2		*野田				集(30)					
	小 計		20											
教育の基礎的理解 に関する科目	教育史	選	2	講義	成松			2						
教育実践に関する 科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習								通年	事前・事後指導の1単位を含む。	
	中学校教育実習Ⅱ	選	2	実習								通年	事前・事後指導の1単位を含む。	
	高等学校教育実習	選	3	実習								通年		
	小 計		3											
自由選択科目			13											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必	4											
合 計			107											

※中学校社会・高校地理歴史教員免許科目の比較オリエンタリズム研究（1年後学期，2単位）は，芸術地域デザイン学部で履修できる。
 中学校社会・高校公民教員免許科目の金融論（2年前学期，2単位）は，経済学部で履修できる。

【小中連携教育コース 中等教育主免専攻（社会科）】

科目区分	授業科目	必の修別・選択	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考			
						1年		2年		3年		4年					
						前	後	前	後	前	後	前	後				
課程・コース共通科目																	
小中連携教育	児童・生徒発達論	選必	2	講義	(水田)	2								教科ごとに開設する。			
	発達障害児心理療法	選必	2				講義	松山			2						
	小中連携教育内容研究	必	2						講義	社会科教員					2		
	小中連携教育学	必	2								講義	(佐長)					
小計		6															
初等教科及び教職に関する科目																	
教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）	選必	2	講義 実習 実技 講・実 実技 実技 講・実 実技 講義	国語科教員 社会科教員 数学科教員 中村,角縁, 岡島,嬉 栗山,中西, 和田,黒田,未定	2(Bグループ)							10科目区分から4単位選択必修 音楽, 図画工作又は体育を選択した場合は, それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。 Bグループ(2クラス) Bグループ(2クラス) Bグループ Bグループ 2クラス 2クラス			
	社会	小学社会	選必	2						2							
	算数	初等数学	選必	2					2			4					
	理科	初等理科講義及び実験	選必	2													
	生活	生活科概説	選必	2									3				
	音楽	小学音楽	選必	1					2								
		小学ピアノ	選必	1					2								
	図画工作	小学図画	選必	1											2		
		小学工作	選必	1									2				
	家庭	小学家庭	選必	2						2							
	体育	小学体育Ⅰ	選必	1					2								
		小学体育Ⅱ	選必	1					2								
	外国語	小学英語	選必	2					2								
	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	選必	2				講義 演習 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	達富, 竜田 *野田 (瀧川) 世波 世波, 黒田, (津川) 荒巻 栗山 *堤, (福本) 中西 林	2(Bグループ)							
社会	初等社会科教育法	選必	2		2												
算数	算数科教育法	選必	2		2	2											
理科	初等理科教育法	選必	2		2												
生活	生活科教育法	選必	2								2						
音楽	初等音楽科教育法	選必	2			2											
図画工作	図工科教育法	選必	2			2	2										
体育	体育科教育法	選必	2								2						
家庭	初等家庭科教育法	選必	2								2						
外国語	初等外国語教育法	選必	2			2											
小計			16														
大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必	2	演習 演習 演習 講義 講義 講義 講義	*荻野 成松 成松 *井邑 松山, 芳野 (大元誠)	2										※履修することが望ましい。	
	教育実践フィールド演習Ⅱ	必	1									2					
	教育実践フィールド演習Ⅲ	必	1											2			
	道德教育と学級経営	選	2									2					
	教育評価	選	2										2				
	教育統計Ⅰ	選	2								2						
	人権教育論	選	2										2				
小計			4														
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	*荻野 成松 成松 *井邑 松山, 芳野 (大元誠)	2			2								
	教職概論	必	2					2									
	現代の教育と社会	必	2														
	教育心理学	必	2								2						
	特別支援教育の基礎	必	2									2					
	幼児・児童発達論	選	2						2								

科目区分	授業科目	必の修別・選択	単位数	授業形態	担当教員	適当な時間の時間数								備考		
						1年		2年		3年		4年				
						前	後	前	後	前	後	前	後			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	足立 (松下) 成松、小野、和久屋 石井、(村山) 石井				2						事前・事後指導の1単位を含む。	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2							2						
	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必	2									2				
	生徒・進路指導論	必	2										2			
	教育相談	必	2										2			
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山、世波								通年			
	小学校教育実習Ⅱ	選	2										通年			
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2													2
小計			25													
中等教科及び教職に関する科目（社会科）																
教科及び教科の指導法に関する科目	日本史・外国史	日本史要説	必	2	講義	(久保)		2								奇数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講
		西洋史要説	必	2	講義	岡本	2									
		東洋史要説	必	2	講義	(山崎)		2								
		日本史特別講義Ⅰ	選	2	講義	(鬼嶋)	2									
		日本史特別講義Ⅱ	選	2	講義	(伊藤)		2								
		日本史特別講義Ⅲ	選	2	講義	(三ツ松)		2								
		日本史特別講義Ⅳ	選	2	講義	(宮武)		2								
		日本史特別講義Ⅴ	選	2	講義	(重藤)		2								
		西洋史特別講義	選	2	講義	岡本		2								
		日本史演習Ⅰ	選	2	演習	(未定)				2						
		日本史演習Ⅱ	選	2	演習	(未定)					2					
		日本史演習Ⅲ	選	2	演習	(未定)					2					
		日本史演習Ⅳ	選	2	演習	(未定)					2					
		西洋史演習Ⅰ	選	2	演習	岡本					2					
	西洋史演習Ⅱ	選	2	演習	岡本						2					
	西洋史演習Ⅲ	選	2	演習	岡本						2					
	西洋史演習Ⅳ	選	2	演習	岡本							2				
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学要説	必	2	講義	黒田	2									
		自然地理学要説	必	2	講義	黒田				2						
		地誌学要説	必	2	講義	(栗林)					2					
地理学演習Ⅰ		選	2	演習	黒田					2						
地理学演習Ⅱ		選	2	演習	黒田						2					
法学、政治学	法学要説	選必	2	講義	吉岡	2								偶数年度開講 偶数年度開講 偶数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 奇数年度開講		
	政治学要説	選必	2	講義	(朝倉)	2										
	国際関係学要説	選	2	講義	(山崎)	2										
	法学特別講義	選	2	講義	吉岡		2									
	政治学特別講義	選	2	講義	(朝倉)					2						
	法学演習Ⅰ	選	2	演習	吉岡					2						
	法学演習Ⅱ	選	2	演習	吉岡						2					
	法学演習Ⅲ	選	2	演習	吉岡						2					
法学演習Ⅳ	選	2	演習	吉岡							2					
社会学、経済学	社会学要説	選必	2	講義	(園田)		2							奇数年度開講		
	経済学要説	選必	2	講義	(浅川)				2							
	社会学特別講義	選	2	講義	(園田)		2									
	経済学特別講義	選	2	講義	(張)		2									
哲学、倫理学、宗教学	倫理学要説	選必	2	講義	後藤	2								偶数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 奇数年度開講		
	哲学要説	選必	2	講義	(藤田)	2										
	倫理学特別講義	選	2	講義	後藤		2									
	倫理学演習Ⅰ	選	2	演習	後藤					2						
	倫理学演習Ⅱ	選	2	演習	後藤						2					
	倫理学演習Ⅲ	選	2	演習	後藤						2					
	倫理学演習Ⅳ	選	2	演習	後藤							2				

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
指導法	中等社会科教育法Ⅰ (社会・地歴)	必	2	講義	黒田				2					偶数年度開講 奇数年度開講
	中等社会科教育法Ⅱ (社会・公民)	必	2	講義	*野田			2						
	中等社会科教育法Ⅲ (社会・地歴)	必	2	講義	岡本				2					
	中等社会科教育法Ⅳ (社会・公民)	必	2	講義	*野田					集(30)				
	小 計		30											
教育の基礎的理解 に関する科目	教育史	選	2	講義	成松			2						
教育実践に関する 科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習						通年				事前・事後指導の1単位を含む。
	中学校教育実習Ⅱ	必	2	実習						通年				
	高等学校教育実習	選	3	実習							通年			
	小 計		5											
自由選択科目		選	17											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
	卒業研究	必	4											
	合 計		107											

※中学校社会・高校地理歴史教員免許科目の比較オリエンタリズム研究（1年後学期，2単位）は，芸術地域デザイン学部で履修できる。
 中学校社会・高校公民教員免許科目の金融論（2年前学期，2単位）は，経済学部で履修できる。

科目区分	授業科目	必修 の別 ・選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考	
						1年		2年		3年		4年			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義	足立				2						事前・事後指導の1単位を含む。
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2	講義	(松下)					2					
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	必	2	講義	成松,小野, 和久屋				集(30)						
	生徒・進路指導論	必	2	講義	石井,(村山)					2					
	教育相談	必	2	講義	石井					2					
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習						通年					
	小学校教育実習Ⅱ	必	2	実習						通年					
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2	演習	栗山,世波							2			
小 計															
中等教科及び教職に関する科目(数学科)															
教科及び教科の指導法に関する科目	代数学	代数学基礎Ⅰ	必	2	講義	数学科教員	2								偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 偶数年度開講 開講未定 開講未定 開講未定
		代数学基礎Ⅱ	選	2	講義	(市川)		2							
		代数学Ⅰ	選	2	講義	(宮崎)				2					
		代数学Ⅱ	選	2	講義	(宮崎)				2					
		代数学研究Ⅰ	選	2	講義	(未定)					2				
		代数学研究Ⅱ	選	2	講義	(未定)						2			
	代数学研究Ⅲ	選	2	講義	(未定)							2			
	幾何学	幾何学基礎Ⅰ	必	2	講義	橋永	2								奇数年度開講 奇数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講
		幾何学基礎Ⅱ	選	2	講義	橋永		2							
		幾何学Ⅰ	選	2	講義	橋永				2					
		幾何学Ⅱ	選	2	講義	橋永				2					
		幾何学研究Ⅰ	選	2	講義	橋永					2				
		幾何学研究Ⅱ	選	2	講義	橋永						2			
	幾何学研究Ⅲ	選	2	講義	橋永							2			
	解析学	解析学基礎Ⅰ	必	2	講義	川中子	2								偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講
		解析学基礎Ⅱ	選	2	講義	川中子		2							
		解析学Ⅰ	選	2	講義	川中子			2						
		解析学Ⅱ	選	2	講義	川中子				2					
		解析学研究Ⅰ	選	2	講義	川中子					2				
		解析学研究Ⅱ	選	2	講義	川中子						2			
	解析学研究Ⅲ	選	2	講義	川中子							2			
	確率論、統計学	確率論基礎	選必	2	講義	(半田)			2						偶数年度開講 奇数年度開講
		統計学基礎	選必	2	講義	(西)			2						
	コンピュータ	コンピュータ	必	2	講義	川中子		2							
	指導法	数学科教育法Ⅰ	必	2	講義	*米田			2						
		数学科教育法Ⅱ	選	2	講義	*米田					2				
		数学科教育法Ⅲ	選	2	講義	*米田						2			
数学科教育法Ⅳ		選	2	講義	(瀧川)						2				
小 計															
教育の基礎的理解に関する科目	教育史	選	2	講義	成松			2							
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習								通年	事前・事後指導の1単位を含む。		
	中学校教育実習Ⅱ	選	2	実習							通年				
	高等学校教育実習	選	3	実習							通年				
小 計															

科目区分	授業科目	必修 の別 ・ 選択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
自由選択科目		選	21											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必	4											
合 計			107											

※ 中学校・高校数学教員免許科目の応用線形代数学（1年後学期，2単位）は，理工学部で履修できる。

科目区分	授業科目	必の修別・選択	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考		
						1年		2年		3年		4年				
						前	後	前	後	前	後	前	後			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	足立 (松下) 成松、小野、和久屋 石井、(村山) 石井				2						事前・事後指導の1単位を含む。	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2							2						
	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必	2									集(30)				
	生徒・進路指導論	必	2								2					
	教育相談	必	2									2				
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山、世波								通年	事前・事後指導の1単位を含む。		
	小学校教育実習Ⅱ	選	2										通年			
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2										2			
小 計			25													
中等教科及び教職に関する科目（数学科）																
教科及び教科の指導法に関する科目	代数学	代数学基礎Ⅰ	必	2	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	数学科教員 (市川) (宮崎) (宮崎) (未定) (未定) (未定)	2									偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 開講未定 開講未定 開講未定
		代数学基礎Ⅱ	選	2				2								
		代数学Ⅰ	選	2					2							
		代数学Ⅱ	選	2					2							
		代数学研究Ⅰ	選	2							2					
		代数学研究Ⅱ	選	2								2				
		代数学研究Ⅲ	選	2									2			
	幾何学	幾何学基礎Ⅰ	必	2	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	橋永 橋永 橋永 橋永 橋永 橋永 橋永	2									奇数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講
		幾何学基礎Ⅱ	選	2				2								
		幾何学Ⅰ	選	2					2							
		幾何学Ⅱ	選	2					2							
		幾何学研究Ⅰ	選	2							2					
		幾何学研究Ⅱ	選	2								2				
		幾何学研究Ⅲ	選	2									2			
	解析学	解析学基礎Ⅰ	必	2	講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	川中子 川中子 川中子 川中子 川中子 川中子 川中子	2									偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講
		解析学基礎Ⅱ	選	2				2								
		解析学Ⅰ	選	2					2							
		解析学Ⅱ	選	2					2							
		解析学研究Ⅰ	選	2							2					
		解析学研究Ⅱ	選	2								2				
		解析学研究Ⅲ	選	2									2			
	確率論、統計学	確率論基礎	選必	2	講義 講義	(半田) (西)			2						偶数年度開講 奇数年度開講	
		統計学基礎	選必	2				2								
	コンピュータ	コンピュータ	必	2	講義	川中子		2								
	指導法	数学科教育法Ⅰ	必	2	講義 講義 講義 講義	*米田 *米田 *米田 (瀧川)			2							
		数学科教育法Ⅱ	必	2						2						
		数学科教育法Ⅲ	必	2							2					
		数学科教育法Ⅳ	必	2							2					
小 計			30													
教育の基礎的理解に関する科目	教育史	選	2	講義	成松			2								
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 実習								通年		事前・事後指導の1単位を含む。		
	中学校教育実習Ⅱ	必	2									通年				
	高等学校教育実習	選	3									通年				
小 計			5													

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
自由選択科目		選	17											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必	4											
合 計			107											

※ 中学校・高校数学教員免許科目の応用線形代数学（1年後学期，2単位）は，理工学部で履修できる。

科目区分	授業科目	必の修別・選択	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考				
						1年		2年		3年		4年						
						前	後	前	後	前	後	前	後					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	足立 (松下) 成松, 小野, 和久屋 石井, (村山) 石井				2						事前・事後指導の1単位を含む。			
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2							2								
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	必	2								集(30)							
	生徒・進路指導論	必	2									2						
	教育相談	必	2										2					
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山, 世波						通年			事前・事後指導の1単位を含む。				
	小学校教育実習Ⅱ	必	2									通年						
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2										2					
小計																		
中等教科及び教職に関する科目(理科)																		
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	物理学概論A	必	2	講義 講義 実験 講義 講義 講義	中村聡 中村聡 中村聡 中村聡 (未定) 中村聡	2							開講未定				
		物理学概論B	必	2				2										
		物理学実験	必	1					3									
		エネルギー科学	選	2							2							
		放射線科学	選	2									2					
		量子物理	選	2							2							
	化学	化学概論A	必	2	講義 講義 実験 講義 講義 講義	岡島 (坂口)・(山田) 岡島 岡島, (高椋) 岡島, (高椋) 岡島		2	2						開講未定			
		化学概論B	必	2				2										
		化学実験	必	1					3									
		物理化学	選	2							2							
		無機化学	選	2									2					
		有機化学	選	2									2					
	生物学	生物学概論A	必	2	講義 講義 実験 講義 講義 演習 演習	嬉 嬉 嬉 (未定) 嬉 嬉	2	2								開講未定		
		生物学概論B	必	2														
		生物学実験	必	1					3									
		植物分類系統学	選	2							2							
		動物生理科学	選	2									2					
		フィールド生物演習A	選	1													集(15)	
		フィールド生物演習B	選	1													集(15)	
	地学	地学概論A	必	2	講義 講義 実験 講義 講義 実習 実習	角縁 高島 角縁, 高島 角縁 高島 角縁, 高島 角縁, 高島		2									奇数年度開講 偶数年度開講	
		地学概論B	必	2					2									
		地学実験	必	1					3									
		岩石鉱物科学	選	2								2						
		地球生命科学	選	2									2					
		地学フィールド実習A	選	1														集(30)
		地学フィールド実習B	選	1														集(30)
	指導法	中等理科教育法Ⅰ	必	2	講義 講義 講義 講義 演習 実験	世波 世波 世波 世波 世波 世波						2						奇数年度開講 偶数年度開講
		中等理科教育法Ⅱ	選	2									2					
中等理科教育法Ⅲ		選	2										2					
中等理科教育法Ⅳ		選	2										2					
理科教育学演習		選	2										2					
理科教育学実験		選	2										4					
小計																		
教育の基礎的理解に関する科目	教育史	選	2	講義	成松			2										
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 実習								通年	事前・事後指導の1単位を含む。					
	中学校教育実習Ⅱ	選	2									通年						
	高等学校教育実習	選	3									通年						
小計																		

科目区分	授業科目	必 の 修 別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
自由選択科目			11											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必	4											
合計			107											

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	適当な時間の時間数								備 考			
						1年		2年		3年		4年					
						前	後	前	後	前	後	前	後				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	足立 (松下) 成松、小野、 和久屋 石井、(村山) 石井				2						事前・事後指導の1単位を含む。		
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2								2						
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	必	2														
	生徒・進路指導論	必	2														
	教育相談	必	2									2					
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山、世波									通年			
	小学校教育実習Ⅱ	選	2											通年			
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2														2
	小 計		25														
中等教科及び教職に関する科目(理科)																	
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	物理学概論A	必	2	講義	中村聡	2									「教科及び教科の指導法に関する科目」の修得方法について、必修及び選択必修の単位数を除いた2単位は、※を付した科目以外から修得するものとする。 開講未定	
		物理学概論B	必	2	講義	中村聡		2									
		物理学実験	必	1	実験	中村聡			3								
		エネルギー科学	選	2	講義	中村聡					2						
		放射線科学	選	2	講義	(未定)						2					
		量子物理	選	2	講義	中村聡						2					
	化学	化学概論A	必	2	講義	岡島			2								
		化学概論B	必	2	講義	(坂口)・(山田)		2									
		化学実験	必	1	実験	岡島				3							
		物理化学	選	2	講義	岡島、(高椋)						2					
		無機化学	選	2	講義	岡島、(高椋)							2				
		有機化学	選	2	講義	岡島								2			
	生物学	生物学概論A	必	2	講義	嬉		2									
		生物学概論B	必	2	講義	嬉	2										
		生物学実験	必	1	実験	嬉				3							
		植物分類系統学	選	2	講義	(未定)						2					
		動物生理科学	選	2	講義	嬉							2				
		フィールド生物演習A	選	1	演習	嬉								集(15)			
		フィールド生物演習B	選	1	演習	嬉									集(15)		
	地学	地学概論A	必	2	講義	角縁		2									
		地学概論B	必	2	講義	高島			2								
		地学実験	必	1	実験	角縁、高島					3						
		岩石鉱物科学	選	2	講義	角縁							2				
		地球生命科学	選	2	講義	高島								2			
		地学フィールド実習A	選	1	実習	角縁、高島									集(30)		
		地学フィールド実習B	選	1	実習	角縁、高島									集(30)		
	指導法	中等理科教育法Ⅰ	必	2	講義	世波				2							
		中等理科教育法Ⅱ	必	2	講義	世波						2					
中等理科教育法Ⅲ		必	2	講義	世波							2					
中等理科教育法Ⅳ		必	2	講義	世波								2				
理科教育学演習※		選	2	演習	世波									2			
理科教育学実験※		選	2	実験	世波									4			
	小 計		30														
教育の基礎的理解に関する科目	教育史	選	2	講義	成松				2								
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 実習									通年		事前・事後指導の1単位を含む。		
	中学校教育実習Ⅱ	必	2										通年				
	高等学校教育実習	選	3											通年			
	小 計		5														

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
自由選択科目			17											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必	4											
合 計			107											

科目区分	授業科目	必の修別・選択	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考		
						1年		2年		3年		4年				
						前	後	前	後	前	後	前	後			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義	足立				2						事前・事後指導の1単位を含む。	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2	講義	(松下)					2						
	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必	2	講義	成松, 小野, 和久屋					集(30)						
	生徒・進路指導論	必	2	講義	石井, (村山)					2						
	教育相談	必	2	講義	石井					2						
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習							通年					
	小学校教育実習Ⅱ	必	2	実習							通年					
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2	演習	栗山, 世波								2			
小計																
中等教科及び教職に関する科目（音楽科）																
教科及び教科の指導法に関する科目	ソルフェージュ	ソルフェージュⅠ	必	1	演習	今井	2								奇数年度開講 偶数年度開講	
		ソルフェージュⅡ	選	1	演習	今井		2								
		ソルフェージュⅢ	選	1	演習	今井			2							
		ソルフェージュⅣ	選	1	演習	今井				2						
	声乐（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）	声乐Ⅰ	必	1	演習	板橋	2									
		声乐Ⅱ	選	1	演習	板橋		2								
		声乐Ⅲ	選	1	演習	板橋			2							
		声乐Ⅳ	選	1	演習	板橋				2						
		声乐Ⅴ	選	1	演習	板橋					2					
		声乐Ⅵ	選	1	演習	板橋						2				
		声乐Ⅶ	選	1	演習	板橋							2			
		声乐課題研究	選	1	演習	板橋								2		
		合唱	必	1	演習	板橋			2							
	日本伝統音楽実習Ⅱ	必	1	実習	(林)					2						
	器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）	ピアノⅠ	必	1	実習	(阿部)	2									奇数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 偶数年度開講
		ピアノⅡ	選	1	実習	(阿部)		2								
		ピアノⅢ	選	1	実習	(阿部)			2							
		ピアノⅣ	選	1	実習	(阿部)				2						
		ピアノⅤ	選	1	実習	(阿部)					2					
		ピアノⅥ	選	1	実習	(阿部)						2				
		ピアノⅦ	選	1	実習	(阿部)							2			
		ピアノ課題研究	選	1	演習	(阿部)						2				
		器楽Ⅰ	選	1	実習	今井		2								
		器楽Ⅱ	選	1	実習	今井			2							
音楽実践課題研究		選	1	演習	今井								2			
合奏		必	1	演習	今井				2							
伴奏法Ⅰ		必	1	演習	橋本					2						
伴奏法Ⅱ	選	1	演習	橋本						2						
日本伝統音楽実習Ⅰ	必	1	実習	(林)						2						
指揮法	指揮法Ⅰ	必	1	演習	今井						2			奇数年度開講		
	指揮法Ⅱ	選	1	演習	今井							2				
音楽理論・作曲法（編曲法を含む。）・音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）	音楽基礎理論	必	1	演習	橋本	2								偶数年度開講 開講未定 奇数年度開講		
	音楽理論演習	選	1	演習	橋本		2									
	作曲法・編曲法	必	1	演習	橋本			2								
	和声法Ⅰ	選	1	演習	橋本				2							
	和声法Ⅱ	選	1	演習	橋本					2						
	和声法Ⅲ	選	1	演習	橋本						2					
	和声法Ⅳ	選	1	演習	橋本							2				
	作曲演習	選	1	演習	橋本								2			
	作曲課題研究	選	1	演習	橋本										2	
	音楽史Ⅰ	必	2	講義	(高野)					2						
	音楽史Ⅱ	選	2	講義	(高野)						2					
日本・民族音楽概説	必	2	講義	(山本)								集(30)				

科目区分	授業科目	必 の 修 別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考									
						1年		2年		3年		4年											
						前	後	前	後	前	後	前	後										
指導法	中等音楽科教育法Ⅰ	必	2	講義 演習 講義 講義	荒巻 荒巻 荒巻 荒巻			2						偶数年度開講 奇数年度開講									
	中等音楽科教育法Ⅱ	選	2						2														
	中等音楽科教育法Ⅲ	選	2																				
	中等音楽科教育法Ⅳ	選	2										2										
	小 計		17																				
教育の基礎的理解 に関する科目	教育史	選	2	講義	成松			2															
教育実践に関する 科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 実習										事前・事後指導の1単位を含む。 事前・事後指導の1単位を含む。									
	中学校教育実習Ⅱ	選	2																				
	高等学校教育実習	選	3																				
	小 計		3																				
	自由選択科目	選	16											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部 の専門教育科目並びに学部 間共通教育科目の特定プロ グラム教育科目及び留学生 プログラム教育科目のうち から履修することができる。 また、本表の科目区分毎に 定められた修得単位数を超 えて修得した単位について も充てることができるもの とする。									
	卒業研究	必	4																				
	合 計		107																				

科目区分	授業科目	必の修別・選択	単位数	授業形態	担当教員	適当な時間の時間数								備考		
						1年		2年		3年		4年				
						前	後	前	後	前	後	前	後			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	足立 (松下) 成松, 小野, 和久屋 石井, (村山) 石井				2						事前・事後指導の1単位を含む。	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2							2						
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	必	2								集(30)					
	生徒・進路指導論	必	2									2				
	教育相談	必	2									2				
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山, 世波								通年			
	小学校教育実習Ⅱ	選	2										通年			
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2													2
小計			25													
中等教科及び教職に関する科目(音楽科)																
教科及び教科の指導法に関する科目	ソルフェージュ	ソルフェージュⅠ	必	1	演習	今井	2								「教科及び教科の指導法に関する科目」の修得方法について、必修及び選択必修の単位数を除いた5単位は、※を付した科目以外から修得するものとする。	
		ソルフェージュⅡ	必	1	演習	今井		2								
		ソルフェージュⅢ	選	1	演習	今井			2							
		ソルフェージュⅣ	選	1	演習	今井				2						
	声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	声楽Ⅰ	必	1	演習	板橋	2									奇数年度開講 偶数年度開講
		声楽Ⅱ	選	1	演習	板橋		2								
		声楽Ⅲ	選	1	演習	板橋			2							
		声楽Ⅳ	選	1	演習	板橋				2						
		声楽Ⅴ	選	1	演習	板橋					2					
		声楽Ⅵ	選	1	演習	板橋						2				
		声楽Ⅶ	選	1	演習	板橋							2			
		声楽課題研究※	選	1	演習	板橋								2		
		合唱	必	1	演習	板橋				2						
	日本伝統音楽実習Ⅱ	必	1	実習	(林)					2						
	器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	ピアノⅠ	必	1	実習	(阿部)	2									奇数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 偶数年度開講
		ピアノⅡ	選	1	実習	(阿部)		2								
		ピアノⅢ	選	1	実習	(阿部)			2							
		ピアノⅣ	選	1	実習	(阿部)				2						
		ピアノⅤ	選	1	実習	(阿部)					2					
		ピアノⅥ	選	1	実習	(阿部)						2				
		ピアノⅦ	選	1	実習	(阿部)							2			
		ピアノ課題研究※	選	1	演習	(阿部)								2		
		器楽Ⅰ	選	1	実習	今井		2								
		器楽Ⅱ	選	1	実習	今井			2							
		音楽実践課題研究※	選	1	演習	今井				2						
		合奏	必	1	演習	今井					2					
		伴奏法Ⅰ	必	1	演習	橋本						2				
		伴奏法Ⅱ	選	1	演習	橋本							2			
	日本伝統音楽実習Ⅰ	必	1	実習	(林)						2					
	指揮法	指揮法Ⅰ	必	1	演習	今井					2					奇数年度開講
指揮法Ⅱ		選	1	演習	今井						2					
音楽理論・作曲法(編曲法を含む。) 音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	音楽基礎理論	必	1	演習	橋本	2								偶数年度開講 開講未定 奇数年度開講		
	音楽理論演習	必	1	演習	橋本		2									
	作曲法・編曲法	必	1	演習	橋本			2								
	和声法Ⅰ	選	1	演習	橋本				2							
	和声法Ⅱ	選	1	演習	橋本					2						
	和声法Ⅲ	選	1	演習	橋本						2					
	和声法Ⅳ	選	1	演習	橋本							2				
	作曲演習	選	1	演習	橋本								2			
	作曲課題研究※	選	1	演習	橋本										2	
	音楽史Ⅰ	必	2	講義	(高野)				2							
	音楽史Ⅱ	選	2	講義	(高野)					2						
日本・民族音楽概説	必	2	講義	(山本)								集(30)				

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
指導法	中等音楽科教育法Ⅰ	必	2	講義 演習 講義 講義	荒卷 荒卷 荒卷 荒卷			2						偶数年度開講 奇数年度開講
	中等音楽科教育法Ⅱ	必	2					2						
	中等音楽科教育法Ⅲ	必	2							集(30)				
	中等音楽科教育法Ⅳ	必	2								2			
	小 計		30											
教育の基礎的理解 に関する科目	教育史	選	2	講義	成松			2						
教育実践に関する 科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 実習						通年 通年				事前・事後指導の1単位を含む。
	中学校教育実習Ⅱ	必	2											
	高等学校教育実習	選	3											
	小 計		5											
	自由選択科目	選	17											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
	卒業研究	必	4											
	合 計		107											

【小中連携教育コース 初等教育主免専攻（保健体育科）】

科目区分	授業科目	必修 の別 ・選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	適当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
課程・コース共通科目														
小中連携教育	児童・生徒発達論	選必	2	2	講義	(水田)		2						教科ごとに開設する。
	発達障害児心理療法	選必	2		講義	松山				2				
	小中連携教育内容研究	必	2		講義	坂元, 井上, 山津 町田, *堤							2	
	小中連携教育学	必	2		講義	坂元, 井上, 山津 町田, *堤						2		
小 計			6											
初等教科及び教職に関する科目														
教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）	選必	2	10	講義	国語科教員	2（A, C, Dグループ）						10科目区分から10単位 選択必修 音楽、図画工作又は体育を 選択した場合は、それぞ れの科目区分毎に2科目2 単位を修得する。 A, C, Dグループ（2クラス） A, C, Dグループ（2クラス） A, C, Dグループ A, C, Dグループ 2クラス 2クラス A, C, Dグループ 前学期：奇数，後学期：偶数 A, C, Dグループ A, C, Dグループ 前学期：偶数，後学期：奇数 A, C, Dグループ（2クラス）
	社会	小学社会	選必	2		講義	社会科教員			2				
	算数	初等数学	選必	2		講義	数学科科教員	2						
	理科	初等理科講義及び実験	選必	2		講・実	中村, 角縁, 岡島, 嬉			4				
	生活	生活科概説	選必	2		講義	栗山, 中西, 和田, 黒田, 未定					2		
	音楽	小学音楽	選必	1		実習	板橋, 荒巻	2						
		小学ピアノ	選必	1		実習	橋本, 今井	2						
	図画工作	小学図画	選必	1		実技	栗山					2		
		小学工作	選必	1		実技	和田					2		
	家庭	小学家庭	選必	2		講・実	甲斐, 薄島 萱島			2				
	体育	小学体育Ⅰ	選必	1		実技	山津, *堤, (市川)	2						
		小学体育Ⅱ	選必	1		実技	坂元, (八嶋), (未定), (未定)	2		2				
	外国語	小学英語	選必	2		講義	林	2						
	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必	2		講義	達富, 竜田			2				
	社会	初等社会科教育法	必	2		演習	*野田			2				
	算数	算数科教育法	必	2		講義	(瀧川)			2	2			
	理科	初等理科教育法	必	2		講義	世波				2			
	生活	生活科教育法	必	2		講義	世波, 黒田, (津川)					2		
	音楽	初等音楽科教育法	必	2		講義	荒巻			2				
図画工作	図工科教育法	必	2	講義	栗山			2	2					
体育	体育科教育法	必	2	講義	*堤, (福本)					2				
家庭	初等家庭科教育法	必	2	講・演	中西			2						
外国語	初等外国語教育法	必	2	講義	林			2						
小 計			30											
大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必	2	4	演習	芳野	2						※履修することが望ましい。	
	教育実践フィールド演習Ⅱ	必	1		演習	世波			2					
	教育実践フィールド演習Ⅲ	必	1		演習	世波				2				
	道德教育と学級経営	選	2		講義	足立					2			
	教育評価	選	2		講義	(西郡)					2			
	教育統計Ⅰ	選	2		講義	(西郡)				2				
	人権教育論	選	2		講義	(松下)					2			
小 計			4											
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必	2	2	講義	*荻野		2						
	教職概論	必	2		講義	成松	2							
	現代の教育と社会	必	2		講義	成松								
	教育心理学	必	2		講義	*井邑			2					
	特別支援教育の基礎	必	2		講義	松山, 芳野			2					
	幼児・児童発達論	選	2		講義	(大元誠)	2							

科目区分	授業科目	必修・選択の別	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考			
						1年		2年		3年		4年					
						前	後	前	後	前	後	前	後				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	足立 (松下) 成松, 小野, 和久屋 石井, (村山) 石井				2								
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2								2						
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	必	2										集(30)				
	生徒・進路指導論	必	2											2			
	教育相談	必	2													2	
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山, 世波							通年			事前・事後指導の1単位を含む。		
	小学校教育実習Ⅱ	必	2										通年				
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2													2	
小 計																	
中等教科及び教職に関する科目(保健体育科)																	
教科及び教科の指導法に関する科目	体育実技	体づくり運動	必	1	実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技 実技	(松本) (田口) 山津 (八嶋) 坂元, (栗原) 井上, (未定) (坂下) 町田 (吉谷) 井上 山津, 井上		2								偶数年度開講 奇数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講 偶数年度開講 偶数年度開講 開講未定	
		器械運動	必	1			2										
		水泳	必	1			2										
		陸上競技	必	1			集(30)										
		ゴール型球技	必	1			2										
		ネット型・ベースボール型球技	必	1			2										
		ダンス	必	1			集(30)										
		柔道	選必	1			2										
		剣道	選必	1			2										
		ヘルスプロモーション実習	選	1			2										
		野外・レクリエーション実習	選	1			集(30)										
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	運動学	必			2	講義 講義 講義 講義 演習 演習 講義 講義 演習 講義	(市川) (吉谷) 山津 坂元 坂元, 井上, 山津, 町田, *堤 井上 (未定) 井上 井上 (山田)		2			2			
	体育概論		選必	2	2												
	体育心理学		選必	2									2				
	体育経営管理学		選必	2										2			
	運動方法学演習		必	2	2								2				
	スポーツ測定評価		選	2										2			
	トレーニング科学		選	2											2		
	バイオメカニクス		選	2											2		
	ヘルスプロモーション演習		選	2										2			
	スポーツ文化・社会学		選	2										2			
	生理学(運動生理学を含む。)	解剖・生理学	必	2	講義 講義 講義	町田, (川久保) 町田 町田	2								偶数年度開講 偶数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講		
運動生理学		選	2	2													
運動処方		選	2	2													
衛生学・公衆衛生学	衛生・公衆衛生学	必	2	講義 講義	(西田) (馬渡他)	2								偶数年度開講 偶数年度開講 奇数年度開講			
	スポーツ医学	選	2							集(30)							
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	学校保健	必	2	講義	(野田), (坂口)							2		精神保健、小児保健、安全教育、救急処置を含む。			
	保健体育科教育法Ⅰ	必	2								2						
指導法	保健体育科教育法Ⅱ	選	2	演習 演習 演習 演習	(野田) (福本) (野田) *堤							2					
	保健体育科教育法Ⅲ	選	2										2				
	保健体育科教育法Ⅳ	選	2												2		
	小 計		22														
教育の基礎的理解に関する科目	教育史	選	2	講義	成松			2									
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 実習								通年		事前・事後指導の1単位を含む。			
	中学校教育実習Ⅱ	選	2										通年				
	高等学校教育実習	選	3												通年		
小 計																	

科目区分	授業科目	必修 の別 ・ 選択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
自由選択科目		選	11											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必	4											
合 計			107											

【小中連携教育コース 中等教育主免専攻（保健体育科）】

科目区分	授業科目	必の修別・選択	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
課程・コース共通科目														
小中連携教育	児童・生徒発達論	選必	2	2	講義	(水田)		2						教科ごとに開設する。
	発達障害児心理療法	選必	2		講義	松山				2				
	小中連携教育内容研究	必	2		講義	坂元, 井上, 山津町田, *堤							2	
	小中連携教育学	必	2		講義	坂元, 井上, 山津町田, *堤					2			
	小 計		6											
初等教科及び教職に関する科目														
教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）	選必	2	4	講義	国語科教員	2（A, C, Dグループ）						10科目区分から4単位選択必修 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。 A, C, Dグループ（2クラス） A, C, Dグループ（2クラス） A, C, Dグループ A, C, Dグループ 2クラス 2クラス
	社会	小学社会	選必	2		講義	社会科教員			2				
	算数	初等数学	選必	2		講義	数学科教員	2						
	理科	初等理科講義及び実験	選必	2		講・実	中村, 角縁, 岡島, 嬉			4				
	生活	生活科概説	選必	2		講義	栗山, 中西, 和田, 黒田, 未定					2		
	音楽	小学音楽	選必	1		実習	板橋, 荒巻	2						
		小学ピアノ	選必	1		実習	橋本, 今井	2						
	図画工作	小学図画	選必	1		実技	栗山				2			
		小学工作	選必	1		実技	和田					2		
	家庭	小学家庭	選必	2		講・実	甲斐, 澤島, 萱島			2				
	体育	小学体育Ⅰ	選必	1		実技	山津, *堤, (市川)	2						
		小学体育Ⅱ	選必	1		実技	坂元, (八嶋), (未定), (未定)	2	2					
	外国語	小学英語	選必	2		講義	林	2						
	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	選必	2		12	講義	達富, 竜田	2（A, C, Dグループ）					
社会	初等社会科教育法	選必	2	演習	*野田			2						
算数	算数科教育法	選必	2	講義	(瀧川)		2	2						
理科	初等理科教育法	選必	2	講義	世波				2					
生活	生活科教育法	選必	2	講義	世波, 黒田, (津川)					2				
音楽	初等音楽科教育法	選必	2	講義	荒巻			2						
図画工作	図工科教育法	選必	2	講義	栗山			2	2					
体育	体育科教育法	選必	2	講義	*堤, (福本)					2				
家庭	初等家庭科教育法	選必	2	講・演	中西				2					
外国語	初等外国語教育法	選必	2	講義	林				2					
	小 計		16											
大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必	2	4	演習		芳野	2						※履修することが望ましい。
	教育実践フィールド演習Ⅱ	必	1		演習	世波			2					
	教育実践フィールド演習Ⅲ	必	1		演習	世波				2				
	道德教育と学級経営	選	2		講義	足立					2			
	教育評価	選	2		講義	(西郡)						2		
	教育統計Ⅰ	選	2		講義	(西郡)				2				
	人権教育論	選	2		講義	(松下)						2		
	小 計		4											
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必	2	4	講義	*荻野		2						
	教職概論	必	2		講義	成松		2						
	現代の教育と社会	必	2		講義	成松	2							
	教育心理学	必	2		講義	*井邑			2					
	特別支援教育の基礎	必	2		講義	松山, 芳野				2				
	幼児・児童発達論	選	2		講義	(大元誠)	2							

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
自由選択科目		選	17											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必	4											
合 計			107											

科目区分	授業科目	必の修別・選択	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考		
						1年		2年		3年		4年				
						前	後	前	後	前	後	前	後			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	足立 (松下) 成松, 小野, 和久屋 石井, (村山) 石井				2							
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2								2					
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	必	2										集(30)			
	生徒・進路指導論	必	2									2				
	教育相談	必	2										2			
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山, 世波							通年		事前・事後指導の1単位を含む。		
	小学校教育実習Ⅱ	必	2									通年				
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2										2			
小 計																
中等教科及び教職に関する科目(技術科)																
教科及び教科の指導法に関する科目	木材加工(製図及び実習を含む。)	生活機器製図	必	2	演習	小野				2				偶数年度開講 奇数年度開講 開講未定 奇数年度開講 偶数年度開講		
		金属加工(製図及び実習を含む。)	金属加工作	必			2	講義	小野			2				
	機械(実習を含む。)	機械工学実習	必	2	実習 講義 講義	小野							4			
		機械工学Ⅰ	選	2						2						
		機械工学Ⅱ	選	2									2			
	電気(実習を含む。)	電気工学実習	必	2	実習 講義 講義 講義	和久屋							4			
		電気工学Ⅰ	選	2						2						
		電気工学Ⅱ	選	2							2					
		電子回路	選	2							2					
	栽培(実習を含む。)	栽培学	必	2	実習	(一色)他						2				
	情報とコンピュータ(実習を含む。)	プログラミング実習	必	2	講・実 講義 講義 講義	和久屋 (未定) 和久屋 小野							2			
		情報社会と倫理	選	2						2						
		情報工学Ⅰ	選	2							2					
		情報工学Ⅱ	選	2								2				
	指導法	中等技術科教育法Ⅰ	選必	2	演習 演習 演習 演習	(角)				2						
中等技術科教育法Ⅱ		選必	2							2						
中等技術科教育法Ⅲ		選	2								2					
中等技術科教育法Ⅳ		選	2									集(30)				
小 計																
教育の基礎的理解に関する科目	教育史	選	2	講義	成松				2							
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 実習									通年	事前・事後指導の1単位を含む。		
	中学校教育実習Ⅱ	選	2										通年			
	高等学校教育実習	選	3										通年			
小 計																
自由選択科目		選	19											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。		
卒業研究		必	4													
合 計			107													

※中学校技術教員免許科目の応用木工芸(2年前学期, 2単位)及び映像デザインⅡ(3年前学期, 2単位)は、芸術地域デザイン学部で必ず履修すること。

※中学校技術教員免許科目の映像デザインⅢ(3年後学期, 2単位)は、芸術地域デザイン学部で履修できる。

科目区分	授業科目	必の修別・選択	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考		
						1年		2年		3年		4年				
						前	後	前	後	前	後	前	後			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	足立 (松下) 成松, 小野, 和久屋 石井, (村山) 石井				2							
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2							2						
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	必	2									集(30)				
	生徒・進路指導論	必	2										2			
	教育相談	必	2										2			
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山, 世波									通年	事前・事後指導の1単位を含む。	
	小学校教育実習Ⅱ	選	2											通年		
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2											2		
小計			25													
中等教科及び教職に関する科目(技術科)																
教科及び教科の指導法に関する科目	木材加工(製図及び実習を含む。)	生活機器製図	必	2	演習	小野				2					偶数年度開講 奇数年度開講 開講未定 奇数年度開講 偶数年度開講	
		金属加工(製図及び実習を含む。)	金属加工学	必	2	講義	小野			2						
	機械(実習を含む。)	機械工学実習	必	2	実習	小野						4				
		機械工学Ⅰ	選	2	講義	小野			2							
		機械工学Ⅱ	選	2	講義	小野					2					
	電気(実習を含む。)	電気工学実習	必	2	実習	和久屋						4				
		電気工学Ⅰ	選	2	講義	和久屋			2							
		電気工学Ⅱ	選	2	講義	和久屋				2						
		電子回路	選	2	講義	和久屋				2						
	栽培(実習を含む。)	栽培学	必	2	講義	(一色)他					2					
	情報とコンピュータ(実習を含む。)	プログラミング実習	必	2	講・実	和久屋						2				
		情報社会と倫理	選	2	講義	(未定)		2								
		情報工学Ⅰ	選	2	講義	和久屋			2							
		情報工学Ⅱ	選	2	講義	小野				2						
指導法	中等技術科教育法Ⅰ	必	2	演習	(角)			2								
	中等技術科教育法Ⅱ	必	2	演習	(角)				2							
	中等技術科教育法Ⅲ	必	2	演習	(角)					2						
	中等技術科教育法Ⅳ	必	2	演習	(角)						集(30)					
小計			26													
教育の基礎的理解に関する科目	教育史	選	2	講義	成松			2								
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 実習								通年		事前・事後指導の1単位を含む。		
	中学校教育実習Ⅱ	必	2									通年				
	高等学校教育実習	選	3										通年			
小計			5													
自由選択科目		選	21													本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必	4													
合計			107													

※中学校技術教員免許科目の応用木工芸(2年前学期, 2単位)及び映像デザインⅡ(3年前学期, 2単位)は、芸術地域デザイン学部で必ず履修すること。

※中学校技術教員免許科目の映像デザインⅢ(3年後学期, 2単位)は、芸術地域デザイン学部で履修できる。

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考	
						1年		2年		3年		4年			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	足立 (松下) 成松,小野, 和久屋 石井,(村山) 石井				2						
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2								2				
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	必	2										集(30)		
	生徒・進路指導論	必	2									2			
	教育相談	必	2									2			
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山,世波						通年			事前・事後指導の1単位を含む。	
	小学校教育実習Ⅱ	必	2								通年				
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2										2		
小 計			27												
中等教科及び教職に関する科目(家庭科)															
教科及び教科の指導法に関する科目	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	生活経営学	必	2	講義	(奥谷)						2		開講未定	
		生活経営学演習	選	2	演習	(未定)						2			
	被服学(被服製作実習を含む。)	被服学Ⅰ	必	2	講義	甲斐		2							
		被服学Ⅱ	選	2	講義	甲斐			2						
		被服学演習Ⅰ	選	2	演習	甲斐				2					
		被服学演習Ⅱ	選	2	演習	甲斐					2				
		被服実習	選	2	実習	甲斐		4							
	食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	食物学Ⅰ	必	2	講義	萱島		2							
		食物学Ⅱ	必	2	講義	萱島,(安田)			2						
		食物学実験・実習Ⅰ	選	2	実験・実習	萱島				4					
		食物学実験・実習Ⅱ	選	2	実験・実習	萱島					4				
		食物学演習	選	2	演習	萱島						2			
	住居学(製図を含む。)	住居学Ⅰ	必	2	講義	澤島		2							
		住居学Ⅱ	選	2	講義	澤島					2				
		住居計画・設計実習	選	2	実習	澤島					4				
		住居学演習	選	2	演習	澤島						2			
	保育学(実習及び家庭看護を含む。)	保育学	必	2	講義	中西,(鈴木), (大坪)			2						
		保育学演習	選	2	演習	中西						2			
	家庭電気・家庭機械・情報処理	生活機器学	選	2	講義	澤島				集(30)					
	指導法	中等家庭科教育法Ⅰ	必	2	講義	中西		2	2						
中等家庭科教育法Ⅱ		選	2	講義	中西				2						
中等家庭科教育法Ⅲ		選	2	講義	中西					2					
中等家庭科教育法Ⅳ		選	2	講義	中西						2				
小 計			14												
教育の基礎的理解に関する科目	教育史	選	2	講義	成松			2							
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 実習								通年	事前・事後指導の1単位を含む。		
	中学校教育実習Ⅱ	選	2									通年			
	高等学校教育実習	選	3									通年			
小 計			3												
自由選択科目		選	19											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。	
卒業研究		必	4												
合 計			107												

科目区分	授業科目	必の修別・選択	単位数	授業形態	担当教員	週当たりの時間数								備考		
						1年		2年		3年		4年				
						前	後	前	後	前	後	前	後			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	足立 (松下) 成松, 小野, 和久屋 石井, (村山) 石井				2						事前・事後指導の1単位を含む。	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2							2						
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	必	2								集(30)					
	生徒・進路指導論	必	2									2				
	教育相談	必	2										2			
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山, 世波								通年	事前・事後指導の1単位を含む。		
	小学校教育実習Ⅱ	選	2										通年			
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2													2
小 計			25													
中等教科及び教職に関する科目(家庭科)																
教科及び教科の指導法に関する科目	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	生活経営学	必	2	講義	(奥谷)						2		開講未定		
		生活経営学演習	選	2	演習	(未定)						2				
	被服学(被服製作実習を含む。)	被服学Ⅰ	必	2	講義	甲斐		2								
		被服学Ⅱ	選	2	講義	甲斐			2							
		被服学演習Ⅰ	選	2	演習	甲斐				2						
		被服学演習Ⅱ	選	2	演習	甲斐					2					
		被服実習	選	2	実習	甲斐		4								
	食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	食物学Ⅰ	必	2	講義	萱島		2								
		食物学Ⅱ	必	2	講義	萱島, (安田)			2							
		食物学実験・実習Ⅰ	選	2	実験・実習	萱島				4						
		食物学実験・実習Ⅱ	選	2	実験・実習	萱島					4					
		食物学演習	選	2	演習	萱島						2				
	住居学(製図を含む。)	住居学Ⅰ	必	2	講義	澤島		2								
		住居学Ⅱ	選	2	講義	澤島					2					
		住居計画・設計実習	選	2	実習	澤島						4				
		住居学演習	選	2	演習	澤島							2			
	保育学(実習及び家庭看護を含む。)	保育学	必	2	講義	中西, (鈴木), (大坪)			2							
		保育学演習	選	2	演習	中西							2			
	家庭電気・家庭機械・情報処理	生活機器学	必	2	講義	澤島				集(30)						
	指導法	中等家庭科教育法Ⅰ	必	2	講義	中西			2							
		中等家庭科教育法Ⅱ	必	2	講義	中西				2						
		中等家庭科教育法Ⅲ	必	2	講義	中西					2					
		中等家庭科教育法Ⅳ	必	2	講義	中西							2			
	小 計			34												
	教育の基礎的理解に関する科目	教育史	選	2	講義	成松			2							
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 実習								通年	事前・事後指導の1単位を含む。			
	中学校教育実習Ⅱ	必	2									通年				
	高等学校教育実習	選	3											通年		
小 計			5													
自由選択科目		選	13											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。		
卒業研究		必	4													

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考	
						1年		2年		3年		4年			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	足立 (松下) 成松,小野, 和久屋 石井,(村山) 石井				2						事前・事後指導の1単位を含む。
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2							2					
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	必	2								集(30)				
	生徒・進路指導論	必	2									2			
	教育相談	必	2									2			
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山,世波						通年			事前・事後指導の1単位を含む。	
	小学校教育実習Ⅱ	必	2								通年				
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2										2		
小 計			27												
中等教科及び教職に関する科目(英語科)															
教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	英語学概論Ⅰ	必	2	講義 講義 演習 演習 講義 講義 演習 講義 演習	Moxon, J. P (小野浩) (小野浩) (小野浩) Moxon, J. P Moxon, J. P Moxon, J. P 林 Moxon, J. P				2				※同じ科目名のⅠ,Ⅱ,Ⅲについては、この順に取得することが望ましい。 開講未定 開講未定	
		英語音声学	選	2						2					
		英語音声学演習Ⅰ	選	1				2							
		英語音声学演習Ⅱ	選	1					2						
		第二言語習得論Ⅰ	選	2					2						
		英語学概論Ⅱ	選	2								2			
		英語学演習	選	1								2			
	第二言語習得論Ⅱ	選	2						2						
	英文法演習	選	1			2									
	英語文学	英語文学論Ⅰ	必	2	講義 講義 講義 演習 演習 講義 講義	木原 木原 (新田) (吉村) (未定) (未定) (吉村)		2			2			開講未定 開講未定	
		英語文学講読Ⅰ	選	2					2						
		英語文学講読Ⅱ	選	2						2					
		英語文学演習Ⅰ	選	1							2				
		英語文学演習Ⅱ	選	1								2			
		英語文学論Ⅱ	選	2									2		
		英語文学講読Ⅲ	選	2								2			
	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション論	必	2	講義 演習 演習 演習 演習 演習	Moxon, J. P Moxon, J. P Moxon, J. P Moxon, J. P Moxon, J. P Moxon, J. P			2					開講未定	
		英語オーラルコミュニケーションⅠ	選必	1				2							
		英語オーラルコミュニケーションⅡ	選必	1					2						
		英語アカデミックスピーキングⅠ	選必	1						2					
		英語アカデミックライティングⅠ	選必	1							2				
		英語アカデミックスピーキングⅡ	選	1								2			
		英語アカデミックライティングⅡ	選	1									2		
	異文化理解	異文化理解論	必	2	講義 講義 演習 演習 講義 講義 講義	木原 木原 木原 (未定) 木原 (未定) (未定)		2						開講未定 開講未定 開講未定	
		英米文化事情Ⅰ	選	2					2						
		異文化理解演習Ⅰ	選	1					2						
		異文化理解演習Ⅱ	選	1							2				
異文化理解Ⅰ		選	2								2				
英米文化事情Ⅱ		選	2								2				
異文化理解Ⅱ		選	2									2			
指導法	英語科教育法Ⅰ	必	2	講義 講義 演習 演習	林 林 林 林			2							
	英語科教育法Ⅱ	選	2						2						
	英語科教育法Ⅲ	選	2							2					
	英語科教育法Ⅳ	選	2								2				
小 計			12												
教育の基礎的理解に関する科目	教育史	選	2	講義	成松			2							
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 実習								通年	事前・事後指導の1単位を含む。		
	中学校教育実習Ⅱ	選	2								通年				
	高等学校教育実習	選	3								通年				
小 計			3												

科目区分	授業科目	必 の 修 別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
自由選択科目		選	21											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必	4											
合計			107											

科目区分	授業科目	必の修別・選択	単位数	授業形態	担当教員	適当な時間の時間数								備考	
						1年		2年		3年		4年			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必	2	講義 講義 講義 講義 講義	足立 (松下) 成松, 小野, 和久屋 石井, (村山) 石井				2						
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必	2							2					
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)	必	2							集(30)					
	生徒・進路指導論	必	2								2				
	教育相談	必	2								2				
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習 演習	栗山, 世波								通年	事前・事後指導の1単位を含む。	
	小学校教育実習Ⅱ	選	2										通年		
	教職実践演習(幼・小・中・高)	必	2												
小 計			25												
中等教科及び教職に関する科目(英語科)															
教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	英語学概論Ⅰ	必	2	講義 講義 演習 演習 講義 講義 演習 演習	Moxon, J. P (小野浩) (小野浩) (小野浩) Moxon, J. P Moxon, J. P Moxon, J. P 林 Moxon, J. P				2					※同じ科目名のⅠ, Ⅱ, Ⅲについては, この順に取得することが望ましい。 開講未定 開講未定
		英語音声学	選必	2							2				
		英語音声学演習Ⅰ	選必	1				2							
		英語音声学演習Ⅱ	選必	1					2						
		第二言語習得論Ⅰ	選必	2					2						
		英語学概論Ⅱ	選	2									2		
		英語学演習	選	1									2		
		第二言語習得論Ⅱ	選	2									2		
	英語文学	英文法演習	選	1			2								
		英語文学論Ⅰ	必	2	講義 講義 講義 演習 演習 講義 講義	木原 木原 (新田) (吉村) (未定) (未定) (吉村)		2			2				開講未定 開講未定
		英語文学講読Ⅰ	選必	2						2					
		英語文学講読Ⅱ	選必	2						2					
		英語文学演習Ⅰ	選必	1							2				
		英語文学演習Ⅱ	選必	1								2			
	英語文学論Ⅱ	選	2									2			
	英語コミュニケーション	英語文学論Ⅲ	選	2							2				
		英語コミュニケーション論	必	2	講義 演習 演習 演習 演習 演習 演習	Moxon, J. P Moxon, J. P Moxon, J. P Moxon, J. P Moxon, J. P Moxon, J. P (未定)			2						開講未定
		英語オーラルコミュニケーションⅠ	選必	1				2							
		英語オーラルコミュニケーションⅡ	選必	1					2						
		英語アカデミックスピーキングⅠ	選必	1						2					
		英語アカデミックライティングⅠ	選必	1							2				
		英語アカデミックスピーキングⅡ	選	1								2			
	英語アカデミックライティングⅡ	選	1									2			
	異文化理解	異文化理解論	必	2	講義 講義 演習 演習 講義 講義 講義	木原 木原 木原 (未定) 木原 (未定) (未定)		2							開講未定 開講未定 開講未定
		英米文化事情Ⅰ	選必	2					2						
		異文化理解演習Ⅰ	選必	1					2						
		異文化理解演習Ⅱ	選必	1						2					
		異文化理解Ⅰ	選必	2							2				
英米文化事情Ⅱ		選	2							2					
異文化理解Ⅱ		選	2									2			
指導法	英語科教育法Ⅰ	必	2	講義 講義 演習 演習	林 林 林 林			2							
	英語科教育法Ⅱ	必	2						2						
	英語科教育法Ⅲ	必	2							2					
	英語科教育法Ⅳ	必	2								2				
小 計			30												
教育の基礎的理解に関する科目	教育史	選	2	講義	成松			2							
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必	3	実習 実習								通年		事前・事後指導の1単位を含む。	
	中学校教育実習Ⅱ	必	2									通年			
	高等学校教育実習	選	3										通年		
小 計			5												

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選 択	単 位 数	授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
						1年		2年		3年		4年		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
自由選択科目		選	17											本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必	4											
合 計			107											

【他学部教員免許状取得のための科目】

科目区分	授業科目	必の 修別 ・ 選択	単 位 数		授 業 形 態	担 当 教 員	週当たりの時間数								備 考
							1年		2年		3年		4年		
							前	後	前	後	前	後	前	後	
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	自選	2		講義	*成松			2						
	教職概説	自選	2		講義	*平田		2							
	現代教育論	自選	2		講義	(西郡)	2								
	発達と学習の心理学	自選	2		講義	*井邑			集(30)						
	特別支援教育概論	自選	2		講義	松山, 芳野				2					
	教育課程論	自選	2		講義	(伊藤)					集(30)				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と方法	自選	2		講義	足立					2				
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	自選	2		講義	(松下)				2					
	教育方法論（情報通信技術の活用を含む。）	自選	2		講義	成松, 小野, 和久屋					2				
	生徒・進路指導の理論と方法（中等）	自選	2		講義	(石井佳), (村山)				2					
	教育相談の理論と方法（中等）	自選	2		講義	*下田					2				
教育実践に関する科目	教職実践演習（中・高）	自選	2		演習	世波他								2	

XIII. そ の 他

- 1 令和4年度学年暦及び年間行事予定表
- 2 教育学部諸規程
- 3 教育学部建物配置図
- 4 教養教育（全学教育機構）講義室等配置図
- 5 教育学部各棟の配置図

2022年度（令和4年度）学年暦及び年間行事予定表

月	日	曜	学 年 暦	行 事
4	1	金	前学期始、春季休業(4月4日まで)	
	5	火	令和4年度入学式	
	6	水	オリエンテーション(4月8日まで)	各学部・研究科オリエンテーション
	11	月	前学期開講日	
6	4	土		全学統一英語能力テスト(TOEIC)
	11	土		全学統一英語能力テスト(TOEIC) 予備日
7	25	月		前学期定期試験時間割発表
8	1	月		前学期定期試験(8月5日まで)
	9	火	夏季休業(9月30日まで)	交換留学生終了式
9	22	木	令和4年度学位記授与式<9月期>	
	30	金	前学期終	
10	1	土	開学記念日、後学期始	
	3	月	後学期開講	
	4	火	令和4年度大学院入学式(10月期)	
12	24	土	冬季休業(1月7日まで)	
1	14	土		令和5年度大学入学共通テスト(1月15日まで)
	28	土		全学統一英語能力テスト(TOEIC)
2	2	木		後学期定期試験時間割発表
	4	土		全学統一英語能力テスト(TOEIC) 予備日
	9	木		後学期定期試験(2月15日まで)
	17	金		交換留学生終了式
	25	土		令和5年度個別学力検査(前期日程)入学試験(2月26日まで) 予定
3	12	日		令和5年度個別学力検査(後期日程)入学試験(3月13日まで) 予定
	24	金	令和4年度学位記授与式<3月期>	
	31	金	後学期終	

* 6月18日・25日、7月2日・9日・16日、11月19日、12月3日・10日・17日、1月21日は補講日とする。ただし、土曜日の補講日は、授業曜日が重ならないよう補講曜日を指定する。(通常の授業日の6校時も利用することができる。)

* 7月23日・24日・30日・31日、8月6日・8日、2月7日・8日・16日は風水害対応の予備日

* 12月23日は入試対応の予備日

注：予備日については、通常の休講等に対応するものではなく、入試及び風水害等による大学全体の休講等に充当するものである。

(参考) 令和5年度

4	1	土	前学期始	
	4	火	入学式	

佐賀大学教育学部規則

(平成28年2月24日制定)

(趣旨)

第1条 佐賀大学教育学部（以下「本学部」という。）に関する事項は、国立大学法人佐賀大学基本規則（平成16年4月1日制定）及び佐賀大学学則（平成16年4月1日制定。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(学部の目的)

第2条 本学部は、学校教育課程幼小連携教育コース及び小中連携教育コースにより構成し、幼児・児童・生徒の心身の発達を長期的かつ連続的な視点から見据えながら、現代社会の変化に伴う様々な教育課題に応えることができる学校教員の養成を目的とする。

(コースの目的)

第3条 本学部学校教育課程の各コースの目的は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 幼小連携教育コース 現在の家庭・学校・地域が抱える教育的課題の解決を視野に入れつつ、子どもの生活・発達・学習について、教育学や心理学、幼児教育、特別支援教育などの観点から専門的な知識や技能を学び、幼児期から児童期にかけての子どもたちの心身の発達や学びを支えるための教育能力を持った教員養成を行うことを教育目的とする。
- (2) 小中連携教育コース 小学校から中学校までの義務教育9年間における児童・生徒の心身の発達過程の特性に応じた教育の系統性を理解し、各教科の本質や意義、教育内容、学習指導方法について造詣を深め、実践的な指導技術を身につけた教員養成を行うことを教育目的とする。

(コース、専攻及び教科)

第4条 本学部学校教育課程の各コースに次の各専攻を置く。

課程	コース	専攻
学校教育課程	幼小連携教育コース	幼小発達教育専攻
		特別支援教育専攻
	小中連携教育コース	初等教育主免専攻
		中等教育主免専攻

2 小中連携教育コースの各専攻は、国語科、社会科、数学科、理科、音楽科、保健体育科、技術科、家庭科及び英語科により構成する。

(入学)

第5条 本学部に入学することのできる者は、学則第9条及び第14条に定めるところによる。

2 転入学及び再入学に関する事項は、別に定める。

(専攻及び教科の決定)

第6条 幼小連携教育コースの専攻の決定は入学時に行い、小中連携教育コースの教科の決定は、初等教育主免専攻においては入学後に、中等教育主免専攻においては入学時に行うものとする。

(教育課程の編成)

第7条 本学部の教育課程は、次の教育科目をもって編成する。

教養教育科目

専門教育科目

- 2 教養教育科目は、大学入門科目、共通基礎科目、基本教養科目、インターフェース科目及び共通教職科目に区分する。
- 3 共通基礎科目は、外国語科目及び情報リテラシー科目に区分する。
- 4 基本教養科目は、自然科学と技術の分野、文化の分野及び現代社会の分野に区分する。
- 5 専門教育科目は、別表に示す科目群に区分する。

(履修方法)

第8条 学生は、本学部の定める教育課程により、教養教育科目及び専門教育科目から成る別表に示す単位を修得しなければならない。

- 2 教養教育科目の授業科目、単位数及び履修方法は、佐賀大学教養教育科目履修規程（平成25年2月27日全部改正）及び佐賀大学教育学部履修細則（平成28年2月24日制定）の定めるところによる。
- 3 専門教育科目の授業科目、単位数及び履修方法は、佐賀大学教育学部履修細則の定めるところによる。

(履修手続)

第9条 学生は、履修しようとする授業科目について、各学期とも所定の期間内に定められた方法により履修手続をしなければならない。ただし、学期の中途から開始される授業科目については、その都度履修手続をしなければならない。

(成績判定及び単位の授与)

第10条 授業科目を履修した場合には、成績判定の上、合格した者に対して所定の単位を与える。

- 2 成績判定は、平素の学修状況、学修報告、論文及び試験等によって行う。
- 3 成績は、秀、優、良、可、不可の評語をもって表わし、秀、優、良、可を合格とし、不可は不合格とする。
- 4 前項の規定にかかわらず、成績の判定に当たり、前項に規定する評語により難いと佐賀大学教育委員会が認めた授業科目においては、合又は不可の評語をもって表すことができるものとし、合を合格とし、不可は不合格とする。

(試験)

第11条 試験は、各授業科目につき、学期ごとに行うことを原則とする。

- 2 追試験及び再試験については、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第12条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学における授業科目の履修、大学以外の教育施設等における学修及び入学前の他の大学又は短期大学における授業科目の履修により修得した単位について、教授会の議を経て、認定する。

(転入学又は再入学した者の履修科目等の認定)

第13条 転入学又は再入学した者の履修科目及び修得単位数は、教授会の議を経て、認定する。

(卒業の要件)

第14条 本学部を卒業するには、所定の期間在学し、第7条に定める教育課程を履修し、かつ、所定の単位を修得しなければならない。

(科目等履修生)

第15条 科目等履修生に関する事項は、佐賀大学科目等履修生規程（平成16年4月1日制定）の定める

ところによる。

(特別聴講学生)

第16条 特別聴講学生に関する事項は、佐賀大学学生交流に関する規程（平成16年4月1日制定）の定めるところによる。

(研究生)

第17条 研究生に関する事項は、佐賀大学研究生規程（平成16年4月1日制定）の定めるところによる。

(外国人留学生)

第18条 外国人留学生に関する事項は、佐賀大学外国人留学生規程（平成16年4月1日制定）の定めるところによる。

(公開講座)

第19条 本学部の主催する公開講座については、教授会の議を経て、これを行うものとする。

(雑則)

第20条 この規則に定めるもののほか、本学部に関し必要な事項は、教授会において別に定める。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月28日改正）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年2月6日改正）

1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。

2 平成31年3月31日において現に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び在学者の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

附 則（令和4年3月30日改正）

1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。

2 令和4年3月31日において現に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び在学者の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

佐賀大学教育学部履修細則

(平成28年2月24日制定)

(趣旨)

第1条 佐賀大学教育学部学生の教養教育科目（大学入門科目、共通基礎科目、基本教養科目、インターフェース科目及び共通教職科目）及び専門教育科目の履修については、佐賀大学学則（平成16年4月1日制定）、佐賀大学教養教育科目履修規程（平成25年2月27日全部改正）及び佐賀大学教育学部規則（平成28年2月24日制定）に定めるもののほか、この細則の定めるところによる。

(大学入門科目)

第2条 大学入門科目は、大学入門科目Ⅰを修得しなければならない。

(共通基礎科目)

第3条 共通基礎科目における外国語科目は、外国人留学生を除き英語4単位を修得しなければならない。

2 外国人留学生の外国語科目の履修は、次に定めるところによる。

(1) 母語を選択しないこと。

(2) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の外国語コミュニケーションの科目については、前号にかかわらず、英語の授業科目の中から2単位を修得しなければならない。

3 共通基礎科目における情報リテラシー科目は、情報基礎概論及び情報基礎演習Ⅰを修得しなければならない。

(基本教養科目)

第4条 基本教養科目は、自然科学と技術の分野、文化の分野及び現代社会の分野から各2単位以上、計8単位を修得しなければならない。

2 前項の履修科目には、現代社会の分野の日本国憲法2単位を含まなければならない。

(インターフェース科目)

第5条 インターフェース科目は、所定の8単位を修得しなければならない。

(共通教職科目)

第6条 共通教職科目は、体育実技Ⅰ及び体育実技Ⅱを修得しなければならない。

(専門教育科目)

第7条 本学部学校教育課程における専門教育科目の修得単位数は別表Ⅰのとおりとする。

2 前項の専門教育科目の履修は、別表Ⅱによる。

3 他学部の教員免許状取得のための授業科目は、別表Ⅲのとおりとする。

4 各年度における授業科目の履修年次及び配当学期は、別に定める。

5 転入学又は再入学した者の履修方法等は、別に定める。

(卒業研究)

第8条 卒業研究に関する細目は、別に定める。

(教員免許状)

第9条 教員免許状の取得に関する授業科目の履修方法等は、別に定める。

(履修手続)

第10条 学生は、履修手続を、各学期ともに所定の期日までに終えなければならない。

2 履修手続を所定の期日までに終えていない授業科目の単位は、認定しない。

3 履修科目として登録できる単位数の上限等は、別に定める。

(追試験及び再試験)

第11条 やむを得ない理由によって定期試験を受験できなかった授業科目で、担当教員の承認を得た後、所定の願書が提出されたものについては、追試験を行うことがある。

2 再試験は原則として行わない。ただし、不合格と判定された授業科目で、担当教員の承認を得た後、所定の願書が提出されたものについては、1回限り再試験を行うことがある。

3 追試験又は再試験の願書は、所定の期日までに提出しなければならない。

(雑則)

第12条 この細則に定めるもののほか、学生の履修に関し必要な事項は、教授会において別に定める。

附 則

この細則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (平成30年3月20日改正)

1 この細則は、平成30年4月1日から施行する。

2 平成30年3月31日において現に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び在学者の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

附 則 (平成31年2月6日改正)

1 この細則は、平成31年4月1日から施行する。

2 平成31年3月31日において現に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び在学者の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

附 則 (令和3年3月5日改正)

1 この細則は、令和3年4月1日から施行する。

2 令和3年3月31日において現に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び在学者の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

附 則 (令和4年3月30日改正)

1 この細則は、令和4年4月1日から施行する。

2 令和4年3月31日において現に在学する者（以下この項において「在学者」という。）及び在学者の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前の例による。

別表 I (第7条関係)

コース・専攻別の専門教育科目の修得単位数

コース	専攻	専門教育科目											合計				
		課程・コース共通科目	初等教科及び教職に関する科目					幼小発達教育に関する科目	特別支援教育に関する科目	中等教科及び教職に関する科目				自由選択科目	卒業研究		
			教科及び教科の指導法	大学が独自に設定する科目	教育の基礎的理解に関する科目	徒指導、教育相談等に 時間等の指導法及び生徒 道徳、総合的な学習の 指導に関する科目	教育実践に関する科目			教科及び教科の指導法	教育の基礎的理解に関する科目	徒指導、教育相談等に 時間等の指導法及び生徒 道徳、総合的な学習の 指導に関する科目				教育実践に関する科目	
幼小連携教育 コース	幼小発達教育専攻	6	40	6	31					19				1	4	107	
	特別支援教育専攻	6	30	6	27					2	31				1	4	107
小中連携教育 コース	初等教育主免専攻	国語科	6	30	4	27							14	3	19	4	107
		社会科	6	30	4	27							20	3	13	4	107
		数学科	6	30	4	27							12	3	21	4	107
		理科	6	30	4	27							22	3	11	4	107
		音楽科	6	30	4	27							17	3	16	4	107
		保健体育科	6	30	4	27							22	3	11	4	107
		技術科	6	30	4	27							14	3	19	4	107
		家庭科	6	30	4	27							14	3	19	4	107
	英語科	6	30	4	27							12	3	21	4	107	
	中等教育主免専攻	国語科	6	16	4	25							30	5	17	4	107
		社会科	6	16	4	25							30	5	17	4	107
		数学科	6	16	4	25							30	5	17	4	107
		理科	6	16	4	25							30	5	17	4	107
		音楽科	6	16	4	25							30	5	17	4	107
		保健体育科	6	16	4	25							30	5	17	4	107
		技術科	6	16	4	25							26	5	21	4	107
家庭科		6	16	4	25							34	5	13	4	107	
英語科	6	16	4	25							30	5	17	4	107		

別表Ⅱ（第7条関係）

【幼小連携教育コース 幼小発達教育専攻】

科目区分		授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考	
共通 コース 科目	幼小連携教育	幼小連携教育論	必修		2		
		幼小連携教育研究法	必修		2		
		幼小連携教育演習	必修		2		
	小 計				6		
初等 教科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）		選択必修	2	10 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。	
		社会		選択必修	2		
		算数		選択必修	2		
		理科		選択必修	2		
		生活		選択必修	2		
		音楽	小学音楽		選択必修		1
			小学ピアノ		選択必修		1
		図画工作	小学図画		選択必修		1
			小学工作		選択必修		1
		家庭	小学家庭		選択必修		2
	小学体育Ⅰ			選択必修	1		
	体育	小学体育Ⅱ		選択必修	1		
		外国語	小学英語		選択必修	2	
	初等教科及び教職に関する科目	初等教科及び教職に関する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必修	2	2
			社会	初等社会科教育法	必修	2	
			算数	算数科教育法	必修	2	
			理科	初等理科教育法	必修	2	
			生活	生活科教育法	必修	2	
			音楽	初等音楽科教育法	必修	2	
			図画工作	図工科教育法	必修	2	
			体育	体育科教育法	必修	2	
			家庭	初等家庭科教育法	必修	2	
			外国語	初等外国語教育法	必修	2	
		指導法	保育内容総論		選択	2	
			保育内容（健康）	必修	2		
			保育内容（環境）	必修	2		
			保育内容（人間関係）	必修	2		
保育内容（言葉）			必修	2			
保育内容（表現Ⅰ）			選択必修	2			
保育内容（表現Ⅱ）			選択必修	2			
小 計				40			
大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2			
	教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1			
	教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1			
	教育統計Ⅰ	必修		2			
	教育評価		選択	2			
小 計				6			
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必修		2			
	教職概論	必修		2			
	現代の教育と社会	必修		2			
	教育心理学	必修		2			
	特別支援教育の基礎	必修		2			
	幼児教育課程論	必修		2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必修		2			
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2			
	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2			
	生徒・進路指導論	必修		2			
	教育相談	必修		2			
幼児理解の理論と方法	必修		2				

科目区分		授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考
教 初 等 教 科 及 び 科 目	教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。
		小学校教育実習Ⅱ	必修		2	
		幼稚園教育実習Ⅰ		選択	3	事前・事後指導の1単位を含む。
		幼稚園教育実習Ⅱ		選択	2	
		教職実践演習(幼・小・ 中・高)	必修		2	
		小 計			31	
幼小発達教育に関する科目		幼児・児童発達論	必修		2	
		児童・生徒発達論	必修		2	
		特別支援教育総論	必修		2	
		道徳教育と学級経営		選択	2	
		保育表現演習Ⅰ(言語表現)		選択	1	
		保育表現演習Ⅱ(運動表現)		選択	1	
		保育表現演習Ⅲ(造形表現)		選択	1	
		保育表現演習Ⅳ(リズム表現)		選択	1	
		保育観察実習Ⅰ		選択	2	
		保育観察実習Ⅱ		選択	2	
		保育観察実習Ⅲ		選択	2	
		心理学概論		選択	2	
		心理学実験Ⅰ		選択	1	
		心理学実験Ⅱ		選択	1	
		臨床心理学概論		選択	2	
		家族心理学		選択	2	
		障害児心理学		選択	2	
		障害児学習指導法Ⅱ		選択	2	
		知的障害児心理学		選択	2	
		肢体不自由者の心理・生理・病理		選択	2	
		病弱者・情緒障害者の心理・生理・病理		選択	2	
		人権教育論		選択	2	
		教育史		選択	2	
		社会教育概論Ⅰ		選択	2	
		子どもの支援Ⅰ(基礎・実習)		選択	2	
		子どもの福祉と家族支援		選択	2	
		社会的養護の理解		選択	2	
		小 計			19	
自由選択科目				選択	1	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究			必修		4	
合計					107	

【幼小連携教育コース 特別支援教育専攻】

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
課程 コース ・ 科目	共通科目	幼小連携教育	幼小連携教育論	必修		2	
			幼小連携教育研究法	必修		2	
			幼小連携教育演習	必修		2	
		小 計			6		
初等 教科 及び 教職 に関 する 科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	10科目区分から10単位選択必修 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。
		社会	小学社会		選択必修	2	
		算数	初等数学		選択必修	2	
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2	
		生活	生活科概説		選択必修	2	
		音楽	小学音楽		選択必修	1	
			小学ピアノ		選択必修	1	
		図画工作	小学図画		選択必修	1	
			小学工作		選択必修	1	
		家庭	小学家庭		選択必修	2	
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1	
			小学体育Ⅱ		選択必修	1	
		外国語	小学英語		選択必修	2	
		初等教科及び教職に関する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必修		
	社会		初等社会科教育法	必修		2	
	算数		算数科教育法	必修		2	
	理科		初等理科教育法	必修		2	
	生活		生活科教育法	必修		2	
	音楽		初等音楽科教育法	必修		2	
	図画工作		図工科教育法	必修		2	
	体育		体育科教育法	必修		2	
	家庭		初等家庭科教育法	必修		2	
	外国語		初等外国語教育法	必修		2	
		小 計				30	
	大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2		
		教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1		
		教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1		
教育統計Ⅰ		必修		2			
教育評価			選択	2			
	小 計			6			
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必修		2			
	教職概論	必修		2			
	現代の教育と社会	必修		2			
	教育心理学	必修		2			
	特別支援教育の基礎	必修		2			
	幼児・児童発達論		選択	2			
児童・生徒発達論		選択	2				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必修		2			
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2			
	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2			
	生徒・進路指導論	必修		2			
	教育相談	必修		2			
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必修		3			
	小学校教育実習Ⅱ	必修		2			
	教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2			
	小 計			27			

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考
幼小発達教育に関する科目		子どもの福祉と家族支援		選択必修	2	2
		社会的養護の理解		選択必修	2	
		道徳教育と学級経営		選択	2	
		人権教育論		選択	2	
		教育史		選択	2	
		小 計			2	
特別支援教育に関する科目	特別支援教育の基礎理論に関する科目 (A)	特別支援教育総論	必修		2	
	知的障害者に関する教育の領域 (B)	知的障害児心理学	必修		2	
		知的障害者の生理・病理	必修		2	
		障害児学習指導法Ⅰ	必修		2	
		障害児の心理臨床と指導法	必修		2	
	肢体不自由者に関する教育の領域 (C)	肢体不自由者の心理・生理・病理	必修		2	
		障害児学習指導法Ⅱ	必修		2	
	病弱者に関する教育の領域 (D)	病弱者・情緒障害者の心理・生理・病理	必修		2	
		障害児学習指導法Ⅲ	必修		2	
	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の免許に関する科目 (E)	障害児心理学	必修		2	
		視覚障害者の生理・病理	必修		2	
		聴覚障害者の生理・病理	必修		2	
		発達障害児心理療法	必修		2	
		重複障害教育論	必修		2	
障害児心理学測定法・指導法			選択	1		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習 (F)	障害児教育実習	必修		3		
	小 計			31		
	自由選択科目		選択	1	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。	
	卒業研究	必修		4		
	合計			107		

【小中連携教育コース 初等教育主免専攻（国語科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考	
課程共通科目	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2	2	
		発達障害児心理療法		選択必修	2		
		小中連携教育内容研究	必修		2		
		小中連携教育学	必修		2		
		小 計			6		
初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	10 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。
		社会	小学社会		選択必修	2	
		算数	初等数学		選択必修	2	
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2	
		生活	生活科概説		選択必修	2	
		音楽	小学音楽		選択必修	1	
			小学ピアノ		選択必修	1	
		図画工作	小学図画		選択必修	1	
			小学工作		選択必修	1	
		家庭	小学家庭		選択必修	2	
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1	
			小学体育Ⅱ		選択必修	1	
		外国語	小学英語		選択必修	2	
		初等教科及び教職に関する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必修		
	社会		初等社会科教育法	必修		2	
	算数		算数科教育法	必修		2	
	理科		初等理科教育法	必修		2	
	生活		生活科教育法	必修		2	
	音楽		初等音楽科教育法	必修		2	
	図画工作		図工科教育法	必修		2	
	体育		体育科教育法	必修		2	
	家庭		初等家庭科教育法	必修		2	
	外国語		初等外国語教育法	必修		2	
		小 計			30		
	初等教科及び教職に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2	
			教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1	
			教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1	
道徳教育と学級経営				選択	2		
教育評価				選択	2		
教育統計Ⅰ				選択	2		
人権教育論				選択	2		
	小 計			4			
初等教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必修		2		
		教職概論	必修		2		
		現代の教育と社会	必修		2		
		教育心理学	必修		2		
		特別支援教育の基礎	必修		2		
		幼児・児童発達論		選択	2		
初等教科及び教職に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必修		2		
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2		
		教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2		
		生徒・進路指導論	必修		2		
		教育相談	必修		2		
初等教科及び教職に関する科目	教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
		小学校教育実習Ⅱ	必修		2		
		教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2		
		小 計			27		

科目区分		授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考
中等教科及び教職に関する科目（国語科）	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	国語学概論	必修		2	
		国語表現論	必修		2	
		国語学演習Ⅰ		選択	2	
		国語学演習Ⅱ		選択	2	
		国語学演習Ⅲ		選択	2	
		国語学演習Ⅳ		選択	2	
	国文学（国文学史を含む。）	国文学論（国文学史を含む。）	必修		2	
		国文学演習Ⅰ		選択	2	
		国文学演習Ⅱ		選択	2	
		国文学演習Ⅲ		選択	2	
		国文学演習Ⅳ		選択	2	
	漢文学	中国文学概説	必修		2	
		中国古典学演習Ⅰ		選択	2	
		中国古典学演習Ⅱ		選択	2	
		中国古典学演習Ⅲ		選択	2	
		中国古典学演習Ⅳ		選択	2	
	書道（書写を中心とする。）	書写	必修		2	
		書道Ⅰ		選択	2	
		書道Ⅱ		選択	2	
		書道Ⅲ		選択	2	
		書道Ⅳ		選択	2	
		書道史		選択	2	
		書論・鑑賞		選択	2	
	指導法	中等国語科教育法Ⅰ	必修		2	
		中等国語科教育法Ⅱ	必修		2	
		中等国語科教育法Ⅲ		選択	2	
		中等国語科教育法Ⅳ		選択	2	
書道科教育法Ⅰ			選択	2		
書道科教育法Ⅱ			選択	2		
複数の事項を合わせた内容に係る科目		高校国語表現とその研究		選択	2	
	高校書道・国語概論とその研究		選択	2		
	小 計			14		
教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2		
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
	中学校教育実習Ⅱ		選択	2	事前・事後指導の1単位を含む。	
	高等学校教育実習		選択	3		
	小 計			3		
自由選択科目				選択	19	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究			必修		4	
合計					107	

【小中連携教育コース 中等教育主免専攻（国語科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考		
課程共通科目	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2			
		発達障害児心理療法		選択必修	2			
		小中連携教育内容研究	必修		2			
		小中連携教育学	必修		2			
	小計				6			
初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	10科目区分から4単位選択必修 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。	
		社会	小学社会		選択必修	2		
		算数	初等数学		選択必修	2		
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2		
		生活	生活科概説		選択必修	2		
		音楽	小学音楽		選択必修	1		
			小学ピアノ		選択必修	1		
		図画工作	小学図画		選択必修	1		
			小学工作		選択必修	1		
		家庭	小学家庭		選択必修	2		
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1		
			小学体育Ⅱ		選択必修	1		
		外国語	小学英語		選択必修	2		
		初等教科及び教職に関する科目	初等教科及び教職に関する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法			選択必修
	社会			初等社会科教育法		選択必修	2	
	算数			算数科教育法		選択必修	2	
	理科			初等理科教育法		選択必修	2	
	生活			生活科教育法		選択必修	2	
	音楽			初等音楽科教育法		選択必修	2	
	図画工作			図工科教育法		選択必修	2	
	体育			体育科教育法		選択必修	2	
	家庭			初等家庭科教育法		選択必修	2	
	外国語			初等外国語教育法		選択必修	2	
		小計				16		
	初等教科及び教職に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2		
教育実践フィールド演習Ⅱ			必修		1			
教育実践フィールド演習Ⅲ			必修		1			
道徳教育と学級経営				選択	2			
教育評価				選択	2			
教育統計Ⅰ				選択	2			
人権教育論				選択	2			
小計						4		
初等教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必修		2			
		教職概論	必修		2			
		現代の教育と社会	必修		2			
		教育心理学	必修		2			
		特別支援教育の基礎	必修		2			
		幼児・児童発達論		選択	2			
初等教科及び教職に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必修		2			
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2			
		教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2			
		生徒・進路指導論	必修		2			
		教育相談	必修		2			
		小学校教育実習Ⅰ	必修		3			
初等教科及び教職に関する科目	教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅱ		選択	2	事前・事後指導の1単位を含む。		
		教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2			
		小計					25	

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
中等教科及び教職に関する科目(国語科)	教科及び教科の指導法に関する科目	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学概論	必修		2	「教科及び教科の指導法に関する科目」の修得方法について、必修及び選択必修の単位数を除いた4単位は、※を付した科目以外から修得するものとする。
			国語表現論	必修		2	
			国語学演習Ⅰ		選択必修	2	
			国語学演習Ⅱ		選択必修	2	
			国語学演習Ⅲ		選択	2	
			国語学演習Ⅳ		選択	2	
	国文学(国文学史を含む。)	国文学論(国文学史を含む。)	必修		2		
		国文学演習Ⅰ		選択必修	2		
		国文学演習Ⅱ		選択必修	2		
		国文学演習Ⅲ		選択	2		
	漢文学	中国文学概説	必修		2		
		中国古典学演習Ⅰ		選択必修	2		
		中国古典学演習Ⅱ		選択必修	2		
		中国古典学演習Ⅲ		選択	2		
	書道(書写を中心とする。)	書写	必修		2		
		書道Ⅰ		選択必修	2		
		書道Ⅱ		選択必修	2		
		書道Ⅲ		選択	2		
		書道Ⅳ		選択	2		
		書道史※		選択	2		
	指導法	書論・鑑賞※		選択	2		
		中等国語科教育法Ⅰ	必修		2		
		中等国語科教育法Ⅱ	必修		2		
		中等国語科教育法Ⅲ	必修		2		
		中等国語科教育法Ⅳ	必修		2		
		書道科教育法Ⅰ※		選択	2		
	複数の事項を合わせた内容に係る科目	書道科教育法Ⅱ※		選択	2		
高校国語表現とその研究※			選択	2			
	高校書道・国語概論とその研究※		選択	2			
	小 計			30			
教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2			
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。		
	中学校教育実習Ⅱ	必修		2			
	高等学校教育実習		選択	3	事前・事後指導の1単位を含む。		
	小 計			5			
	自由選択科目		選択	17	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。		
	卒業研究	必修		4			
	合計			107			

【小中連携教育コース 初等教育主免専攻（社会科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考		
課程共通科目	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2	2		
		発達障害児心理療法		選択必修	2			
		小中連携教育内容研究	必修		2			
		小中連携教育学	必修		2			
		小 計			6			
初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	10科目区分から10単位選択必修 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。	
		社会	小学社会		選択必修	2		
		算数	初等数学		選択必修	2		
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2		
		生活	生活科概説		選択必修	2		
		音楽	小学音楽		選択必修	1		
			小学ピアノ		選択必修	1		
		図画工作	小学図画		選択必修	1		
			小学工作		選択必修	1		
		家庭	小学家庭		選択必修	2		
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1		
			小学体育Ⅱ		選択必修	1		
		外国語	小学英語		選択必修	2		
				小 計				10
			国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必修		2	
			社会	初等社会科教育法	必修		2	
			算数	算数科教育法	必修		2	
			理科	初等理科教育法	必修		2	
			生活	生活科教育法	必修		2	
			音楽	初等音楽科教育法	必修		2	
			図画工作	図工科教育法	必修		2	
			体育	体育科教育法	必修		2	
			家庭	初等家庭科教育法	必修		2	
			外国語	初等外国語教育法	必修		2	
			小 計				30	
		大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2		
			教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1		
		教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1			
		道徳教育と学級経営		選択	2			
		教育評価		選択	2			
		教育統計Ⅰ		選択	2			
		人権教育論		選択	2			
		小 計				4		
	教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必修		2			
		教職概論	必修		2			
		現代の教育と社会	必修		2			
		教育心理学	必修		2			
		特別支援教育の基礎	必修		2			
		幼児・児童発達論		選択	2			
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必修		2			
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2			
		教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2			
		生徒・進路指導論	必修		2			
		教育相談	必修		2			
	教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。		
		小学校教育実習Ⅱ	必修		2			
		教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2			
		小 計				27		

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
中等教科及び教職に関する科目（社会科）	教科及び教科の指導法に関する科目	日本史・外国史	日本史要説	必修		2	
			西洋史要説	必修		2	
			東洋史要説	必修		2	
			日本史特別講義Ⅰ		選択	2	
			日本史特別講義Ⅱ		選択	2	
			日本史特別講義Ⅲ		選択	2	
			日本史特別講義Ⅳ		選択	2	
			日本史特別講義Ⅴ		選択	2	
			西洋史特別講義		選択	2	
			日本史演習Ⅰ		選択	2	
			日本史演習Ⅱ		選択	2	
			日本史演習Ⅲ		選択	2	
			日本史演習Ⅳ		選択	2	
			西洋史演習Ⅰ		選択	2	
			西洋史演習Ⅱ		選択	2	
	西洋史演習Ⅲ		選択	2			
	西洋史演習Ⅳ		選択	2			
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学要説	必修		2		
		自然地理学要説	必修		2		
		地誌学要説	必修		2		
		地理学演習Ⅰ		選択	2		
		地理学演習Ⅱ		選択	2		
	法律学，政治学	法学要説		選択必修	2		
		政治学要説		選択必修	2		
		国際関係学要説		選択	2		
		法学特別講義		選択	2		
		政治学特別講義		選択	2		
法学演習Ⅰ			選択	2			
法学演習Ⅱ			選択	2			
法学演習Ⅲ			選択	2			
法学演習Ⅳ		選択	2				
社会学，経済学	社会学要説		選択必修	2			
	経済学要説		選択必修	2			
	社会学特別講義		選択	2			
	経済学特別講義		選択	2			
哲学，倫理学，宗教学	倫理学要説		選択必修	2			
	哲学要説		選択必修	2			
	倫理学特別講義		選択	2			
	倫理学演習Ⅰ		選択	2			
	倫理学演習Ⅱ		選択	2			
	倫理学演習Ⅲ		選択	2			
指導法	中等社会科教育法Ⅰ （社会・地歴）		選択必修	2			
	中等社会科教育法Ⅱ （社会・公民）		選択必修	2			
	中等社会科教育法Ⅲ （社会・地歴）		選択	2			
	中等社会科教育法Ⅳ （社会・公民）		選択	2			
	小 計			20			
教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2			
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。		
	中学校教育実習Ⅱ		選択	2			
	高等学校教育実習		選択	3	事前・事後指導の1単位を含む。		
	小 計			3			

科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考
自由選択科目			選択	13	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必修		4	
合計				107	

【小中連携教育コース 中等教育主専攻（社会科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考		
課程 共通 科目 ス	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2	2		
		発達障害児心理療法		選択必修	2			
		小中連携教育内容研究	必修		2			
		小中連携教育学	必修		2			
		小 計			6			
初等 教科 及び 教科 の指 導法 に關 する 科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	4	10科目区分から4単位選択必修 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。	
	社会	小学社会		選択必修	2			
	算数	初等数学		選択必修	2			
	理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2			
	生活	生活科概説		選択必修	2			
	音楽	小学声楽		選択必修	1			
		小学ピアノ		選択必修	1			
	図画工作	小学図画		選択必修	1			
		小学工作		選択必修	1			
	家庭	小学家庭		選択必修	2			
	体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1			
		小学体育Ⅱ		選択必修	1			
	外国語	小学英語		選択必修	2			
	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法		選択必修	2	4	12	10科目区分から12単位選択必修 （音楽、図画工作又は体育から2教科4単位以上を含める。）
	社会	初等社会科教育法		選択必修	2			
	算数	算数科教育法		選択必修	2			
	理科	初等理科教育法		選択必修	2			
	生活	生活科教育法		選択必修	2			
	音楽	初等音楽科教育法		選択必修	2			
	図画工作	図工科教育法		選択必修	2			
体育	体育科教育法		選択必修	2				
家庭	初等家庭科教育法		選択必修	2				
外国語	初等外国語教育法		選択必修	2				
		小 計			16			
大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ		必修		2	4		
	教育実践フィールド演習Ⅱ		必修		1			
	教育実践フィールド演習Ⅲ		必修		1			
	道徳教育と学級経営		選択		2			
	教育評価		選択		2			
	教育統計Ⅰ		選択		2			
	人権教育論		選択		2			
		小 計			4			
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論		必修		2	2		
	教職概論		必修		2			
	現代の教育と社会		必修		2			
	教育心理学		必修		2			
	特別支援教育の基礎		必修		2			
幼児・児童発達論		選択		2				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践		必修		2	2		
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		必修		2			
	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）		必修		2			
	生徒・進路指導論		必修		2			
	教育相談		必修		2			
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ		必修		3	2	事前・事後指導の1単位を含む。	
	小学校教育実習Ⅱ		選択		2			
	教職実践演習（幼・小・中・高）		必修		2			
		小 計			25			

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
中等教科及び教職に関する科目（社会科）	教科及び教科の指導法に関する科目	日本史・外国史	日本史要説	必修		2	
			西洋史要説	必修		2	
			東洋史要説	必修		2	
			日本史特別講義Ⅰ		選択	2	
			日本史特別講義Ⅱ		選択	2	
			日本史特別講義Ⅲ		選択	2	
			日本史特別講義Ⅳ		選択	2	
			日本史特別講義Ⅴ		選択	2	
			西洋史特別講義		選択	2	
			日本史演習Ⅰ		選択	2	
			日本史演習Ⅱ		選択	2	
			日本史演習Ⅲ		選択	2	
			日本史演習Ⅳ		選択	2	
			西洋史演習Ⅰ		選択	2	
			西洋史演習Ⅱ		選択	2	
			西洋史演習Ⅲ		選択	2	
		西洋史演習Ⅳ		選択	2		
		地理学（地誌を含む。）	人文地理学要説	必修		2	
			自然地理学要説	必修		2	
			地誌学要説	必修		2	
			地理学演習Ⅰ		選択	2	
			地理学演習Ⅱ		選択	2	
		法律学，政治学	法学要説		選択必修	2	
			政治学要説		選択必修	2	
			国際関係学要説		選択	2	
			法学特別講義		選択	2	
			政治学特別講義		選択	2	
			法学演習Ⅰ		選択	2	
			法学演習Ⅱ		選択	2	
			法学演習Ⅲ		選択	2	
		法学演習Ⅳ		選択	2		
		社会学，経済学	社会学要説		選択必修	2	
			経済学要説		選択必修	2	
			社会学特別講義		選択	2	
			経済学特別講義		選択	2	
		哲学，倫理学，宗教学	倫理学要説		選択必修	2	
			哲学要説		選択必修	2	
			倫理学特別講義		選択	2	
			倫理学演習Ⅰ		選択	2	
			倫理学演習Ⅱ		選択	2	
			倫理学演習Ⅲ		選択	2	
		倫理学演習Ⅳ		選択	2		
		指導法	中等社会科教育法Ⅰ （社会・地歴）	必修		2	
			中等社会科教育法Ⅱ （社会・公民）	必修		2	
			中等社会科教育法Ⅲ （社会・地歴）	必修		2	
			中等社会科教育法Ⅳ （社会・公民）	必修		2	
			小 計			30	
教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2			
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。		
	中学校教育実習Ⅱ	必修		2			
	高等学校教育実習		選択	3			
	小 計			5	事前・事後指導の1単位を含む。		

科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択		単位数	備 考
自由選択科目			選択	17		本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必修			4	
合計					107	

【小中連携教育コース 初等教育主免専攻（数学科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考	
課程共通科目	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2	2	
		発達障害児心理療法		選択必修	2		
		小中連携教育内容研究	必修		2		
		小中連携教育学	必修		2		
		小 計			6		
初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	10 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。
		社会	小学社会		選択必修	2	
		算数	初等数学		選択必修	2	
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2	
		生活	生活科概説		選択必修	2	
		音楽	小学音楽		選択必修	1	
			小学ピアノ		選択必修	1	
		図画工作	小学図画		選択必修	1	
			小学工作		選択必修	1	
		家庭	小学家庭		選択必修	2	
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1	
			小学体育Ⅱ		選択必修	1	
		外国語	小学英語		選択必修	2	
		初等教科及び教職に関する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必修		
	社会		初等社会科教育法	必修		2	
	算数		算数科教育法	必修		2	
	理科		初等理科教育法	必修		2	
	生活		生活科教育法	必修		2	
	音楽		初等音楽科教育法	必修		2	
	図画工作		図工科教育法	必修		2	
	体育		体育科教育法	必修		2	
	家庭		初等家庭科教育法	必修		2	
	外国語		初等外国語教育法	必修		2	
			小 計			30	
	初等教科及び教職に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2	
			教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1	
			教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1	
道徳教育と学級経営				選択	2		
教育評価				選択	2		
教育統計Ⅰ				選択	2		
人権教育論				選択	2		
		小 計			4		
初等教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必修		2		
		教職概論	必修		2		
		現代の教育と社会	必修		2		
		教育心理学	必修		2		
		特別支援教育の基礎	必修		2		
		幼児・児童発達論		選択	2		
初等教科及び教職に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必修		2		
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2		
		教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2		
		生徒・進路指導論	必修		2		
		教育相談	必修		2		
初等教科及び教職に関する科目	教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
		小学校教育実習Ⅱ	必修		2		
		教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2		
		小 計			27		

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
中等教科及び教職に関する科目（数学科）	教科及び教科の指導法に関する科目	代数学	代数学基礎Ⅰ	必修		2	
			代数学基礎Ⅱ		選択	2	
			代数学Ⅰ		選択	2	
			代数学Ⅱ		選択	2	
			代数学研究Ⅰ		選択	2	
			代数学研究Ⅱ		選択	2	
			代数学研究Ⅲ		選択	2	
		幾何学	幾何学基礎Ⅰ	必修		2	
			幾何学基礎Ⅱ		選択	2	
			幾何学Ⅰ		選択	2	
			幾何学Ⅱ		選択	2	
			幾何学研究Ⅰ		選択	2	
			幾何学研究Ⅱ		選択	2	
			幾何学研究Ⅲ		選択	2	
		解析学	解析学基礎Ⅰ	必修		2	
			解析学基礎Ⅱ		選択	2	
			解析学Ⅰ		選択	2	
			解析学Ⅱ		選択	2	
			解析学研究Ⅰ		選択	2	
			解析学研究Ⅱ		選択	2	
			解析学研究Ⅲ		選択	2	
	確率論、統計学	確率論基礎		選択必修	2	2	
		統計学基礎		選択必修	2		
	コンピュータ	コンピュータ	必修		2		
	指導法	数学科教育法Ⅰ	必修		2		
		数学科教育法Ⅱ		選択	2		
		数学科教育法Ⅲ		選択	2		
数学科教育法Ⅳ			選択	2			
	小 計			12			
教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2			
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。		
	中学校教育実習Ⅱ		選択	2			
	高等学校教育実習		選択	3	事前・事後指導の1単位を含む。		
	小 計			3			
	自由選択科目		選択	21	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。		
	卒業研究	必修		4			
	合計			107			

【小中連携教育コース 中等教育主免専攻（数学科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考		
課程共通科目	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2			
		発達障害児心理療法		選択必修	2			
		小中連携教育内容研究	必修		2			
		小中連携教育学	必修		2			
	小計				6			
初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	10科目区分から4単位選択必修 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。	
		社会	小学社会		選択必修	2		
		算数	初等数学		選択必修	2		
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2		
		生活	生活科概説		選択必修	2		
		音楽	小学音楽		選択必修	1		
			小学ピアノ		選択必修	1		
		図画工作	小学図画		選択必修	1		
			小学工作		選択必修	1		
		家庭	小学家庭		選択必修	2		
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1		
			小学体育Ⅱ		選択必修	1		
		外国語	小学英語		選択必修	2		
		初等教科及び教職に関する科目	大学が独自に設定する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法			選択必修
	社会			初等社会科教育法		選択必修	2	
	算数			算数科教育法		選択必修	2	
	理科			初等理科教育法		選択必修	2	
	生活			生活科教育法		選択必修	2	
	音楽			初等音楽科教育法		選択必修	2	
	図画工作			図工科教育法		選択必修	2	
体育	体育科教育法				選択必修	2		
家庭	初等家庭科教育法				選択必修	2		
外国語	初等外国語教育法				選択必修	2		
	小計				16			
初等教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2	事前・事後指導の1単位を含む。		
		教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1			
		教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1			
		道徳教育と学級経営		選択	2			
		教育評価		選択	2			
		教育統計Ⅰ		選択	2			
		人権教育論		選択	2			
	小計				4			
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育原論	必修		2			
		教職概論	必修		2			
現代の教育と社会		必修		2				
教育心理学		必修		2				
特別支援教育の基礎		必修		2				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	幼児・児童発達論		選択	2				
	道徳教育の理論と実践	必修		2				
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2				
	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2				
	生徒・進路指導論	必修		2				
教育実践に関する科目	教育相談	必修		2				
	小学校教育実習Ⅰ	必修		3				
	小学校教育実習Ⅱ		選択	2				
	教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2				
	小計				25			

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
中等教科及び教職に関する科目（数学科）	教科及び教科の指導法に関する科目	代数学	代数学基礎Ⅰ	必修		2	
			代数学基礎Ⅱ		選択	2	
			代数学Ⅰ		選択	2	
			代数学Ⅱ		選択	2	
			代数学研究Ⅰ		選択	2	
			代数学研究Ⅱ		選択	2	
			代数学研究Ⅲ		選択	2	
		幾何学	幾何学基礎Ⅰ	必修		2	
			幾何学基礎Ⅱ		選択	2	
			幾何学Ⅰ		選択	2	
			幾何学Ⅱ		選択	2	
			幾何学研究Ⅰ		選択	2	
			幾何学研究Ⅱ		選択	2	
			幾何学研究Ⅲ		選択	2	
		解析学	解析学基礎Ⅰ	必修		2	
			解析学基礎Ⅱ		選択	2	
			解析学Ⅰ		選択	2	
			解析学Ⅱ		選択	2	
			解析学研究Ⅰ		選択	2	
			解析学研究Ⅱ		選択	2	
			解析学研究Ⅲ		選択	2	
	確率論、統計学	確率論基礎		選択必修	2	2	
		統計学基礎		選択必修	2		
	コンピュータ	コンピュータ	必修		2		
	指導法	数学科教育法Ⅰ	必修		2		
		数学科教育法Ⅱ	必修		2		
		数学科教育法Ⅲ	必修		2		
数学科教育法Ⅳ		必修		2			
		小 計			30		
教育の基礎的理解に関する科目		教育史		選択	2		
教育実践に関する科目		中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
		中学校教育実習Ⅱ	必修		2		
		高等学校教育実習		選択	3	事前・事後指導の1単位を含む。	
		小 計			5		
自由選択科目					選択	17	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究				必修		4	
合計						107	

【小中連携教育コース 初等教育主免専攻（理科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考	
課程共通科目	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2	2	
		発達障害児心理療法		選択必修	2		
		小中連携教育内容研究	必修		2		
		小中連携教育学	必修		2		
		小 計			6		
初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	10 10科目区分から10単位選択必修 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。
		社会	小学社会		選択必修	2	
		算数	初等数学		選択必修	2	
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2	
		生活	生活科概説		選択必修	2	
		音楽	小学音楽		選択必修	1	
			小学ピアノ		選択必修	1	
		図画工作	小学図画		選択必修	1	
			小学工作		選択必修	1	
		家庭	小学家庭		選択必修	2	
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1	
			小学体育Ⅱ		選択必修	1	
		外国語	小学英語		選択必修	2	
		国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必修		2	
		社会	初等社会科教育法	必修		2	
		算数	算数科教育法	必修		2	
理科	初等理科教育法	必修		2			
生活	生活科教育法	必修		2			
音楽	初等音楽科教育法	必修		2			
図画工作	図工科教育法	必修		2			
体育	体育科教育法	必修		2			
家庭	初等家庭科教育法	必修		2			
外国語	初等外国語教育法	必修		2			
		小 計			30		
初等教科及び教職に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2		
		教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1		
		教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1		
		道徳教育と学級経営		選択	2		
		教育評価		選択	2		
		教育統計Ⅰ		選択	2		
		人権教育論		選択	2		
		小 計			4		
初等教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必修		2		
		教職概論	必修		2		
		現代の教育と社会	必修		2		
		教育心理学	必修		2		
		特別支援教育の基礎	必修		2		
幼児・児童発達論		選択	2				
初等教科及び教職に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必修		2		
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2		
		教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2		
		生徒・進路指導論	必修		2		
		教育相談	必修		2		
初等教科及び教職に関する科目	教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
		小学校教育実習Ⅱ	必修		2		
		教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2		
		小 計			27		

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考
中等教科及び教職に関する科目（理科）	教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	物理学概論A	必修		2	
			物理学概論B	必修		2	
			物理学実験	必修		1	
			エネルギー科学		選択	2	
			放射線科学		選択	2	
			量子物理		選択	2	
			化学	化学概論A	必修		
		化学概論B	必修		2		
		化学実験	必修		1		
		物理化学		選択	2		
		無機化学		選択	2		
		有機化学		選択	2		
		生物学	生物学概論A	必修		2	
		生物学概論B	必修		2		
		生物学実験	必修		1		
		植物分類系統学		選択	2		
		動物生理科学		選択	2		
		フィールド生物演習A		選択	1		
		フィールド生物演習B		選択	1		
		地学	地学概論A	必修		2	
		地学概論B	必修		2		
	地学実験	必修		1			
	岩石鉱物科学		選択	2			
	地球生命科学		選択	2			
	地学フィールド実習A		選択	1			
	地学フィールド実習B		選択	1			
	指導法	中等理科教育法Ⅰ	必修		2		
	中等理科教育法Ⅱ		選択	2			
	中等理科教育法Ⅲ		選択	2			
	中等理科教育法Ⅳ		選択	2			
	理科教育学演習		選択	2			
	理科教育学実験		選択	2			
		小 計			22		
	教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2		
	教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
		中学校教育実習Ⅱ		選択	2	事前・事後指導の1単位を含む。	
		高等学校教育実習		選択	3		
		小 計			3		
	自由選択科目			選択	11	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。	
	卒業研究		必修		4		
	合計				107		

【小中連携教育コース 中等教育主免専攻（理科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考			
課程共通科目	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2	2			
		発達障害児心理療法		選択必修	2				
		小中連携教育内容研究	必修		2				
		小中連携教育学	必修		2				
	小計				6				
初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	4	10科目区分から4単位選択必修 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。	
		社会	小学社会		選択必修	2			
		算数	初等数学		選択必修	2			
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2			
		生活	生活科概説		選択必修	2			
		音楽	小学音楽		選択必修	1			
			小学ピアノ		選択必修	1			
		図画工作	小学図画		選択必修	1			
			小学工作		選択必修	1			
		家庭	小学家庭		選択必修	2			
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1			
			小学体育Ⅱ		選択必修	1			
		外国語	小学英語		選択必修	2			
		初等教科及び教職に関する科目	初等教科及び教職に関する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法				選択必修
	社会			初等社会科教育法		選択必修	2		
	算数			算数科教育法		選択必修	2		
	理科			初等理科教育法		選択必修	2		
	生活			生活科教育法		選択必修	2		
	音楽			初等音楽科教育法		選択必修	2		
	図画工作			図工科教育法		選択必修	2		
体育	体育科教育法				選択必修	2			
家庭	初等家庭科教育法				選択必修	2			
外国語	初等外国語教育法				選択必修	2			
	小計				16				
初等教科及び教職に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2	4			
		教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1				
		教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1				
		道徳教育と学級経営		選択	2				
		教育評価		選択	2				
		教育統計Ⅰ		選択	2				
		人権教育論		選択	2				
		小計						4	
初等教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必修		2	4			
		教職概論	必修		2				
		現代の教育と社会	必修		2				
		教育心理学	必修		2				
		特別支援教育の基礎	必修		2				
		幼児・児童発達論		選択	2				
初等教科及び教職に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必修		2	4			
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2				
		教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2				
		生徒・進路指導論	必修		2				
		教育相談	必修		2				
		小学校教育実習Ⅰ	必修		3				
初等教科及び教職に関する科目	教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅱ		選択	2	4	事前・事後指導の1単位を含む。		
		教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2				
		小計						25	

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
中等 教科及び 教職に 関する 科目 (理科)	物理学	物理学概論A	物理学概論A	必修		2	「教科及び教科の指導法に関する科目」の修得方法について、必修及び選択必修の単位数を除いた2単位は、※を付した科目以外から修得するものとする。
		物理学概論B	物理学概論B	必修		2	
		物理学実験	物理学実験	必修		1	
		エネルギー科学	エネルギー科学		選択	2	
		放射線科学	放射線科学		選択	2	
		量子物理	量子物理		選択	2	
	化学	化学概論A	化学概論A	必修		2	
		化学概論B	化学概論B	必修		2	
		化学実験	化学実験	必修		1	
		物理化学	物理化学		選択	2	
		無機化学	無機化学		選択	2	
		有機化学	有機化学		選択	2	
	生物学	生物学概論A	生物学概論A	必修		2	
		生物学概論B	生物学概論B	必修		2	
		生物学実験	生物学実験	必修		1	
		植物分類系統学	植物分類系統学		選択	2	
		動物生理科学	動物生理科学		選択	2	
		フィールド生物演習A	フィールド生物演習A		選択	1	
		フィールド生物演習B	フィールド生物演習B		選択	1	
	地学	地学概論A	地学概論A	必修		2	
		地学概論B	地学概論B	必修		2	
		地学実験	地学実験	必修		1	
		岩石鉱物科学	岩石鉱物科学		選択	2	
		地球生命科学	地球生命科学		選択	2	
		地学フィールド実習A	地学フィールド実習A		選択	1	
	指導法	地学フィールド実習B	地学フィールド実習B		選択	1	
		中等理科教育法Ⅰ	中等理科教育法Ⅰ	必修		2	
		中等理科教育法Ⅱ	中等理科教育法Ⅱ	必修		2	
		中等理科教育法Ⅲ	中等理科教育法Ⅲ	必修		2	
		中等理科教育法Ⅳ	中等理科教育法Ⅳ	必修		2	
		理科教育学演習※	理科教育学演習※		選択	2	
	理科教育学実験※	理科教育学実験※		選択	2		
		小計				30	
教育の基礎的理解に関する科目	教育史			選択	2		
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
	中学校教育実習Ⅱ	中学校教育実習Ⅱ	必修		2		
	高等学校教育実習	高等学校教育実習		選択	3	事前・事後指導の1単位を含む。	
	小計				5		
	自由選択科目			選択	17	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。	
	卒業研究		必修		4		
	合計				107		

【小中連携教育コース 初等教育主免専攻（音楽科）】

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
課程 共通 科目 ス	小中連携教育		児童・生徒発達論		選択必修	2	2
			発達障害児心理療法		選択必修	2	
			小中連携教育内容研究	必修		2	
			小中連携教育学	必修		2	
			小 計			6	
初等 教科 及び 教科 の 指導 法 に 関 す る 科 目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	10 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。
		社会	小学社会		選択必修	2	
		算数	初等数学		選択必修	2	
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2	
		生活	生活科概説		選択必修	2	
		音楽	小学音楽		選択必修	1	
			小学ピアノ		選択必修	1	
		図画工作	小学図画		選択必修	1	
			小学工作		選択必修	1	
		家庭	小学家庭		選択必修	2	
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1	
			小学体育Ⅱ		選択必修	1	
		外国語	小学英語		選択必修	2	
		初等教科及び教職に関する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必修		
	社会		初等社会科教育法	必修		2	
	算数		算数科教育法	必修		2	
	理科		初等理科教育法	必修		2	
	生活		生活科教育法	必修		2	
	音楽		初等音楽科教育法	必修		2	
	図画工作		図工科教育法	必修		2	
	体育		体育科教育法	必修		2	
	家庭		初等家庭科教育法	必修		2	
	外国語		初等外国語教育法	必修		2	
			小 計				30
	大学が独自に設定する科目		教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2	4
			教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1	
			教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1	
		道徳教育と学級経営		選択	2		
		教育評価		選択	2		
		教育統計Ⅰ		選択	2		
		人権教育論		選択	2		
		小 計				4	
教育の基礎的理解に関する科目		教育原論	必修		2	2	
		教職概論	必修		2		
		現代の教育と社会	必修		2		
		教育心理学	必修		2		
		特別支援教育の基礎	必修		2		
		幼児・児童発達論		選択	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		道徳教育の理論と実践	必修		2	2	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2		
		教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2		
		生徒・進路指導論	必修		2		
		教育相談	必修		2		
教育実践に関する科目		小学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
		小学校教育実習Ⅱ	必修		2		
		教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2		
		小 計				27	

科目区分		授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考
中等教科及び教職に関する科目（音楽科）	ソルフェージュ	ソルフェージュⅠ	必修		1	
		ソルフェージュⅡ		選択	1	
		ソルフェージュⅢ		選択	1	
		ソルフェージュⅣ		選択	1	
	声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）	声楽Ⅰ	必修		1	
		声楽Ⅱ		選択	1	
		声楽Ⅲ		選択	1	
		声楽Ⅳ		選択	1	
		声楽Ⅴ		選択	1	
		声楽Ⅵ		選択	1	
		声楽Ⅶ		選択	1	
		声楽課題研究		選択	1	
		合唱	必修		1	
		日本伝統音楽実習Ⅱ	必修		1	
	器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）	ピアノⅠ	必修		1	
		ピアノⅡ		選択	1	
		ピアノⅢ		選択	1	
		ピアノⅣ		選択	1	
		ピアノⅤ		選択	1	
		ピアノⅥ		選択	1	
		ピアノⅦ		選択	1	
		ピアノ課題研究		選択	1	
		器楽Ⅰ		選択	1	
		器楽Ⅱ		選択	1	
		音楽実践課題研究		選択	1	
		合奏	必修		1	
		伴奏法Ⅰ	必修		1	
		伴奏法Ⅱ		選択	1	
	日本伝統音楽実習Ⅰ	必修		1		
	指揮法	指揮法Ⅰ	必修		1	
		指揮法Ⅱ		選択	1	
	音楽理論・作曲法（編曲法を含む。）・音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）	音楽基礎理論	必修		1	
		音楽理論演習		選択	1	
		作曲法・編曲法	必修		1	
		和声法Ⅰ		選択	1	
		和声法Ⅱ		選択	1	
		和声法Ⅲ		選択	1	
		和声法Ⅳ		選択	1	
		作曲演習		選択	1	
		作曲課題研究		選択	1	
		音楽史Ⅰ	必修		2	
		音楽史Ⅱ		選択	2	
	日本・民族音楽概説	必修		2		
	指導法	中等音楽科教育法Ⅰ	必修		2	
中等音楽科教育法Ⅱ			選択	2		
中等音楽科教育法Ⅲ			選択	2		
中等音楽科教育法Ⅳ			選択	2		
	小 計			17		
教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2		
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
	中学校教育実習Ⅱ		選択	2		
	高等学校教育実習		選択	3	事前・事後指導の1単位を含む。	
	小 計			3		

科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考
自由選択科目			選択	16	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必修		4	
合計				107	

【小中連携教育コース 中等教育主免専攻（音楽科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考		
課程 共通 科目 ス	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2	2		
		発達障害児心理療法		選択必修	2			
		小中連携教育内容研究	必修		2			
		小中連携教育学	必修		2			
		小 計			6			
初等 教科 及び 教科 の指 導法 に關 する 科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	4	10科目区分から4単位選択必修 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。	
	社会	小学社会		選択必修	2			
	算数	初等数学		選択必修	2			
	理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2			
	生活	生活科概説		選択必修	2			
	音楽	小学音楽		選択必修	1			
		小学ピアノ		選択必修	1			
	図画工作	小学図画		選択必修	1			
		小学工作		選択必修	1			
	家庭	小学家庭		選択必修	2			
	体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1			
		小学体育Ⅱ		選択必修	1			
	外国語	小学英語		選択必修	2			
	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法		選択必修	2	4	12	10科目区分から12単位選択必修 （音楽、図画工作又は体育から2教科4単位以上を含める。）
	社会	初等社会科教育法		選択必修	2			
	算数	算数科教育法		選択必修	2			
	理科	初等理科教育法		選択必修	2			
	生活	生活科教育法		選択必修	2			
	音楽	初等音楽科教育法		選択必修	2			
	図画工作	図工科教育法		選択必修	2			
体育	体育科教育法		選択必修	2				
家庭	初等家庭科教育法		選択必修	2				
外国語	初等外国語教育法		選択必修	2				
		小 計			16			
大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ		必修		2			
	教育実践フィールド演習Ⅱ		必修		1			
	教育実践フィールド演習Ⅲ		必修		1			
	道徳教育と学級経営		選択		2			
	教育評価		選択		2			
	教育統計Ⅰ		選択		2			
	人権教育論		選択		2			
		小 計			4			
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論		必修		2			
	教職概論		必修		2			
	現代の教育と社会		必修		2			
	教育心理学		必修		2			
	特別支援教育の基礎		必修		2			
幼児・児童発達論		選択		2				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践		必修		2			
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		必修		2			
	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）		必修		2			
	生徒・進路指導論		必修		2			
	教育相談		必修		2			
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ		必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。		
	小学校教育実習Ⅱ		選択		2			
	教職実践演習（幼・小・中・高）		必修		2			
		小 計			25			

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考
中等教科及び教職に関する科目（音楽科）	教科及び教科の指導法に関する科目	ソルフェージュ	ソルフェージュⅠ	必修		1	「教科及び教科の指導法に関する科目」の修得方法について、必修及び選択必修の単位数を除いた5単位は、※を付した科目以外から修得するものとする。
			ソルフェージュⅡ	必修		1	
			ソルフェージュⅢ		選択	1	
			ソルフェージュⅣ		選択	1	
		声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）	声楽Ⅰ	必修		1	
			声楽Ⅱ		選択	1	
			声楽Ⅲ		選択	1	
			声楽Ⅳ		選択	1	
			声楽Ⅴ		選択	1	
			声楽Ⅵ		選択	1	
			声楽Ⅶ		選択	1	
			声楽課題研究※		選択	1	
			合唱	必修		1	
			日本伝統音楽実習Ⅱ	必修		1	
			器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）	ピアノⅠ	必修		
		ピアノⅡ			選択	1	
		ピアノⅢ			選択	1	
		ピアノⅣ			選択	1	
		ピアノⅤ			選択	1	
		ピアノⅥ			選択	1	
		ピアノⅦ			選択	1	
		ピアノ課題研究※			選択	1	
		器楽Ⅰ			選択	1	
		器楽Ⅱ			選択	1	
		音楽実践課題研究※			選択	1	
		合奏		必修		1	
		伴奏法Ⅰ		必修		1	
		伴奏法Ⅱ			選択	1	
		日本伝統音楽実習Ⅰ	必修		1		
		指揮法	指揮法Ⅰ	必修		1	
			指揮法Ⅱ		選択	1	
		音楽理論・作曲法（編曲法を含む。）・音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）	音楽基礎理論	必修		1	
			音楽理論演習	必修		1	
			作曲法・編曲法	必修		1	
			和声法Ⅰ		選択	1	
			和声法Ⅱ		選択	1	
			和声法Ⅲ		選択	1	
			和声法Ⅳ		選択	1	
			作曲演習		選択	1	
			作曲課題研究※		選択	1	
			音楽史Ⅰ	必修		2	
			音楽史Ⅱ		選択	2	
		日本・民族音楽概説	必修		2		
		指導法	中等音楽科教育法Ⅰ	必修		2	
			中等音楽科教育法Ⅱ	必修		2	
			中等音楽科教育法Ⅲ	必修		2	
			中等音楽科教育法Ⅳ	必修		2	
		小 計			30		
教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2			
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3		事前・事後指導の1単位を含む。	
	中学校教育実習Ⅱ	必修		2			
	高等学校教育実習		選択	3		事前・事後指導の1単位を含む。	
		小 計			5		

科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択		単位数	備 考
自由選択科目			選択		17	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究		必修			4	
合計					107	

【小中連携教育コース 初等教育主免専攻（保健体育科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考	
課程共通科目	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2	2	
		発達障害児心理療法		選択必修	2		
		小中連携教育内容研究	必修		2		
		小中連携教育学	必修		2		
		小 計			6		
初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	10 10科目区分から10単位選択必修 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。
		社会	小学社会		選択必修	2	
		算数	初等数学		選択必修	2	
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2	
		生活	生活科概説		選択必修	2	
		音楽	小学音楽		選択必修	1	
			小学ピアノ		選択必修	1	
		図画工作	小学図画		選択必修	1	
			小学工作		選択必修	1	
		家庭	小学家庭		選択必修	2	
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1	
			小学体育Ⅱ		選択必修	1	
		外国語	小学英語		選択必修	2	
		初等教科及び教職に関する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必修		
	社会		初等社会科教育法	必修		2	
	算数		算数科教育法	必修		2	
	理科		初等理科教育法	必修		2	
	生活		生活科教育法	必修		2	
	音楽		初等音楽科教育法	必修		2	
	図画工作		図工科教育法	必修		2	
	体育		体育科教育法	必修		2	
	家庭		初等家庭科教育法	必修		2	
	外国語		初等外国語教育法	必修		2	
		小 計			30		
	初等教科及び教職に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2	
			教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1	
			教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1	
道德教育と学級経営				選択	2		
教育評価				選択	2		
教育統計Ⅰ				選択	2		
人権教育論				選択	2		
	小 計			4			
初等教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必修		2		
		教職概論	必修		2		
		現代の教育と社会	必修		2		
		教育心理学	必修		2		
		特別支援教育の基礎	必修		2		
		幼児・児童発達論		選択	2		
初等教科及び教職に関する科目	道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道德教育の理論と実践	必修		2		
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2		
		教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2		
		生徒・進路指導論	必修		2		
		教育相談	必修		2		
初等教科及び教職に関する科目	教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
		小学校教育実習Ⅱ	必修		2		
		教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2		
		小 計			27		

科目区分		授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考		
中等教科及び教職に関する科目（保健体育科）	教科及び教科の指導法に関する科目	体育実技	体づくり運動	必修		1		
			器械運動	必修		1		
			水泳	必修		1		
			陸上競技	必修		1		
			ゴール型球技	必修		1		
			ネット型・ベースボール型球技	必修		1		
			ダンス	必修		1		
			柔道		選択必修	1		
			剣道		選択必修	1		
			ヘルスプロモーション実習		選択	1		
			野外・レクリエーション実習		選択	1		
			「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	運動学	必修			2
				体育概論		選択必修		2
				体育心理学		選択必修		2
	体育経営管理学			選択必修	2			
	運動方法学演習	必修			2			
	スポーツ測定評価			選択	2			
	トレーニング科学			選択	2			
	バイオメカニクス			選択	2			
	ヘルスプロモーション演習			選択	2			
	スポーツ文化・社会学			選択	2			
	生理学（運動生理学を含む。）	解剖・生理学	必修		2			
		運動生理学		選択	2			
		運動処方		選択	2			
	衛生学・公衆衛生学	衛生・公衆衛生学	必修		2			
		スポーツ医学		選択	2			
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	学校保健	必修		2			
	指導法	保健体育科教育法Ⅰ	必修		2			
		保健体育科教育法Ⅱ		選択	2			
		保健体育科教育法Ⅲ		選択	2			
		保健体育科教育法Ⅳ		選択	2			
	小 計				22			
	教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2			
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。			
	中学校教育実習Ⅱ		選択	2				
	高等学校教育実習		選択	3	事前・事後指導の1単位を含む。			
小 計				3				
自由選択科目				選択	11	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。		
卒業研究			必修		4			
合計					107			

【小中連携教育コース 中等教育主免専攻（保健体育科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考			
課程共通科目	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2	2			
		発達障害児心理療法		選択必修	2				
		小中連携教育内容研究	必修		2				
		小中連携教育学	必修		2				
	小計				6				
初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	4	10科目区分から4単位選択必修 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。	
		社会	小学社会		選択必修	2			
		算数	初等数学		選択必修	2			
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2			
		生活	生活科概説		選択必修	2			
		音楽	小学音楽		選択必修	1			
			小学ピアノ		選択必修	1			
		図画工作	小学図画		選択必修	1			
			小学工作		選択必修	1			
		家庭	小学家庭		選択必修	2			
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1			
			小学体育Ⅱ		選択必修	1			
		外国語	小学英語		選択必修	2			
		初等教科及び教職に関する科目	大学が独自に設定する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法				選択必修
	社会			初等社会科教育法		選択必修	2		
	算数			算数科教育法		選択必修	2		
	理科			初等理科教育法		選択必修	2		
	生活			生活科教育法		選択必修	2		
	音楽			初等音楽科教育法		選択必修	2		
	図画工作			図工科教育法		選択必修	2		
体育	体育科教育法				選択必修	2			
家庭	初等家庭科教育法				選択必修	2			
外国語	初等外国語教育法				選択必修	2			
	小計				16				
初等教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2	4			
		教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1				
		教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1				
		道徳教育と学級経営		選択	2				
		教育評価		選択	2				
		教育統計Ⅰ		選択	2				
		人権教育論		選択	2				
	小計				4				
	教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必修		2				
		教職概論	必修		2				
現代の教育と社会		必修		2					
教育心理学		必修		2					
特別支援教育の基礎		必修		2					
幼児・児童発達論			選択	2					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必修		2					
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2					
	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2					
	生徒・進路指導論	必修		2					
	教育相談	必修		2					
	小学校教育実習Ⅰ	必修		3					
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅱ		選択	2					
	教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2					
	小計				25				

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
中等教科及び教職に関する科目（保健体育科）	教科及び教科の指導法に関する科目	体育実技	体づくり運動	必修		1	「教科及び教科の指導法に関する科目」の修得方法について、必修及び選択必修の単位数を除いた2単位は、※を付した科目以外から修得するものとする。
			器械運動	必修		1	
			水泳	必修		1	
			陸上競技	必修		1	
			ゴール型球技	必修		1	
			ネット型・ベースボール型球技	必修		1	
			ダンス	必修		1	
			柔道		選択必修	1	
			剣道		選択必修	1	
			ヘルスプロモーション実習		選択	1	
			野外・レクリエーション実習		選択	1	
					1		
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	運動学	必修		2	
	体育概論			選択必修	2		
	体育心理学			選択必修	2		
	体育経営管理学			選択必修	2		
	運動方法学演習		必修		2		
	スポーツ測定評価			選択	2		
	トレーニング科学			選択	2		
	バイオメカニクス			選択	2		
	ヘルスプロモーション演習			選択	2		
	スポーツ文化・社会学※			選択	2		
					2		
	生理学（運動生理学を含む。）	解剖・生理学	必修		2		
		運動生理学		選択	2		
		運動処方		選択	2		
	衛生学・公衆衛生学	衛生・公衆衛生学	必修		2		
スポーツ医学			選択	2			
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	学校保健	必修		2			
指導法	保健体育科教育法Ⅰ	必修		2			
	保健体育科教育法Ⅱ	必修		2			
	保健体育科教育法Ⅲ	必修		2			
	保健体育科教育法Ⅳ	必修		2			
	小 計			30			
教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2			
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。		
	中学校教育実習Ⅱ	必修		2			
	高等学校教育実習		選択	3	事前・事後指導の1単位を含む。		
	小 計			5			
	自由選択科目		選択	17	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。		
	卒業研究	必修		4			
	合計			107			

【小中連携教育コース 初等教育主免専攻（技術科）】

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
課程 共通 科目 ス	小中連携教育		児童・生徒発達論		選択必修	2	2
			発達障害児心理療法		選択必修	2	
			小中連携教育内容研究	必修		2	
			小中連携教育学	必修		2	
			小 計			6	
初等 教科 及び 教科 の 指導 法 に 関 す る 科 目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	10 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。
		社会	小学社会		選択必修	2	
		算数	初等数学		選択必修	2	
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2	
		生活	生活科概説		選択必修	2	
		音楽	小学音楽		選択必修	1	
			小学ピアノ		選択必修	1	
		図画工作	小学図画		選択必修	1	
			小学工作		選択必修	1	
		家庭	小学家庭		選択必修	2	
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1	
			小学体育Ⅱ		選択必修	1	
		外国語	小学英語		選択必修	2	
		初等教科及び教職に関する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必修		
	社会		初等社会科教育法	必修		2	
	算数		算数科教育法	必修		2	
	理科		初等理科教育法	必修		2	
	生活		生活科教育法	必修		2	
	音楽		初等音楽科教育法	必修		2	
	図画工作		図工科教育法	必修		2	
	体育		体育科教育法	必修		2	
	家庭		初等家庭科教育法	必修		2	
	外国語		初等外国語教育法	必修		2	
		小 計			30		
	大学が独自に設定する科目		教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2	
			教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1	
			教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1	
		道徳教育と学級経営		選択	2		
		教育評価		選択	2		
		教育統計Ⅰ		選択	2		
		人権教育論		選択	2		
	小 計			4			
教育の基礎的理解に関する科目		教育原論	必修		2		
		教職概論	必修		2		
		現代の教育と社会	必修		2		
		教育心理学	必修		2		
		特別支援教育の基礎	必修		2		
		幼児・児童発達論		選択	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		道徳教育の理論と実践	必修		2		
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2		
		教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2		
		生徒・進路指導論	必修		2		
		教育相談	必修		2		
教育実践に関する科目		小学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
		小学校教育実習Ⅱ	必修		2		
		教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2		
	小 計			27			

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
中等 教科 及び 教職 に関 する 科目 (技術科)	教科 及び 教科 の指 導法 に関 する 科目	木材加工(製図及び実習を含む。)	生活機器製図	必修		2	
		金属加工(製図及び実習を含む。)	金属加工学	必修		2	
		機械(実習を含む。)	機械工学実習	必修		2	
			機械工学Ⅰ		選択	2	
			機械工学Ⅱ		選択	2	
		電気(実習を含む。)	電気工学実習	必修		2	
			電気工学Ⅰ		選択	2	
			電気工学Ⅱ		選択	2	
			電子回路		選択	2	
		栽培(実習を含む。)	栽培学	必修		2	
		情報とコンピュータ(実習を含む。)	プログラミング実習	必修		2	
			情報社会と倫理		選択	2	
			情報工学Ⅰ		選択	2	
		指導法	情報工学Ⅱ		選択	2	
	中等技術科教育法Ⅰ			選択必修	2		
	中等技術科教育法Ⅱ			選択必修	2		
	中等技術科教育法Ⅲ			選択	2		
		中等技術科教育法Ⅳ		選択	2		
		小 計			14	2	
	教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2		
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3		事前・事後指導の1単位を含む。	
	中学校教育実習Ⅱ		選択	2			
	高等学校教育実習		選択	3		事前・事後指導の1単位を含む。	
	小 計			3			
自由選択科目					選択	19	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究				必修		4	
合計						107	

【小中連携教育コース 中等教育主免専攻（技術科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考		
課程共通科目	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2			
		発達障害児心理療法		選択必修	2			
		小中連携教育内容研究	必修		2			
		小中連携教育学	必修		2			
	小計				6			
初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	10科目区分から4単位選択必修 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。	
		社会	小学社会		選択必修	2		
		算数	初等数学		選択必修	2		
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2		
		生活	生活科概説		選択必修	2		
		音楽	小学音楽		選択必修	1		
			小学ピアノ		選択必修	1		
		図画工作	小学図画		選択必修	1		
			小学工作		選択必修	1		
		家庭	小学家庭		選択必修	2		
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1		
			小学体育Ⅱ		選択必修	1		
		外国語	小学英語		選択必修	2		
		初等教科及び教職に関する科目	大学が独自に設定する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法			選択必修
	社会			初等社会科教育法		選択必修	2	
	算数			算数科教育法		選択必修	2	
	理科			初等理科教育法		選択必修	2	
	生活			生活科教育法		選択必修	2	
	音楽			初等音楽科教育法		選択必修	2	
	図画工作			図工科教育法		選択必修	2	
	体育			体育科教育法		選択必修	2	
	家庭			初等家庭科教育法		選択必修	2	
	外国語			初等外国語教育法		選択必修	2	
		小計				16		
	初等教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2	事前・事後指導の1単位を含む。	
教育実践フィールド演習Ⅱ			必修		1			
教育実践フィールド演習Ⅲ			必修		1			
道徳教育と学級経営				選択	2			
教育評価				選択	2			
教育統計Ⅰ				選択	2			
人権教育論				選択	2			
小計					4			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		教育原論	必修		2			
		教職概論	必修		2			
	現代の教育と社会	必修		2				
	教育心理学	必修		2				
	特別支援教育の基礎	必修		2				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	幼児・児童発達論		選択	2				
	道徳教育の理論と実践	必修		2				
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2				
	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2				
	生徒・進路指導論	必修		2				
教育実践に関する科目	教育相談	必修		2				
	小学校教育実習Ⅰ	必修		3				
	小学校教育実習Ⅱ		選択	2				
	教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2				
	小計				25			

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
中等教科及び教職に関する科目（技術科）	教科及び教科の指導法に関する科目	木材加工（製図及び実習を含む。）	生活機器製図	必修		2	
		金属加工（製図及び実習を含む。）	金属加工学	必修		2	
		機械（実習を含む。）	機械工学実習	必修		2	
			機械工学Ⅰ		選択	2	
			機械工学Ⅱ		選択	2	
		電気（実習を含む。）	電気工学実習	必修		2	
			電気工学Ⅰ		選択	2	
			電気工学Ⅱ		選択	2	
			電子回路		選択	2	
		栽培（実習を含む。）	栽培学	必修		2	
	プログラミング実習		必修		2		
	情報とコンピュータ（実習を含む。）	情報社会と倫理		選択	2		
		情報工学Ⅰ		選択	2		
		情報工学Ⅱ		選択	2		
	指導法	中等技術科教育法Ⅰ	必修		2		
		中等技術科教育法Ⅱ	必修		2		
		中等技術科教育法Ⅲ	必修		2		
中等技術科教育法Ⅳ		必修		2			
	小 計			26			
教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2			
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。		
	中学校教育実習Ⅱ	必修		2			
	高等学校教育実習		選択	3	事前・事後指導の1単位を含む。		
	小 計			5			
自由選択科目				選択	21	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。	
卒業研究			必修		4		
合計					107		

【小中連携教育コース 初等教育主免専攻（家庭科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考	
課程共通科目	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2	2	
		発達障害児心理療法		選択必修	2		
		小中連携教育内容研究	必修		2		
		小中連携教育学	必修		2		
		小 計			6		
初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	10 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。
		社会	小学社会		選択必修	2	
		算数	初等数学		選択必修	2	
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2	
		生活	生活科概説		選択必修	2	
		音楽	小学音楽		選択必修	1	
			小学ピアノ		選択必修	1	
		図画工作	小学図画		選択必修	1	
			小学工作		選択必修	1	
		家庭	小学家庭		選択必修	2	
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1	
			小学体育Ⅱ		選択必修	1	
		外国語	小学英語		選択必修	2	
			国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必修		
	社会		初等社会科教育法	必修		2	
	算数		算数科教育法	必修		2	
	理科		初等理科教育法	必修		2	
	生活		生活科教育法	必修		2	
	音楽		初等音楽科教育法	必修		2	
	図画工作		図工科教育法	必修		2	
	体育		体育科教育法	必修		2	
	家庭		初等家庭科教育法	必修		2	
	外国語		初等外国語教育法	必修		2	
			小 計			30	
	大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2	
		教育実践フィールド演習Ⅱ	教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1	
		教育実践フィールド演習Ⅲ	教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1	
道徳教育と学級経営		道徳教育と学級経営		選択	2		
教育評価		教育評価		選択	2		
教育統計Ⅰ		教育統計Ⅰ		選択	2		
人権教育論		人権教育論		選択	2		
		小 計			4		
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	教育原論	必修		2		
	教職概論	教職概論	必修		2		
	現代の教育と社会	現代の教育と社会	必修		2		
	教育心理学	教育心理学	必修		2		
	特別支援教育の基礎	特別支援教育の基礎	必修		2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	幼児・児童発達論	幼児・児童発達論		選択	2		
	道徳教育の理論と実践	道徳教育の理論と実践	必修		2		
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2		
	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2		
	生徒・進路指導論	生徒・進路指導論	必修		2		
教育実践に関する科目	教育相談	教育相談	必修		2		
	小学校教育実習Ⅰ	小学校教育実習Ⅰ	必修		3		
	小学校教育実習Ⅱ	小学校教育実習Ⅱ	必修		2		
	教職実践演習（幼・小・中・高）	教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2		
		小 計			27	事前・事後指導の1単位を含む。	

科目区分		授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考
中等 教科及び 教職に 関する 科目 (家庭科)	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む。)	生活経営学	必修		2	
		生活経営学演習		選択	2	
	被服学(被服製作実習を含む。)	被服学Ⅰ	必修		2	
		被服学Ⅱ		選択	2	
		被服学演習Ⅰ		選択	2	
		被服学演習Ⅱ		選択	2	
		被服実習		選択	2	
	食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	食物学Ⅰ	必修		2	
		食物学Ⅱ	必修		2	
		食物学実験・実習Ⅰ		選択	2	
		食物学実験・実習Ⅱ		選択	2	
		食物学演習		選択	2	
	住居学(製図を含む。)	住居学Ⅰ	必修		2	
		住居学Ⅱ		選択	2	
		住居計画・設計実習		選択	2	
		住居学演習		選択	2	
	保育学(実習及び家庭看護を含む。)	保育学	必修		2	
		保育学演習		選択	2	
	家庭電気・家庭機械・情報処理	生活機器学		選択	2	
	指導法	中等家庭科教育法Ⅰ	必修		2	
中等家庭科教育法Ⅱ			選択	2		
中等家庭科教育法Ⅲ			選択	2		
中等家庭科教育法Ⅳ			選択	2		
	小 計			14		
教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2		
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
	中学校教育実習Ⅱ		選択	2		
	高等学校教育実習		選択	3	事前・事後指導の1単位を含む。	
	小 計			3		
自由選択科目				選択	19	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。
卒業研究			必修		4	
合計					107	

【小中連携教育コース 中等教育主免専攻（家庭科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考	
課程共通科目	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2		
		発達障害児心理療法		選択必修	2		
		小中連携教育内容研究	必修		2		
		小中連携教育学	必修		2		
	小 計				6		
初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	10科目区分から4単位選択必修 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。
		社会	小学社会		選択必修	2	
		算数	初等数学		選択必修	2	
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2	
		生活	生活科概説		選択必修	2	
		音楽	小学音楽		選択必修	1	
			小学ピアノ		選択必修	1	
		図画工作	小学図画		選択必修	1	
			小学工作		選択必修	1	
		家庭	小学家庭		選択必修	2	
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1	
			小学体育Ⅱ		選択必修	1	
		外国語	小学英語		選択必修	2	
		初等教科及び教職に関する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法		選択必修	
	社会		初等社会科教育法		選択必修	2	
	算数		算数科教育法		選択必修	2	
	理科		初等理科教育法		選択必修	2	
	生活		生活科教育法		選択必修	2	
	音楽		初等音楽科教育法		選択必修	2	
	図画工作		図工科教育法		選択必修	2	
体育	体育科教育法			選択必修	2		
家庭	初等家庭科教育法			選択必修	2		
外国語	初等外国語教育法			選択必修	2		
	小 計				16		
初等教科及び教職に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2		
		教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1		
		教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1		
		道徳教育と学級経営		選択	2		
		教育評価		選択	2		
		教育統計Ⅰ		選択	2		
		人権教育論		選択	2		
	小 計				4		
初等教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必修		2		
		教職概論	必修		2		
		現代の教育と社会	必修		2		
		教育心理学	必修		2		
		特別支援教育の基礎	必修		2		
		幼児・児童発達論		選択	2		
初等教科及び教職に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必修		2		
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2		
		教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2		
		生徒・進路指導論	必修		2		
		教育相談	必修		2		
		小学校教育実習Ⅰ	必修		3		
初等教科及び教職に関する科目	教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅱ		選択	2	事前・事後指導の1単位を含む。	
		教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2		
		小 計					25

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
中等教科及び教職に関する科目（家庭科）	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	生活経営学	必修		2		
		生活経営学演習		選択	2		
	被服学（被服製作実習を含む。）	被服学Ⅰ	必修		2		
		被服学Ⅱ		選択	2		
		被服学演習Ⅰ		選択	2		
		被服学演習Ⅱ		選択	2		
		被服実習		選択	2		
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）	食物学Ⅰ	必修		2		
		食物学Ⅱ	必修		2		
		食物学実験・実習Ⅰ		選択	2		
		食物学実験・実習Ⅱ		選択	2		
		食物学演習		選択	2		
	住居学（製図を含む。）	住居学Ⅰ	必修		2		
		住居学Ⅱ		選択	2		
		住居計画・設計実習		選択	2		
		住居学演習		選択	2		
	保育学（実習及び家庭看護を含む。）	保育学	必修		2		
		保育学演習		選択	2		
	家庭電気・家庭機械・情報処理	生活機器学	必修		2		
	指導法	中等家庭科教育法Ⅰ	必修		2		
		中等家庭科教育法Ⅱ	必修		2		
		中等家庭科教育法Ⅲ	必修		2		
		中等家庭科教育法Ⅳ	必修		2		
	小計			34			
教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2	事前・事後指導の1単位を含む。		
教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3			
	中学校教育実習Ⅱ	必修		2			
	高等学校教育実習		選択	3			
	小計			5			
自由選択科目				選択	13	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。	
卒業研究			必修		4		
合計					107		

【小中連携教育コース 初等教育主免専攻（英語科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備 考	
課程共通科目	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2	2	
		発達障害児心理療法		選択必修	2		
		小中連携教育内容研究	必修		2		
		小中連携教育学	必修		2		
		小 計			6		
初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	10 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。
		社会	小学社会		選択必修	2	
		算数	初等数学		選択必修	2	
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2	
		生活	生活科概説		選択必修	2	
		音楽	小学音楽		選択必修	1	
			小学ピアノ		選択必修	1	
		図画工作	小学図画		選択必修	1	
			小学工作		選択必修	1	
		家庭	小学家庭		選択必修	2	
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1	
			小学体育Ⅱ		選択必修	1	
		外国語	小学英語		選択必修	2	
		初等教科及び教職に関する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法	必修		
	社会		初等社会科教育法	必修		2	
	算数		算数科教育法	必修		2	
	理科		初等理科教育法	必修		2	
	生活		生活科教育法	必修		2	
	音楽		初等音楽科教育法	必修		2	
	図画工作		図工科教育法	必修		2	
	体育		体育科教育法	必修		2	
	家庭		初等家庭科教育法	必修		2	
	外国語		初等外国語教育法	必修		2	
		小 計			30		
	初等教科及び教職に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修		2	
			教育実践フィールド演習Ⅱ	必修		1	
			教育実践フィールド演習Ⅲ	必修		1	
道德教育と学級経営				選択	2		
教育評価				選択	2		
教育統計Ⅰ				選択	2		
人権教育論				選択	2		
	小 計			4			
初等教科及び教職に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必修		2		
		教職概論	必修		2		
		現代の教育と社会	必修		2		
		教育心理学	必修		2		
		特別支援教育の基礎	必修		2		
		幼児・児童発達論		選択	2		
初等教科及び教職に関する科目	道德、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道德教育の理論と実践	必修		2		
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修		2		
		教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修		2		
		生徒・進路指導論	必修		2		
		教育相談	必修		2		
初等教科及び教職に関する科目	教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
		小学校教育実習Ⅱ	必修		2		
		教職実践演習（幼・小・中・高）	必修		2		
		小 計			27		

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
中等教科及び教職に関する科目（英語科）	教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	英語学概論Ⅰ	必修		2	
			英語音声学		選択	2	
			英語音声学演習Ⅰ		選択	1	
			英語音声学演習Ⅱ		選択	1	
			第二言語習得論Ⅰ		選択	2	
			英語学概論Ⅱ		選択	2	
			英語学演習		選択	1	
			第二言語習得論Ⅱ		選択	2	
		英文法演習		選択	1		
		英語文学	英語文学論Ⅰ	必修		2	
			英語文学講読Ⅰ		選択	2	
			英語文学講読Ⅱ		選択	2	
			英語文学演習Ⅰ		選択	1	
			英語文学演習Ⅱ		選択	1	
			英語文学論Ⅱ		選択	2	
			英語文学講読Ⅲ		選択	2	
		英語コミュニケーション	英語コミュニケーション論	必修		2	
			英語オーラルコミュニケーションⅠ		選択必修	1	
			英語オーラルコミュニケーションⅡ		選択必修	1	
			英語アカデミックスピーキングⅠ		選択必修	1	
			英語アカデミックライティングⅠ		選択必修	1	
			英語アカデミックスピーキングⅡ		選択	1	
			英語アカデミックライティングⅡ		選択	1	
		異文化理解	異文化理解論	必修		2	
			英米文化事情Ⅰ		選択	2	
			異文化理解演習Ⅰ		選択	1	
			異文化理解演習Ⅱ		選択	1	
			異文化理解Ⅰ		選択	2	
	英米文化事情Ⅱ			選択	2		
	異文化理解Ⅱ			選択	2		
	指導法	英語科教育法Ⅰ	必修		2		
		英語科教育法Ⅱ		選択	2		
		英語科教育法Ⅲ		選択	2		
		英語科教育法Ⅳ		選択	2		
			小 計			12	
	教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2		
	教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
		中学校教育実習Ⅱ		選択	2		
		高等学校教育実習		選択	3		
			小 計			3	
		自由選択科目		選択	21	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。	
		卒業研究	必修		4		
		合計			107		

【小中連携教育コース 中等教育主免専攻（英語科）】

	科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考			
課程共通科目	小中連携教育	児童・生徒発達論		選択必修	2	2			
		発達障害児心理療法		選択必修	2				
		小中連携教育内容研究	必修		2				
		小中連携教育学	必修		2				
	小計				6				
初等教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む。）	小学国語（書写を含む。）		選択必修	2	4	10科目区分から4単位選択必修 音楽、図画工作又は体育を選択した場合は、それぞれの科目区分毎に2科目2単位を修得する。	
		社会	小学社会		選択必修	2			
		算数	初等数学		選択必修	2			
		理科	初等理科講義及び実験		選択必修	2			
		生活	生活科概説		選択必修	2			
		音楽	小学音楽		選択必修	1			
			小学ピアノ		選択必修	1			
		図画工作	小学図画		選択必修	1			
			小学工作		選択必修	1			
		家庭	小学家庭		選択必修	2			
		体育	小学体育Ⅰ		選択必修	1			
			小学体育Ⅱ		選択必修	1			
		外国語	小学英語		選択必修	2			
		初等教科及び教職に関する科目	国語（書写を含む。）	初等国語科教育法		選択必修			2
	社会		初等社会科教育法		選択必修	2			
	算数		算数科教育法		選択必修	2			
	理科		初等理科教育法		選択必修	2			
	生活		生活科教育法		選択必修	2			
	音楽		初等音楽科教育法		選択必修	2			
	図画工作		図工科教育法		選択必修	2			
	体育		体育科教育法		選択必修	2			
	家庭		初等家庭科教育法		選択必修	2			
	外国語		初等外国語教育法		選択必修	2			
		小計				16			
	大学が独自に設定する科目	教育実践フィールド演習Ⅰ	必修			2	4		
教育実践フィールド演習Ⅱ		必修			1				
教育実践フィールド演習Ⅲ		必修			1				
道徳教育と学級経営			選択		2				
教育評価			選択		2				
教育統計Ⅰ			選択		2				
人権教育論			選択		2				
	小計				4				
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	必修			2				
	教職概論	必修			2				
	現代の教育と社会	必修			2				
	教育心理学	必修			2				
	特別支援教育の基礎	必修			2				
	幼児・児童発達論		選択		2				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と実践	必修			2				
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	必修			2				
	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）	必修			2				
	生徒・進路指導論	必修			2				
	教育相談	必修			2				
	小学校教育実習Ⅰ	必修			3				
教育実践に関する科目	小学校教育実習Ⅱ			選択	2	事前・事後指導の1単位を含む。			
	教職実践演習（幼・小・中・高）	必修			2				
	小計				25				

		科目区分	授業科目	必修	選択必修 選択	単位数	備考
中等教科及び教職に関する科目（英語科）	教科及び教科の指導法に関する科目	英語学	英語学概論Ⅰ	必修		2	3
			英語音声学		選択必修	2	
			英語音声学演習Ⅰ		選択必修	1	
			英語音声学演習Ⅱ		選択必修	1	
			第二言語習得論Ⅰ		選択必修	2	
			英語学概論Ⅱ		選択	2	
			英語学演習		選択	1	
			第二言語習得論Ⅱ		選択	2	
	英文法演習		選択	1			
	英語文学	英語文学論Ⅰ	必修		2	3	
		英語文学講読Ⅰ		選択必修	2		
		英語文学講読Ⅱ		選択必修	2		
		英語文学演習Ⅰ		選択必修	1		
		英語文学演習Ⅱ		選択必修	1		
		英語文学論Ⅱ		選択	2		
		英語文学講読Ⅲ		選択	2		
	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション論	必修		2	2	
		英語オーラルコミュニケーションⅠ		選択必修	1		
		英語オーラルコミュニケーションⅡ		選択必修	1		
		英語アカデミックスピーキングⅠ		選択必修	1		
		英語アカデミックライティングⅠ		選択必修	1		
		英語アカデミックスピーキングⅡ		選択	1		
		英語アカデミックライティングⅡ		選択	1		
	異文化理解	異文化理解論	必修		2	4	
		英米文化事情Ⅰ		選択必修	2		
		異文化理解演習Ⅰ		選択必修	1		
		異文化理解演習Ⅱ		選択必修	1		
		異文化理解Ⅰ		選択必修	2		
		英米文化事情Ⅱ		選択	2		
		異文化理解Ⅱ		選択	2		
指導法	英語科教育法Ⅰ	必修		2			
	英語科教育法Ⅱ	必修		2			
	英語科教育法Ⅲ	必修		2			
	英語科教育法Ⅳ	必修		2			
		小計			30		
	教育の基礎的理解に関する科目	教育史		選択	2		
	教育実践に関する科目	中学校教育実習Ⅰ	必修		3	事前・事後指導の1単位を含む。	
		中学校教育実習Ⅱ	必修		2		
		高等学校教育実習		選択	3		事前・事後指導の1単位を含む。
		小計			5		
	自由選択科目			選択	17	本表に記された授業科目の他に、本学部及び他学部の専門教育科目並びに学部間共通教育科目の特定プログラム教育科目及び留学生プログラム教育科目のうちから履修することができる。また、本表の科目区分毎に定められた修得単位数を超えて修得した単位についても充てることができるものとする。	
	卒業研究		必修		4		
	合計				107		

別表Ⅲ（第7条関係）

【他学部教員免許状取得のための科目】

科目区分	授業科目	単位数	備 考
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	2	
	教職概説	2	
	現代教育論	2	
	発達と学習の心理学	2	
	特別支援教育概論	2	
	教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と方法	2	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2	
	教育方法論（情報通信技術の活用を含む。）	2	
	生徒・進路指導の理論と方法（中等）	2	
	教育相談の理論と方法（中等）	2	
教育実践に関する科目	教職実践演習（中・高）	2	

教育学部卒業研究に関する細目

(平成28年3月20日制定)

- 1 卒業研究は、論文のほか、制作、演奏などを含む。
- 2 卒業研究の履修は、3年次前学期終了までに、卒業に必要な単位のうち74単位以上を修得している者に対して認められる。
- 3 卒業研究の指導教員は、学生の所属する幼小連携教育、言語・社会系、理数系又は実技系の各グループ（以下「グループ」という。）に関する研究分野の本学部の専任教員の中から1人選んで定めるものとする。
- 4 学生は、指導教員と相談の上、卒業研究の題目を定め、3年次の1月20日までに、グループの教員代表に履修の届け出をしなければならない。
グループの教員代表は、学生からの届け出に基づき「卒業研究履修者名簿」を1月末までに教育学部教務に提出するものとする。
ただし、届出の期日に休学中の者は、復学決定後、グループの教員代表に速やかに届出をするものとする。
- 5 論文の提出期限は、卒業予定年度の1月末日とし、制作の提出期限及び演奏の実施期限は2月20日とする。論文は、指導教員に提出するものとする。
なお、学年の中途に卒業が予定される者の論文等の提出期限は、卒業予定年度の8月10日とする。
- 6 卒業研究の成績は、指導教員と、学生の所属するグループの教員1人以上とが合議して、「佐賀大学成績判定等に関する規程」の定めるところにより判定する。
主査は指導教員とする。
- 7 卒業研究の成績は、グループの教員代表から教育学部教務に、卒業予定年度の2月21日までに提出するものとする。
ただし、学年の中途に卒業が予定される者の卒業研究の成績は、卒業予定年度の8月12日までに提出するものとする。

附則

この細目は、平成28年4月1日から施行する。